

市町における生涯学習振興・社会教育行政の
現状と課題に関する実態調査

調 査 結 果



広島県立生涯学習センター

令和2年11月

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果	
I 市町の課題・取組について	4
II 職員研修について	8
III 家庭教育支援について	14
IV 地域と学校の連携・協働について	17
V 公民館等の運営について	22
VI 社会教育委員の職務について	24
VII 社会教育主事の職務について	25
VIII その他	27
第3章 参考資料	34
第4章 調査票 様式	92

第1章 調査の概要

1 調査の目的

生涯学習振興・社会教育に関する各市町の人材育成，公民館等の振興，家庭教育や地域学校協働活動等の現状や課題，各市町の重点事項，広島県立生涯学習センターに対する要望等を把握する実態調査を実施し，県・市町における施策・事業の立案や改善の基礎資料に資する。

2 調査対象

各市町の生涯学習振興・社会教育担当課（23市町）

3 調査期間

令和2年5月25日（月）～6月30日（火）

4 調査方法

- 質問形式の調査票により実施
- 調査票は，各市町担当課に送付し，担当課が管内の調査を取りまとめて回答
- 調査回答内容について，必要に応じて各市町担当課からヒアリング

5 調査内容

設問番号	質問事項
I	市町の課題・取組について 1 生涯学習振興・社会教育推進上の課題 2 重点的な取組分野
II	職員研修について 1 研修費の予算化 2 市町独自の研修会の実施 3 研修機会への満足度 4 研修実施に向けての阻害要因の有無 阻害要因の内容 5 実施している研修の内容 6 市町以外が主催している研修会への参加の有無 ① 参加している研修会等の内訳
III	家庭教育支援について 1 家庭教育支援における課題 2 家庭教育支援に関する取組の有無 ① 家庭教育支援に関する取組の内訳 ② 家庭教育支援に関する取組を行う上での課題 3 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」に関する認識と活用
IV	地域と学校の連携・協働について 1 担当者の有無 2 地域と学校の連携・協働に関わる取組の内容

設問番号	質問事項
IV（続き）	3 コーディネーターの配置の有無 コーディネーターの属性 4 コーディネーターの活動内容 5 研修会の開催の有無 6 地域と学校の連携・協働に関する課題 7 地域と学校の連携・協働に関する取組の実施状況 8 「ワクワク学び隊」に関する認識と活用
V	公民館等の運営について 1 公民館等が果たしている役割 2 今後の公民館等において重要となる役割 3 公民館等の役割や所管に関する変更・見直しの有無
VI	社会教育委員の職務について 1 社会教育委員が果たしている役割 2 社会教育委員の職務に関する課題
VII	社会教育主事の職務について 1 社会教育主事の職務の内容 2 社会教育主事の職務の分野 3 「社会教育士」の活用予定
VIII	その他 1 各市町の取組事例について 2 県立生涯学習センターに期待していること 3 研修支援の希望

※ 調査結果をまとめる上で、一部の回答内容について広島県立生涯学習センターで表現を整えた。

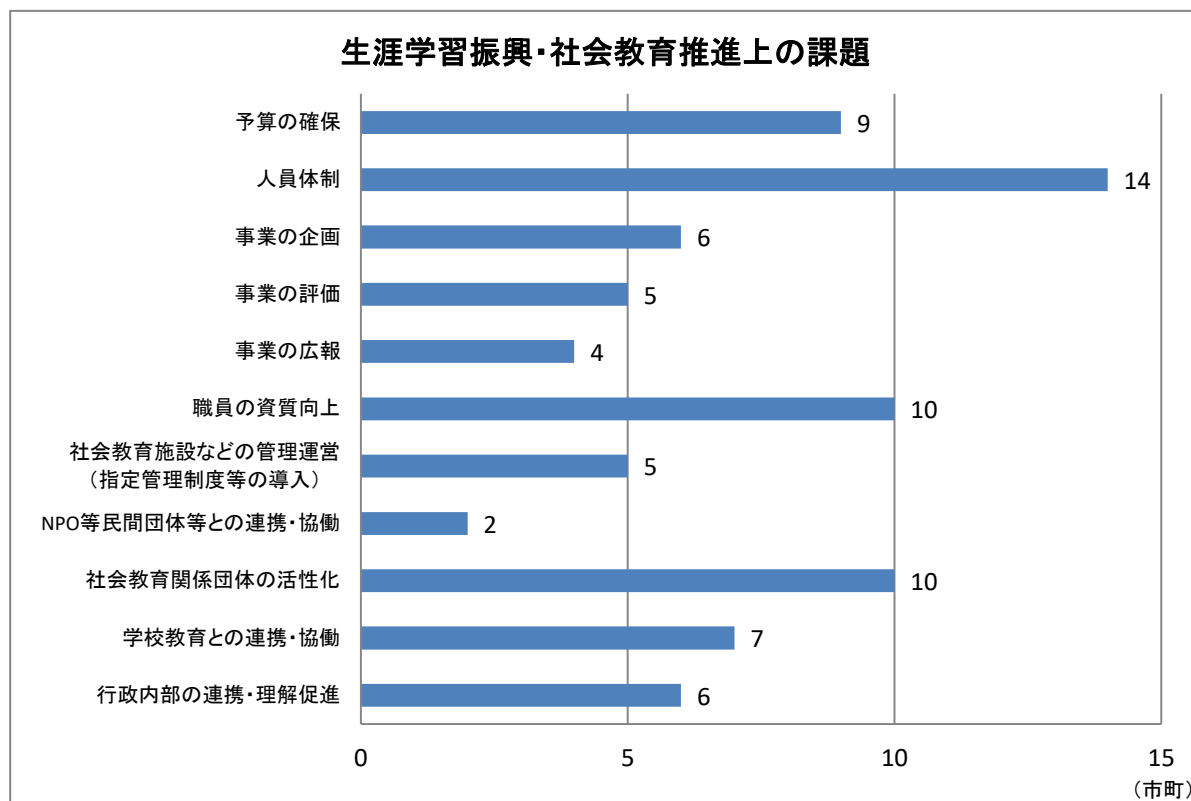
6 調査票記入担当課

NO	市町名	担当課	電話番号	メールアドレス
1	広島市	市民局 生涯学習課	082-504-2495	gakushuu@city.hiroshima.lg.jp
2	呉市	文化スポーツ部 文化振興課 (社会教育グループ)	0823-25-3461	bunsin@city.kure.lg.jp
3	竹原市	教育委員会 文化生涯学習課	0846-22-2328	bunka@city.takehara.lg.jp
4	三原市	教育委員会 生涯学習課	0848-67-6147	svogai@city.mihara.lg.jp
5	尾道市	教育委員会 生涯学習課	0848-20-7444	shogai@city.onomichi.lg.jp
6	福山市	市民局 まちづくり推進部 人権・生涯学習課	084-928-1243	iinken-shougaigakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp
7	府中市	教育委員会 教育政策課 (教育推進係)	0847-43-7176	seisaku_edu@city.fuchu.hiroshima.jp
8	三次市	教育委員会 文化と学びの課 (文化学習係)	0824-62-6191	bunka@city.miyoshi.hiroshima.jp
9	庄原市	教育委員会 生涯学習課	0824-73-1188	svogaigakusyu@city.shobara.lg.jp
10	大竹市	教育委員会 生涯学習課	0827-53-5800	seigaku@city.otake.hiroshima.jp
11	東広島市	教育委員会 生涯学習課	082-420-0979	hgh200979@city.higashihiroshima.lg.jp
12	廿日市市	教育委員会 生涯学習課	0829-30-9203	shogaigakushu@city.hatsukaichi.lg.jp
13	安芸高田市	教育委員会 生涯学習課	0826-42-0054	shohgaigakushu@city.akitakata.lg.jp
14	江田島市	教育委員会 生涯学習課	0823-43-1902	gakusyu@etajima.lg.jp
15	府中町	教育委員会 社会教育課	082-286-3272	svakaikyoukuka@town.hiroshima-fuchu.lg.jp
16	海田町	教育委員会 生涯学習課	082-823-9217	svakyo@town.kaita.lg.jp
17	熊野町	教育委員会 教育総務課 (社会教育グループ)	082-854-3111	shakai@town.kumano.lg.jp
18	坂町	教育委員会 生涯学習課	082-820-1525	svougai@town.saka.lg.jp
19	安芸太田町	教育委員会 生涯学習課	0826-22-1212	shogaigakusyu@town.akiota.lg.jp
20	北広島町	教育委員会 生涯学習課	050-5812-1864	k-svogaku@town.kitahiroshima.lg.jp
21	大崎上島町	教育委員会 教育課 (社会教育係)	0846-64-3055	kshakai01@town.osakikamijima.lg.jp
22	世羅町	教育委員会 社会教育課	0847-22-4411	svakaikyoiku@town.sera.hiroshima.jp
23	神石高原町	まちづくり推進課 (協働支援・生涯学習係)	0847-89-3332	jk-suisin@town.iinsekikogen.lg.jp

第2章 調査結果

I 市町の課題・取組について

1 貴市町において、生涯学習振興・社会教育推進上の課題にはどのようなものがあると思いますか。

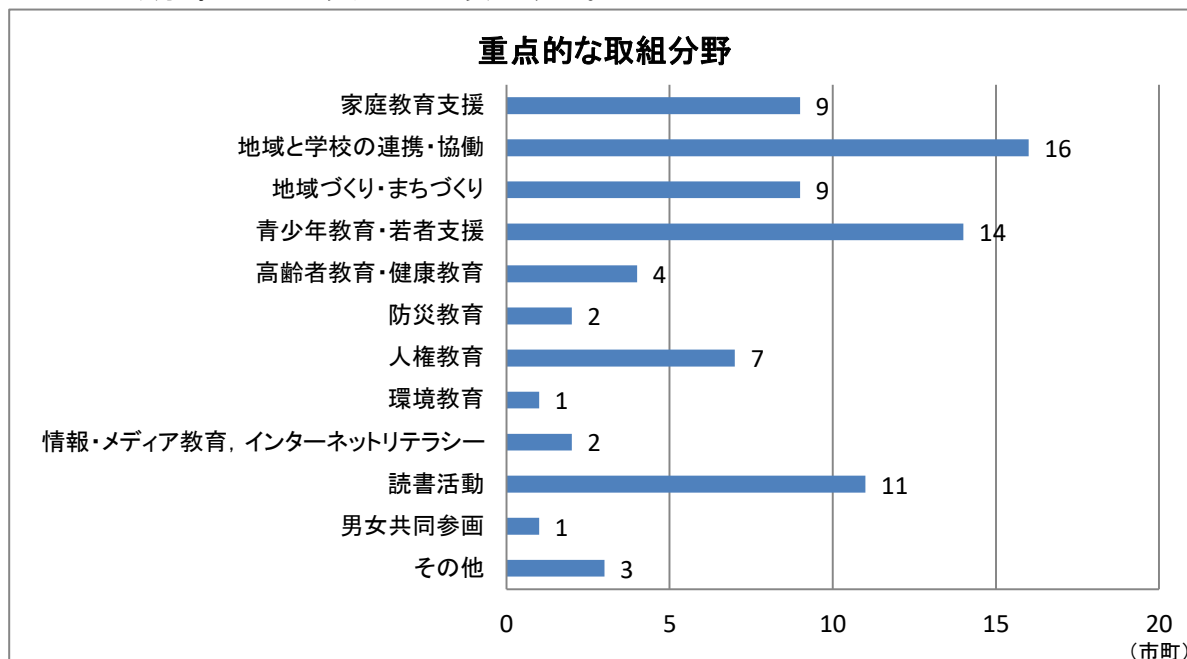


<記述内容>

予算の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・財政難により社会教育に対する予算が確保しづらい ・予算の削減により、例年どおりの活動ができない ・事業、研修会出席等に係る予算の確保が難しい ・毎年予算が削られるため、事業の幅が狭くなる ・財政状況が厳しいため、年々予算が削減されている ・要求する予算が十分に確保できない ・社会教育施設の個別計画策定のための予算の確保
人員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館類似施設へ社会教育の専門職員を配置したいが、なかなか当局から理解が得られない ・専門的職員の配置がない ・中心となる人材がない ・核となるセンター等の体制(配置)と人材の育成 ・業務に対する人員配置が十分でない ・慢性的な人員不足 ・専門的知識・経験のある人材が不足している ・ボランティア等の人手不足。事業数に対する職員数の不足 ・定員管理上、職員採用を抑制。定数を確保できていない ・全図書館への司書配置、文化財学芸員の確保 ・限られた職員数で他の多くの業務との兼務
事業の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズや必要課題の把握と講座企画の調整 ・企画立案ができない(研修機会不足、コーディネーター不足) ・事業の企画力が不足 ・企画のための時間が確保できない

事業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数以外での評価指標の設定 ・目標設定とその評価方法が曖昧 ・評価に対する統一した意識をもつための研修が必要 ・事業実施後の評価の仕方, 評価の活かし方
事業の広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ, SNSでの情報発信強化 ・ホームページやFacebookなどの有効活用 ・効果的な広報を行うため研修が必要 ・市民セミナー等, 市民への効果的な周知方法
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・担当業務が多岐にわたり, 表面的な取組にとどまってしまう(深まらない) ・経験年数が短い職員が多い ・市単独の研修会が企画できない ・社会教育主事を配置してほしいと要望があるが, 現状不在 ・職員の意識向上が必要 ・職員の資質向上のための研修が十分でない ・業務が多忙で研修に参加する余裕がない ・研修企画の不足(今年度の場合)
社会教育施設などの管理運営 (指定管理制度等の導入)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設が多く, 今後の維持管理が課題 ・市長部局への移管検討 ・指定管理のあり方について検討が必要 ・施設の老朽化に伴う維持管理 ・施設の経年劣化, 老朽化, 水銀灯の製造等中止
社会教育関係団体の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・人材及び活性化させるためのノウハウが不足している ・活動が定例の会議のみとなっている ・団体間の連携 ・補助金の対象が一部の事業に限られている ・活性化につながる連携の方法について模索している ・少子高齢化に伴い活動が衰退している ・少子高齢化により, 会員確保が困難になりつつある ・団体員の高齢化・マンネリ化 ・文化財保護に関する若手人材の確保
学校教育との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場に負担とならないような事業実施が困難である ・地域活動と学校教育の連携を進める人材不足 ・地域学校協働活動の推進 ・学校教育現場の多忙 ・学校との円滑な連携 ・コミュニティ・スクール制度導入について
行政内部の連携・理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・行政内部での横断的な事業実施が困難である ・職員間に意識のばらつきがあるため研修が必要 ・何から始めていいのかわからない ・生涯学習課とまちづくり担当課との事業のすみ分け

2 現在(または今後), 貴市町の生涯学習振興・社会教育行政として, 重点的に取り組んでいる(予定している)分野はどのようなものがありますか。

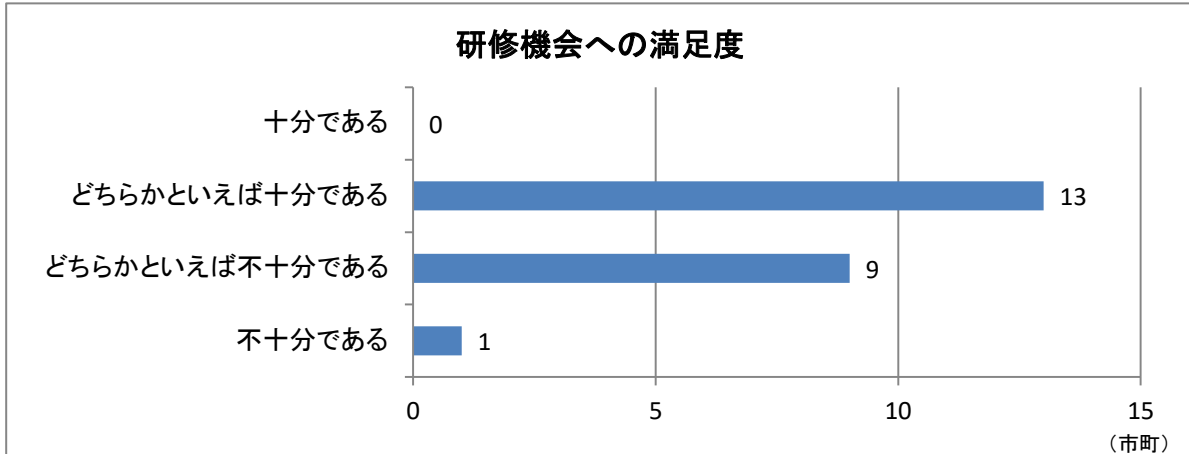


<記述内容>

家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」【三原市, 安芸高田市】 ・「家庭教育相談会」「『親の力』をまなびあう学習プログラム」【呉市】 ・「家庭教育支援事業」【尾道市】 ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」「甲奴地区家庭教育支援チーム」【三次市】 ※詳細は, 57～59ページを参照 ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」「家庭教育支援チーム」【庄原市】 ・「ブックデビュー」「『親の力』をまなびあう学習プログラム」【東広島市】 ※詳細は, 75～76ページを参照 ・「乳幼児学級」「津田っ子」「親子のお話会」【廿日市市】 ・(今後は)「アウトリーチ型の支援等」【府中町】
地域と学校の連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・「放課後子供教室」【三原市, 大竹市】 ・「放課後子供教室」「地域教育支援活動促進事業」【尾道市】 ・「地域未来塾『天領あやめ塾』」「学校・家庭・地域連携協力推進事業」【府中市】 ※詳細は, 52～56ページを参照 ・「放課後子供教室」「地域未来塾」【庄原市】 ・「地域学校協働活動推進事業」【東広島市】 ・「地域学校協働活動推進事業」「コミュニティ・スクールの推進」【廿日市市】 ※詳細は, 77～78ページを参照 ・「放課後子供教室(地域未来塾)」【安芸高田市】 ・「地域学校協働本部の整備」【府中町】 ・「放課後子供教室(土曜くまのっ子教室)」【熊野町】 ・「放課後子供教室」【安芸太田町】 ・「放課後子供教室(わくわくスクール)」【大崎上島町】 ・「地域運営型放課後子供教室」【世羅町】 ・「放課後子供教室を核としたまちづくり」【神石高原町】
地域づくり・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「交流センターの地域拠点化」【竹原市】 ・「まちづくり出前講座」【三原市】 ・「おのみち市民大学」【尾道市】 ・「生涯学習まちづくり出前講座」【東広島市】 ・「街道まつり」「まちづくり講座」「各市民センターまつり」【廿日市市】 ・「市民セミナー」【安芸高田市】 ・「協働支援センターを核としたまちづくり」【神石高原町】

青少年教育・若者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子メディアと子ども達との健全な関係づくりの推進」【広島市・大邱広域市青少年交流事業】「青少年国際平和未来会議ヒロシマ」【広島市】 ・「親善都市交流事業」【少年少女海外研修事業】「若者居場所づくり事業」 ・「ふるさと子ども博士講座」【三原市】 ・「青少年の健全育成活動」【青少年の非行化防止活動】「青少年相談活動」 ・「環境の浄化活動」【若者チャレンジ講座】【尾道市】 ・「若者×ツナグバ」【三次市】 ※詳細は、60～61ページを参照 ・「KOIKOI ジュニアリーダーズクラブ」【大竹市】 ※詳細は、66～67ページを参照 ・「生涯学習パスポート(小・中学生用)」【東広島市】 ・「じごぜんキッズ」【夏休み子どもチャレンジ教室】【廿日市市】 ・「夏休み子ども教室」【子ども科学教室】【安芸高田市】 ・「青少年芸術鑑賞」【江田島市】 ・「あいさつ運動や町内巡視等(青少年育成府中町民会議)」【府中町】 ・「チャレンジコンクール」【安芸太田町】 ・「成人式での講演会等」【大崎上島町】 ・「トップアスリートに学ぶ事業」【神石高原町】
高齢者教育・健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「老人大学」【公民館等主催講座】【三原市】 ・「老いの教育講座」【東広島市】 ・「人生100年時代に自身で備える！シリーズ」【七福大学】【廿日市市】 ・「高齢者大学(市内6大学)」【安芸高田市】 ・「総合型スポーツクラブ(わいわいスポーツクラブ)」【大崎上島町】
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と協働した防災訓練」【竹原市】 ・「防災訓練」【防災講座】【救命救急講習】【廿日市市】
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権作品事業」【人権教育事業】【庄原市】 ・「人権学習」【人権落語】【盲導犬講座】【廿日市市】 ・「『親プロ』オリジナルの人権講座の継続」【安芸高田市】 ・「人権学習講演会」【江田島市】 ・「人権学習会」【小地域学習会】【大崎上島町】 ・「人権学習会開催」【ヒューマンフェスタ】【神石高原町】
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしまクールシェア」【花いっぱい運動】【野菜栽培講座】【廿日市市】
情報・メディア教育、インターネットリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子メディア対策推進事業」【尾道市】 ・「スマホはじめて講座」【スマホに挑戦】【廿日市市】
読書活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなし会」【読書会】【三原市】 ・「読書感想文コンクール表彰」【尾道市】 ・「府中市子どもの読書活動推進計画策定」【府中市】 ・「子供の読書活動推進事業」【家庭教育支援チーム】【庄原市】 ・「レファレンスサービス」【東広島市】 ・「図書ボランティア活動」【廿日市市】 ・「ブックスタート」【安芸高田市】 ・「江田島しましまスタンプラリー」【江田島市】 ※詳細は、79ページを参照 ・「家庭読書推進事業(くまどく)」【熊野町】 ・「『くらしの中に本がある』環境づくり事業」【世羅町】 ・「シルトピアカレッジ図書館を核とした事業」【神石高原町】
男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニケーション力を磨いて心豊かに健康になろう」【廿日市市】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習委託事業」【庄原市】 ・「主催講座」【生涯学習フェスティバルの開催】【大学連携】【東広島市】 ・「『日本語講座』(国際理解)」【くらし応援講座』(消費者生活)」【廿日市市】

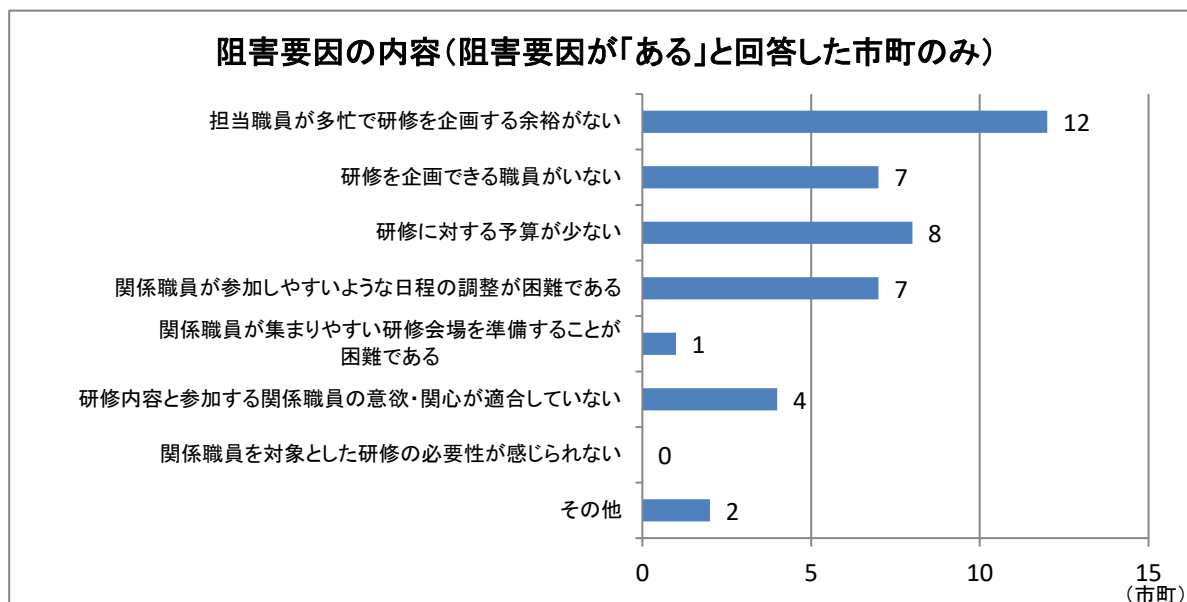
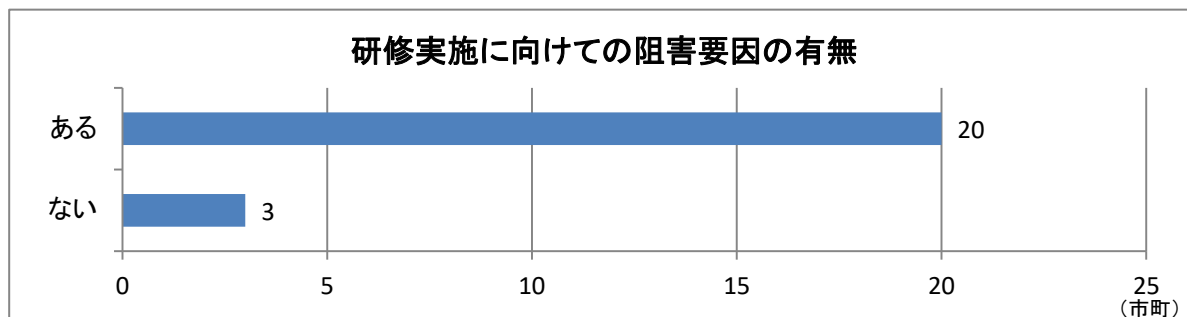
3 貴市町の社会教育関係職員の研修の機会は「現状で十分だ」とお考えですか。



<記述内容>

どちらかといえば十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、直接会場で研修を受ける機会が減ってきている一方で、オンラインでの研修が増え、学習機会としては十分に保たれていると考える【三次市】 ・市独自の研修会や県主催研修会等へ積極的に参加できるよう進めている【庄原市】 ・地域センター(旧公民館)が、住民自治協議会の指定管理となっているセンターがほとんどであり、事務職員が、住民自治協議会の事務も担っている状況であるため、これ以上研修機会を増やすことが難しい【東広島市】 ・社会教育関係の研修は、基礎研修や学習プログラム研修等のほかに、家庭教育や人権教育などそれぞれに開催されているため学ぶ機会は多い【安芸高田市】 ・県主催の研修や事業ごとに様々な研修機会が設けられている【府中市】 ・県の研修を活用させていただいている【海田町】 ・現状で特に必要を感じていない【坂町】 ・県主催研修会へ参加予定【安芸太田町】 ・県の研修には積極的に参加し、町独自でも、社会教育委員の会議や、地域づくりセンターのネットワーク会議時に毎年研修を行っている【北広島町】 ・県等が主催する研修会がある【世羅町】 ・県主催の研修会への参加を今後も継続する予定【神石高原町】
どちらかといえば不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係職員を対象とする研修を実施していないため【広島市教委育成課】 ・公民館をまちづくりセンターに組織改革をしたが、何を指すのか中途半端な組織となっている【呉市】 ・職員数が少ない中、積極的に参加はしているが、予算上の問題もあり、十分とは言えない【竹原市】 ・通常業務に追われて研鑽の時間が十分に取れていない【三原市】 ・単独での企画には限界があるため、県主催研修会の更なる充実を期待したい【府中市】 ・あまり充分ではないが、日々の業務に追われる中で、これ以上の参加は難しい【大竹市】 ・職員の資質向上のため、評価、プログラム、広報等の計画的な研修が必要【廿日市市】 ・業務が多忙で研修に参加する余裕がない【江田島市】 ・県や尾三地区での研修参加が、予算の関係で複数の職員が参加できない【大崎上島町】
不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意欲・知識にばらつきがあるが、ニーズにあった研修が開催できていないと考える【尾道市】

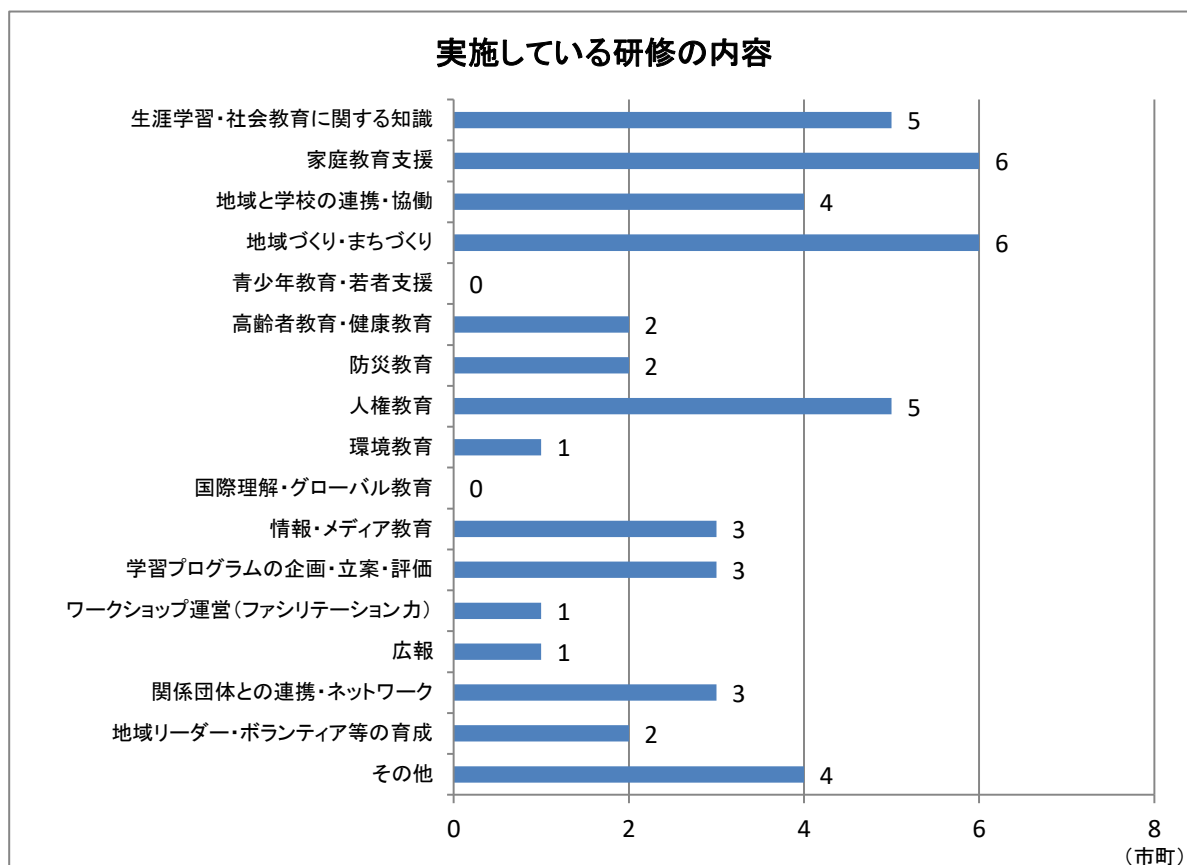
4 貴市町が実施される社会教育関係職員の研修を進めるうえで、阻害要因となっているものがありますか。



<「その他」の内容>

- ・町での研修よりも県や地区での研修の充実がよいと考える
- ・社会教育単体研修ではなく、地域づくり研修を行う

5 貴市町では、現在どのような内容の研修を行っていますか。

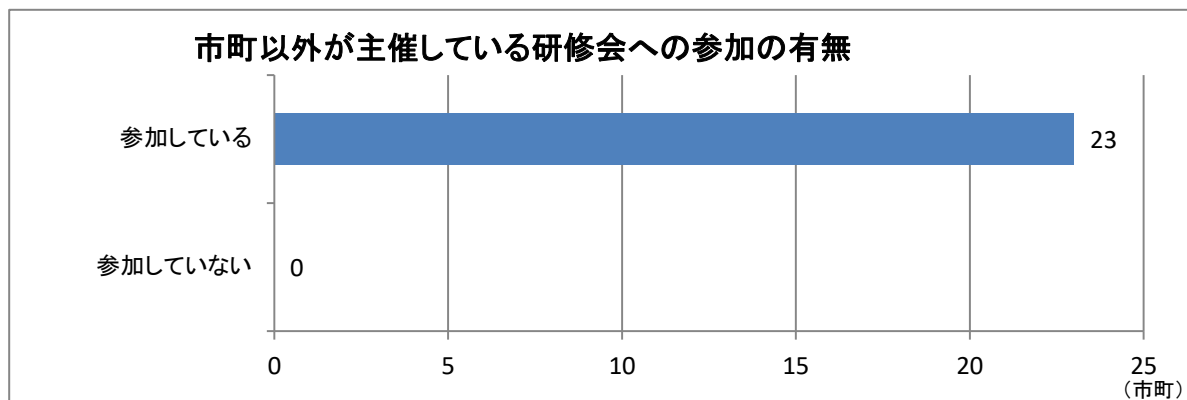


<記述内容> ※具体的な内容[対象者]【市町名】

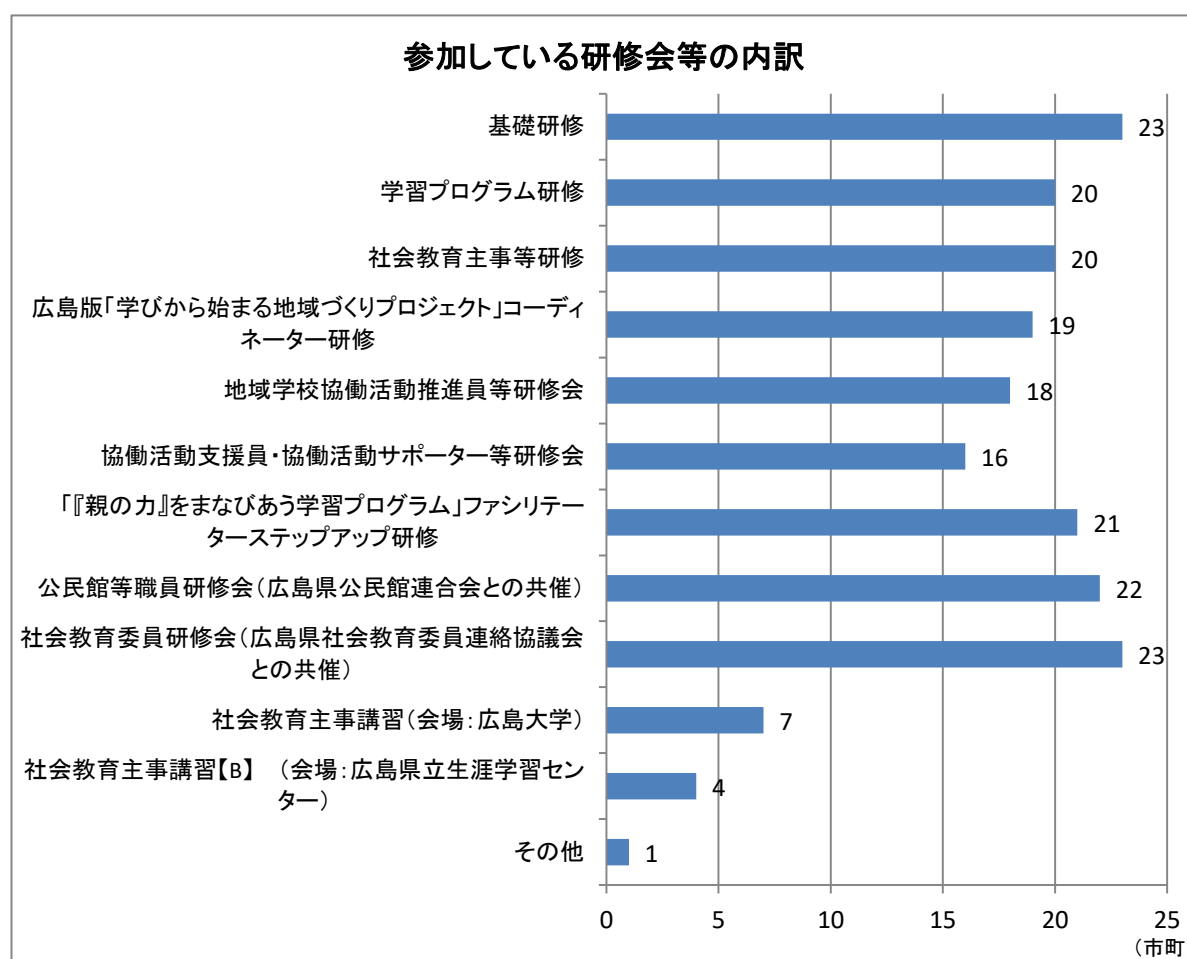
生涯学習・社会教育に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり[公民館職員]【福山市】 ・他市町事例等から学ぶ公民館活動[公民館職員]【府中市】 ・三次市社会教育委員研修会[社会教育委員]【三次市】 ・生涯学習とは？社会教育関係職員とは？[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・国・県の動向、ワークショップ[担当職員・社教委員等]【北広島町】
家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの養成[市民]【呉市】 ・講師を招いての講演[子育て支援者]【尾道市】 ・「親プロ」ファシリテーター養成講座[一般]【府中市】 ・ファシリテーター研修会[「親プロ」ファシリテーター]【三次市】 ・市独自の研修会や県主催研修会等へ積極的に参加できるよう進めている[家庭教育推進チームメンバー]【庄原市】 ・「親の力」をまなびあう学習プログラム[小中学校の保護者]【廿日市市】
地域と学校の連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての研修会[放課後子ども教室指導員、ボランティア登録者]【尾道市】 ・コミュニティ・スクール研修会[三次市教育委員会]【三次市】 ・地域と学校の連携・協働に関する研修会[地域学校協働本部関係者]【廿日市市】 ・講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】

地域づくり・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり[公民館職員]【福山市】 ・築こう！豊かな集落づくり研修会[農業関係者等]【三次市】 ・広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」実施[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・市の施策や方針の意識合わせ[全職員]【廿日市市】 ・まちづくり講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】
高齢者教育・健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員研修(初任者研修・実務者研修)[介護職員]【三次市】 ・高齢者学習に関する講座作成[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての講演[公民館職員・市民]【尾道市】 ・三次市自主防災組織育成研修会[地域住民]【三次市】 ・町総務課主催で開催[地域住民・職員]【神石高原町】
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育[公民館職員]【福山市】 ・人権DVD試写会[人権推進委員]【庄原市】 ・講座計画書作成[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・人権講演会, 小地域学習会[住民]【大崎上島町】 ・人権講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等を実施[全職員]【廿日市市】
情報・メディア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての講演[市民]【尾道市】 ・三次市DX変革推進職員研修会[三次市役所職員]【三次市】 ・情報リテラシーについての研修[全職員]【廿日市市】
学習プログラムの企画・立案・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の企画・事例発表[自治振興区職員]【庄原市】 ・講座計画書作成・改善[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・ワークショップ[担当者・センター職員等]【北広島町】
ワークショップ運営(ファシリテーション力)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ研修運営[生涯学習推進員]【東広島市】
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・協働支援センター主催で開催[地域住民・職員]【神石高原町】
関係団体との連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動のアイデア等[子ども会育成指導員]【広島市】 ・事務職員間の意見交換・交流[自治振興区職員]【庄原市】 ・広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」における連携[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】
地域リーダー・ボランティア等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての研修会[放課後子ども教室指導員, ボランティア登録者]【尾道市】※「地域と学校の協働・連携」の欄と同一の研修 ・ホスピタリティ研修会[観光ボランティアガイド]【三次市】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・講座実施の内容発表[公民館職員]【尾道市】 ・手話講座[市民センター職員]【廿日市市】 ・男女共同参画講演会[協働支援センター職員・町民], 食育講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】

6 貴市町の職員は、貴市町以外が実施する研修会（広島県教育委員会主催等）に参加していますか。



6① 貴市町以外が主催している研修会（広島県教育委員会主催等）について、参加している事業を選択してください。

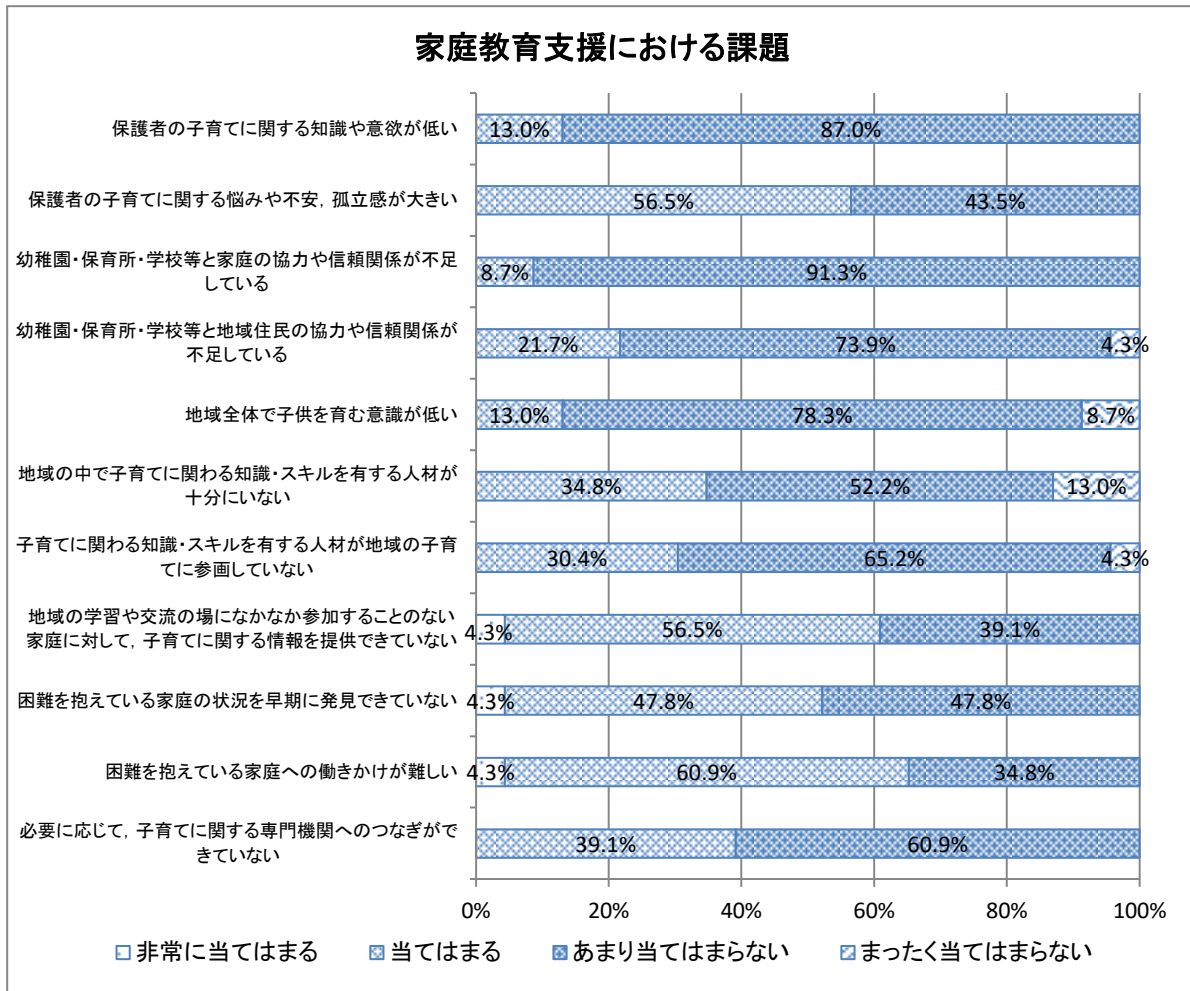


<「その他」の内容>

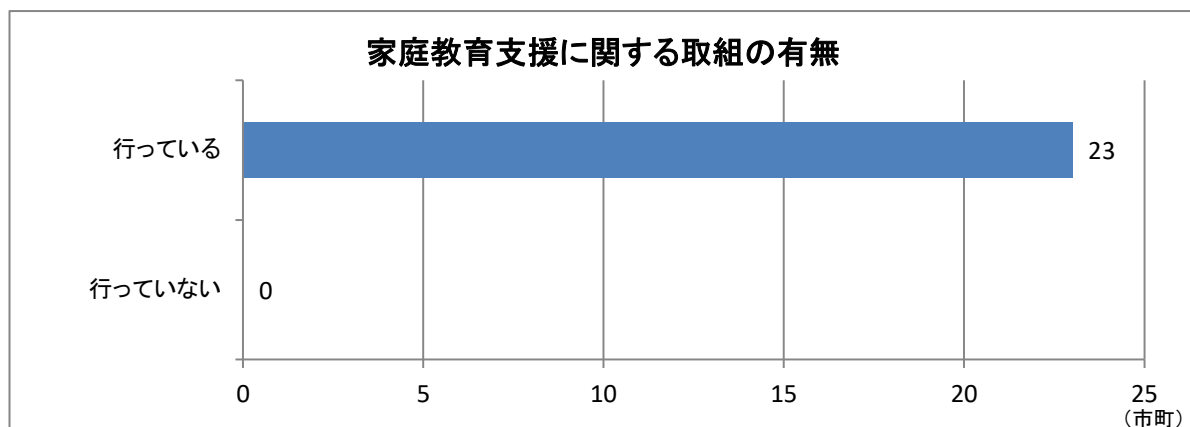
・尾三地区公民館連合会主催の研修【尾道市】

Ⅲ 家庭教育支援について

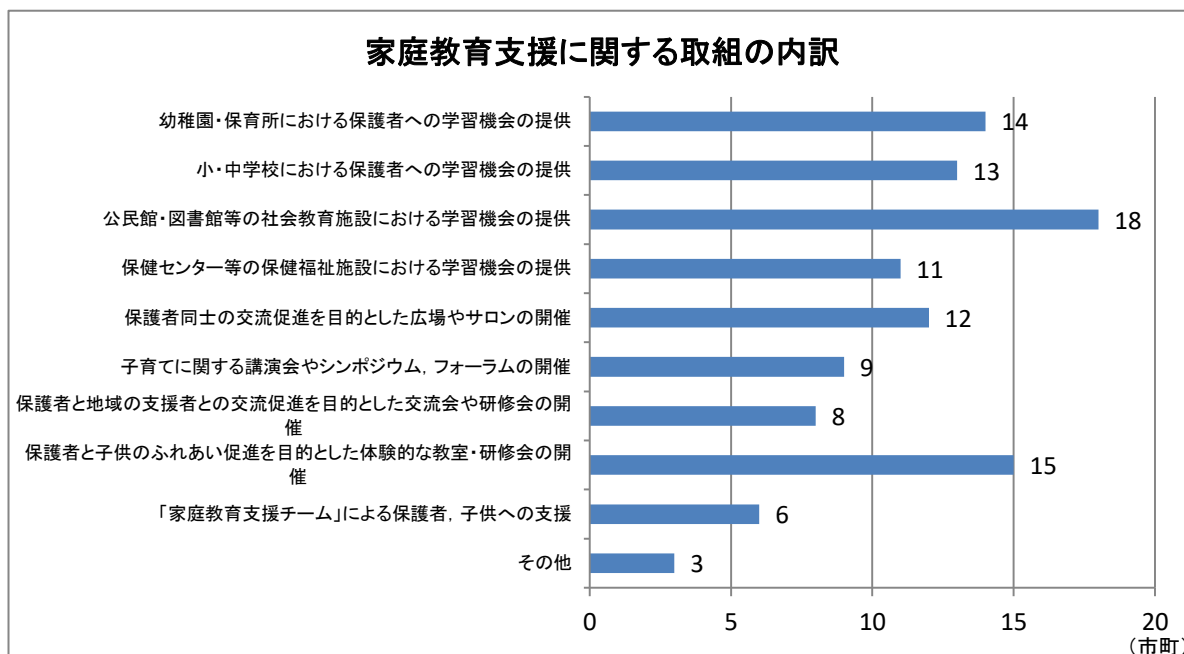
1 貴市町では、家庭教育支援に関わってどのような課題があると思われますか。



2 貴市町では、家庭教育支援に関する取組を行っていますか。



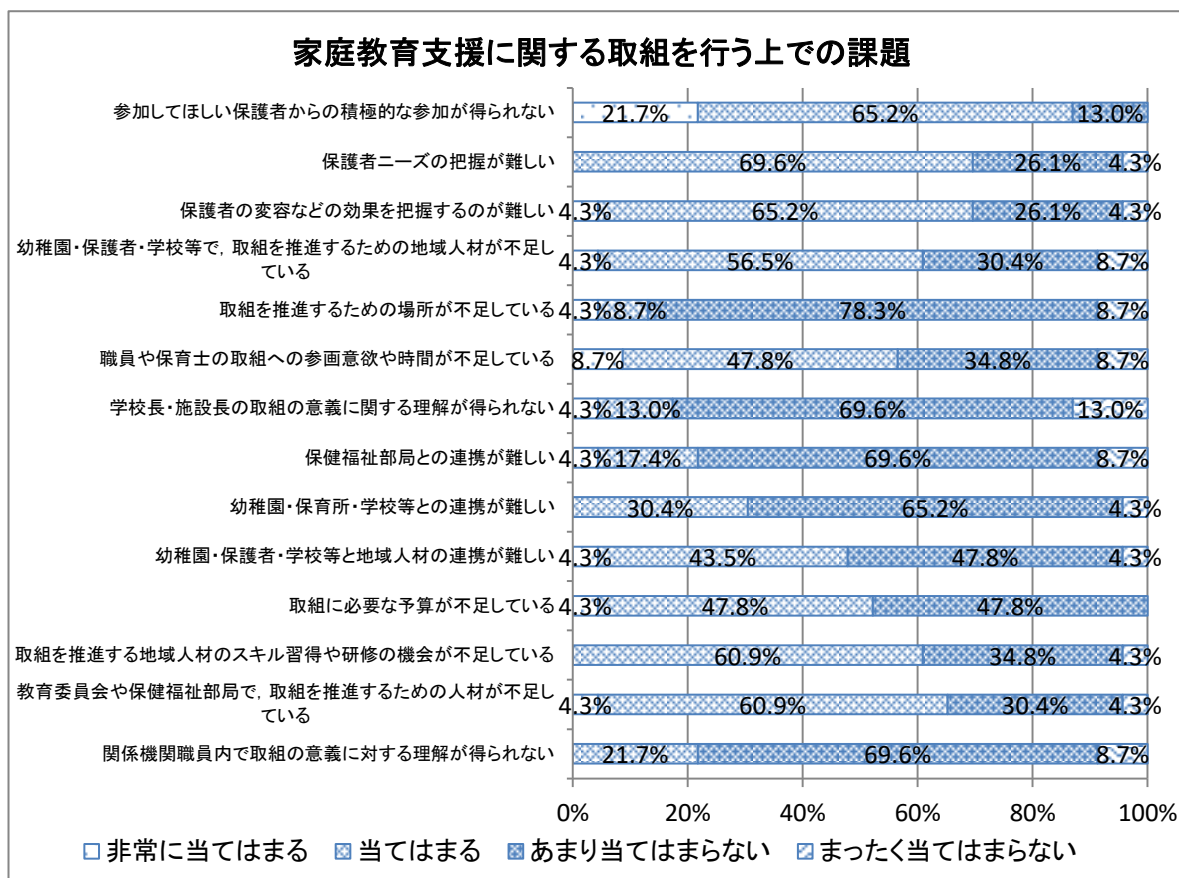
2① 家庭教育支援に関して、どのような取組を実施していますか。



<「その他」の内容>

- ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」の実施【府中市】
- ・子育て支援センター、ネウボラにおける学習機会の提供【東広島市】
- ・地域子育て支援センター運営「情報誌あいあい」の毎月発刊【神石高原町】

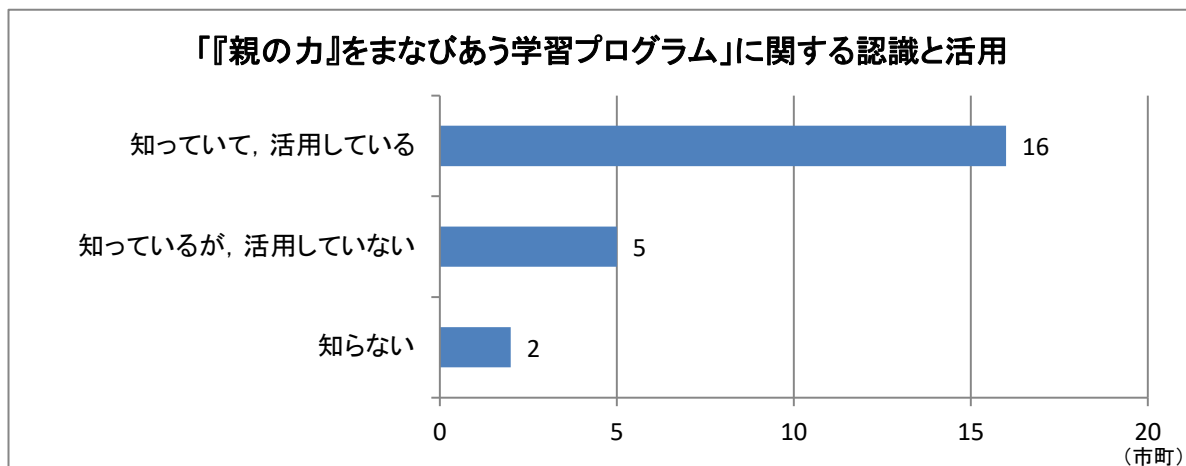
2② 家庭教育支援のための取組を行う際に、どのような課題があると思われますか。



<その他、課題として挙げられた内容>

- ・組織の縦割りにより、各々が事業発案、予算付け、事業運営を行っており、限界がある

3 家庭教育支援の充実に向けて広島県が取り組んでいる「『親の力』をまなびあう学習プログラム」について知っていますか。また、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用していますか。

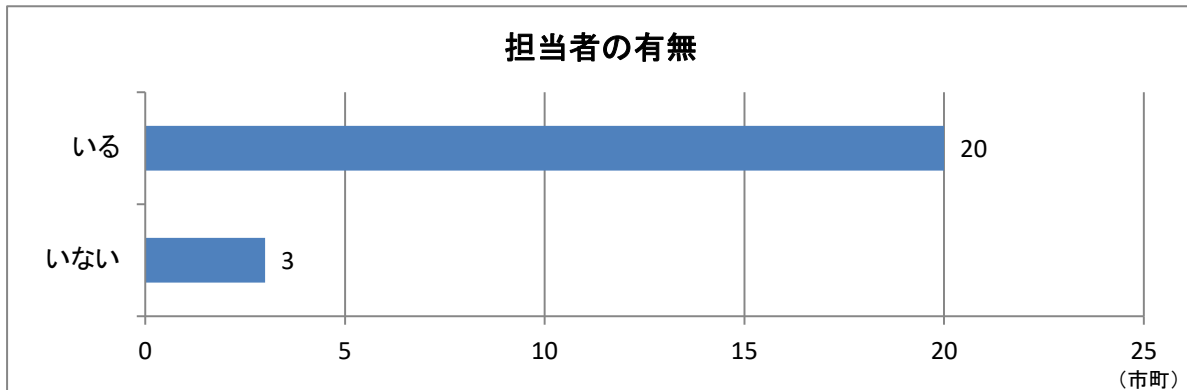


<「知っているが、活用していない」場合の理由>

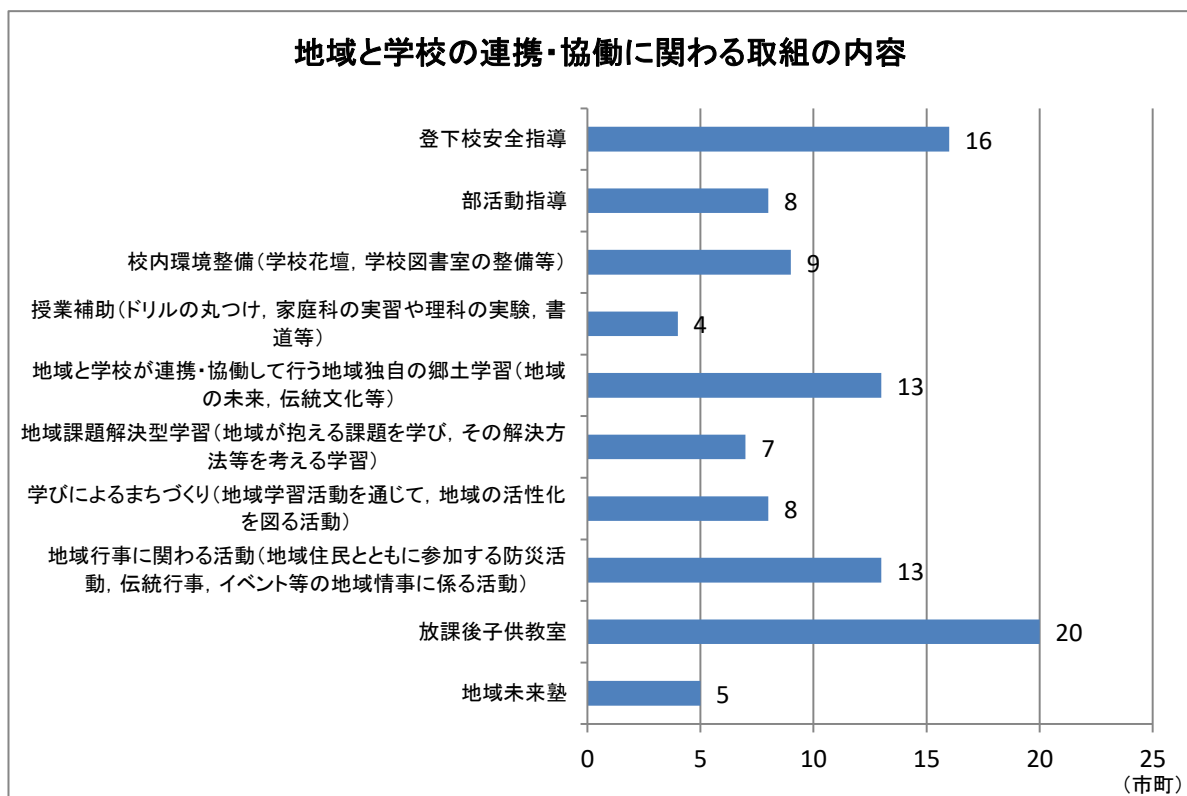
- ・本町では、子育て支援は主に福祉保健部の業務となっている
- ・人員不足
- ・ニーズがあまりないため。近年新しいファシリテーターを養成していない
- ・本町で要望あった際、町内ファシリテーター派遣が完結できる組織づくりを模索中

IV 地域と学校の連携・協働について

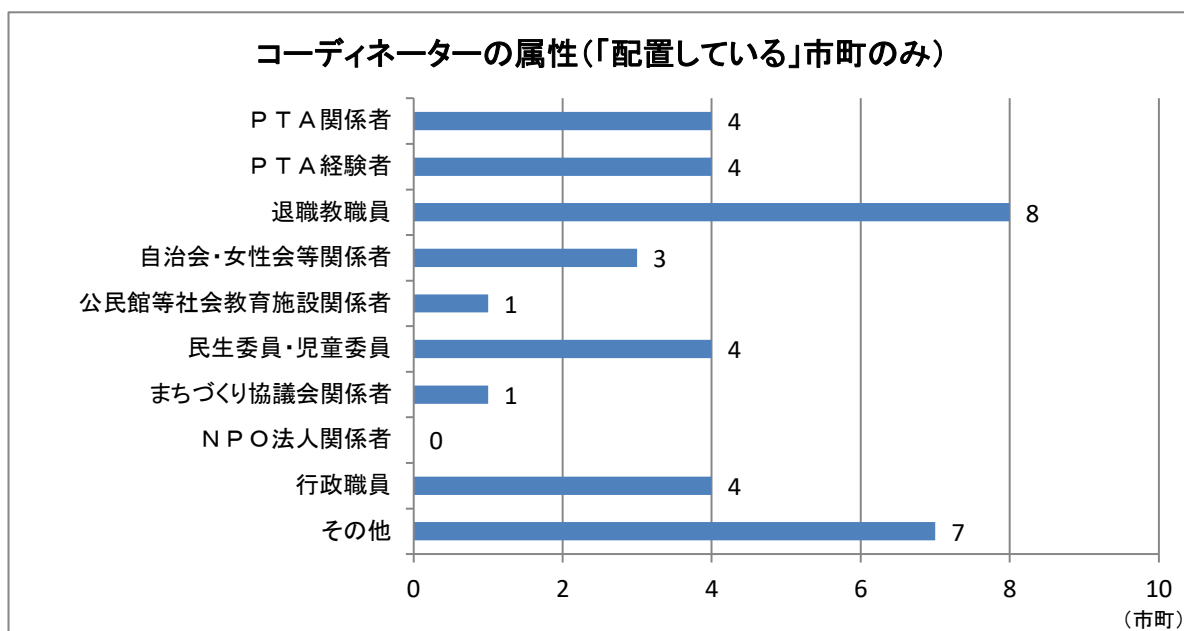
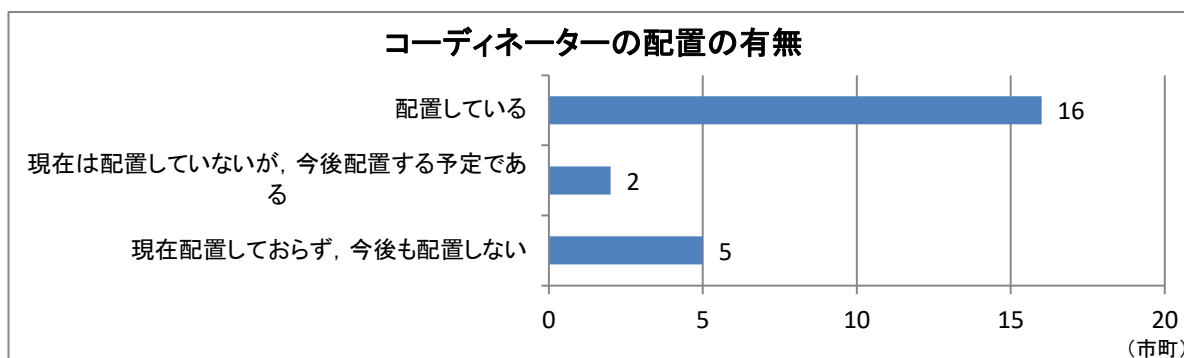
1 貴市町では、地域と学校の連携・協働に関する担当者(職員)はいますか。



2 貴市町では、地域と学校の連携・協働の促進に関して、どのような取組が行われていますか。



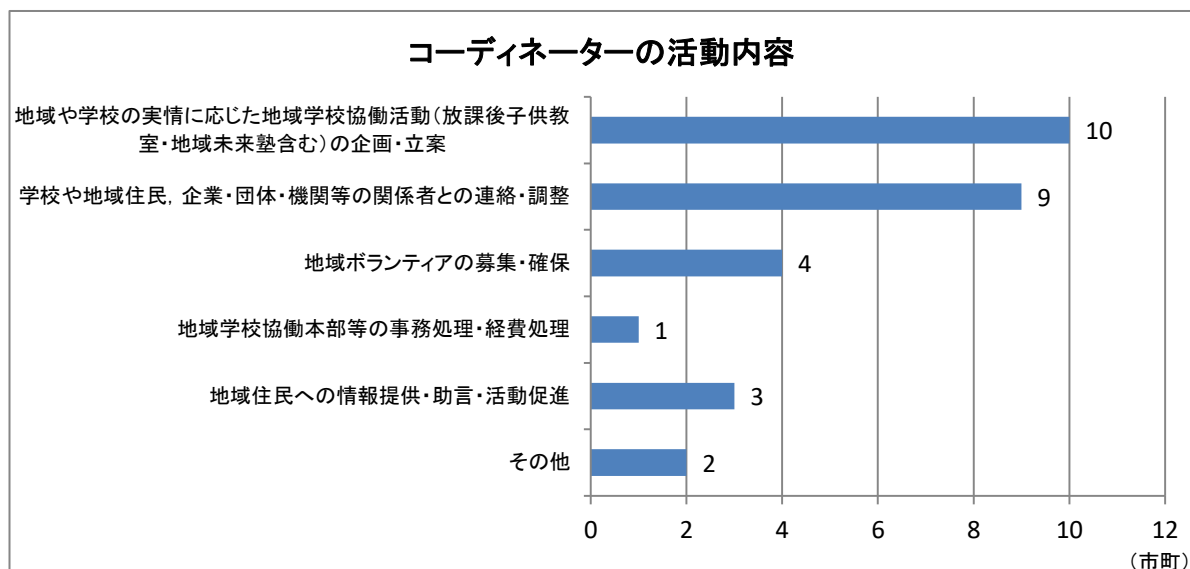
3 貴市町では、コーディネーター(統括コーディネーター, 地域コーディネーター, 地域学校協働活動推進員等)を配置していますか。「配置している」を選択した場合, そのコーディネーターはどういった方ですか。



<「その他」の内容>

- ・大学教員, 子どもの見守り事業の指導員経験者【広島市】
- ・放課後子供教室スタッフ経験者【三原市】
- ・地域住民【大竹市】
- ・元行政職員【熊野町】
- ・会計年度任用職員【大崎上島町】
- ・放課後子供教室を運営する地区の自治センター長【世羅町】

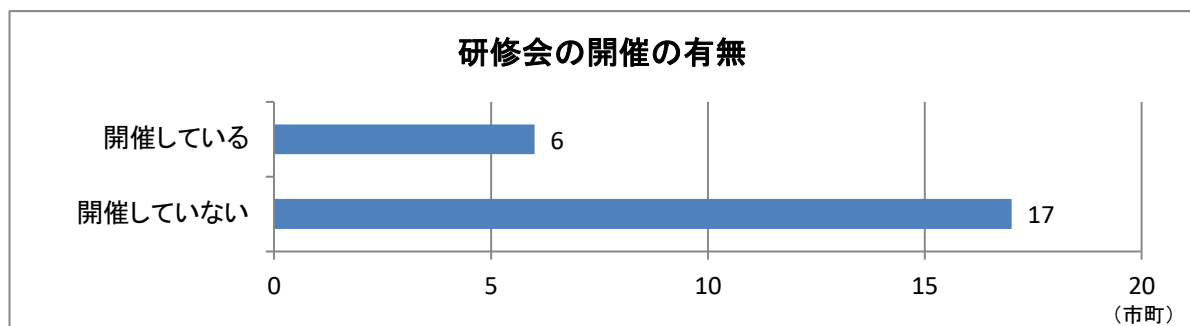
4 貴市町では、コーディネーター（統括コーディネーター，地域コーディネーター，地域学校協働活動推進員等）はどのような活動をしていますか。（設問3にて、「配置している」と回答した市町のみ）



<「その他」の内容>

・放課後子供教室【安芸太田町，大崎上島町】

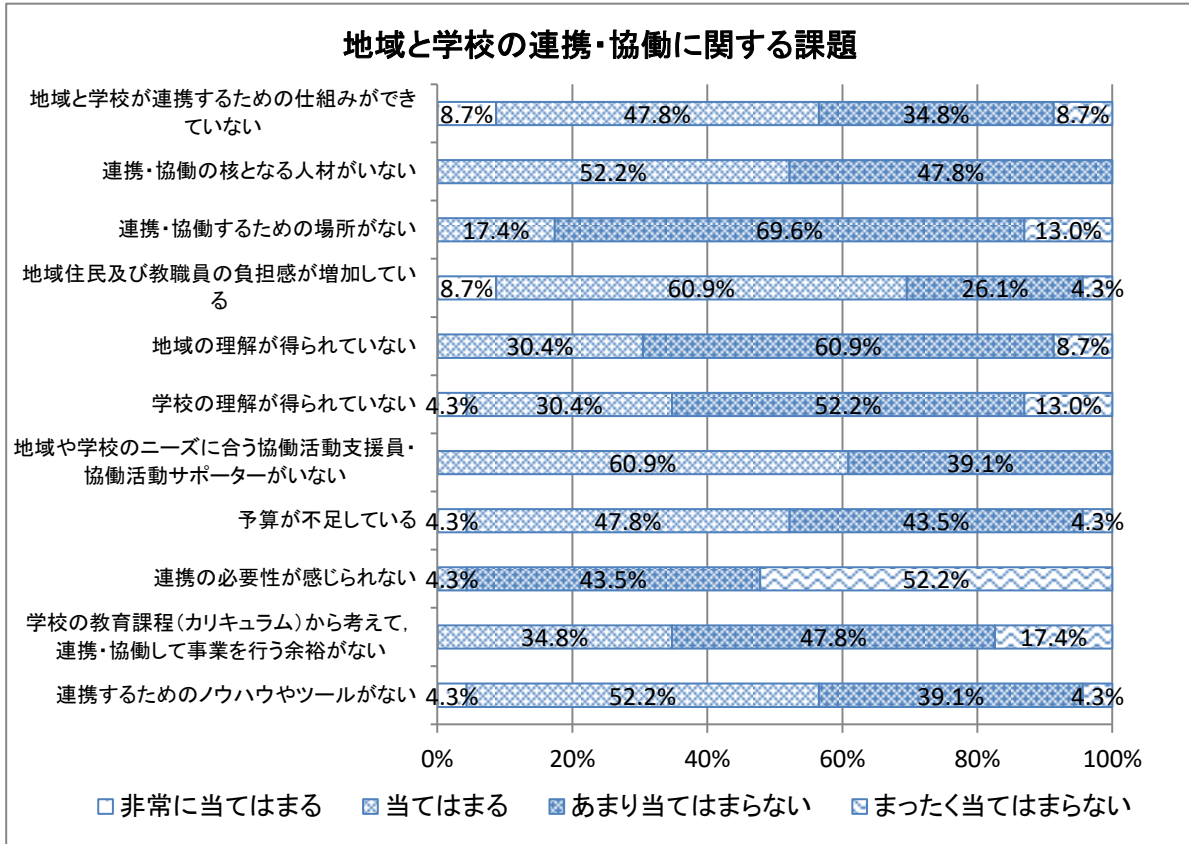
5 貴市町では，地域と学校の連携・協働に関する市町独自の研修会を開催していますか。なお，「開催している」と回答した場合は，研修内容について詳しく御記入ください。



<研修会の内容>

- ・放課後学習支援の効果的な実施方法等についての確認，学校内における不審者対応の確認，不審者情報の共有【広島市】
- ・ボランティア研修会「子供を守る知識とスキルを学びあおう」【尾道市】
※詳細は，49～50ページを参照
- ・地域学校協働活動に関する研修，意見交換，情報交換等【廿日市市】
- ・学校運営協議会設立に向けた委員研修会【海田町】
- ・放課後子供教室における子供の安全についての研修【世羅町】

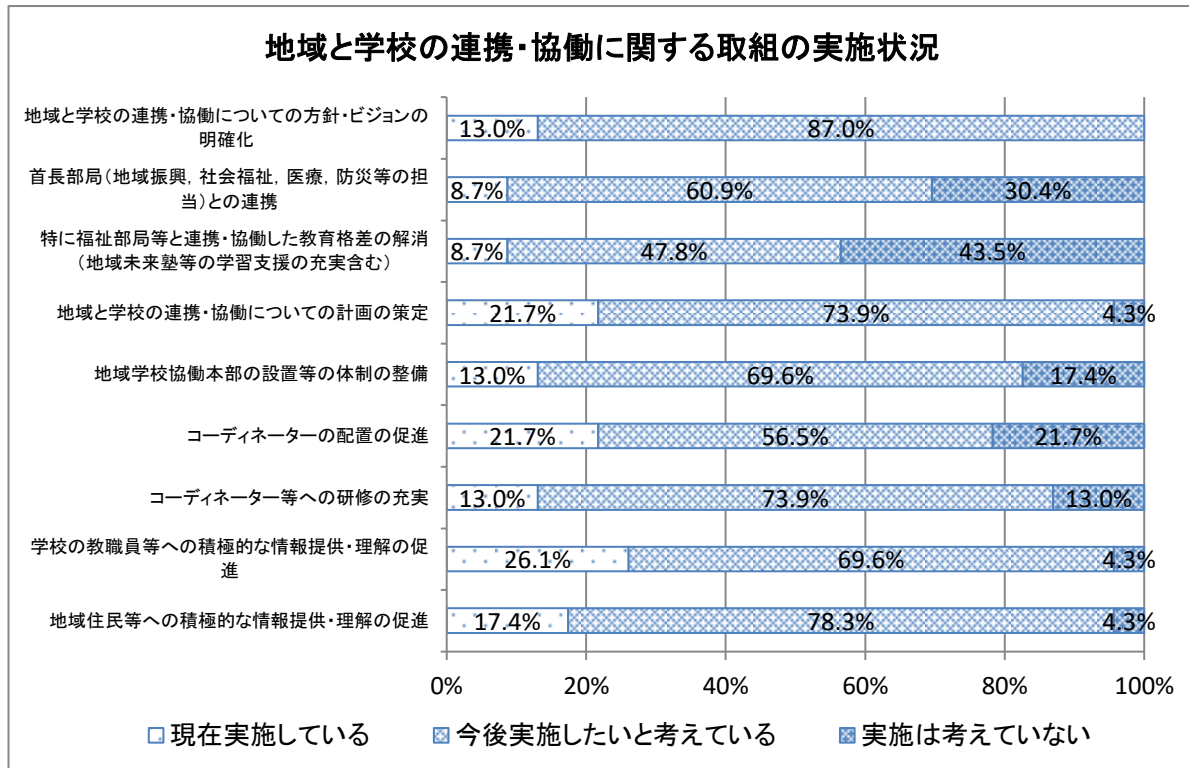
6 貴市町では、地域と学校との連携・協働について、どのような課題がありますか。



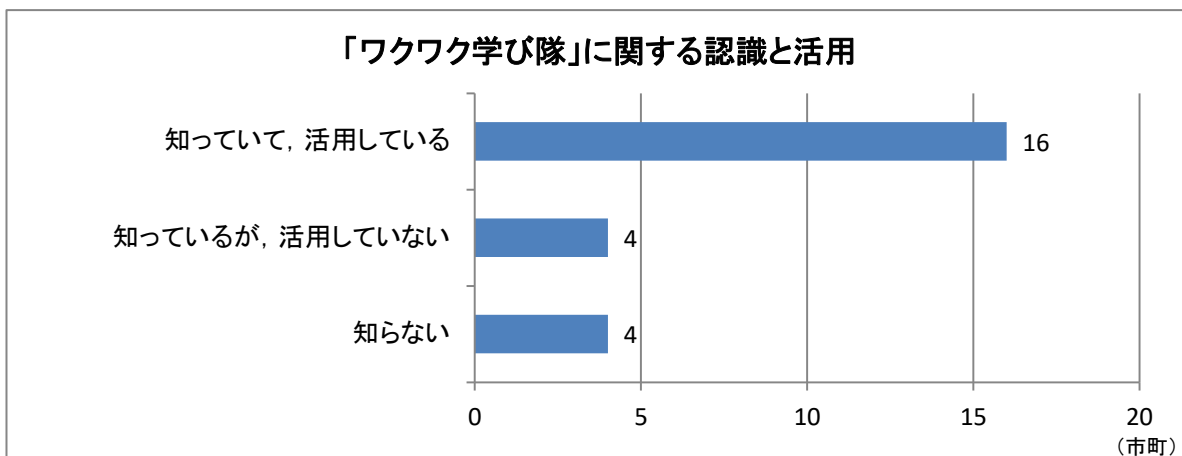
<その他の課題>

- ・地域資源情報収集、地域学校協働活動推進員への助言支援の仕組みができていない
- ・学校区間の温度差がある

7 地域と学校の連携・協働について、貴市町が現在実施していること、また今後実施したいと考えていることはどのようなことですか。



8 広島県立生涯学習センターで実施している「ワクワク学び隊」について知っていますか。また、「ワクワク学び隊」を活用していますか。

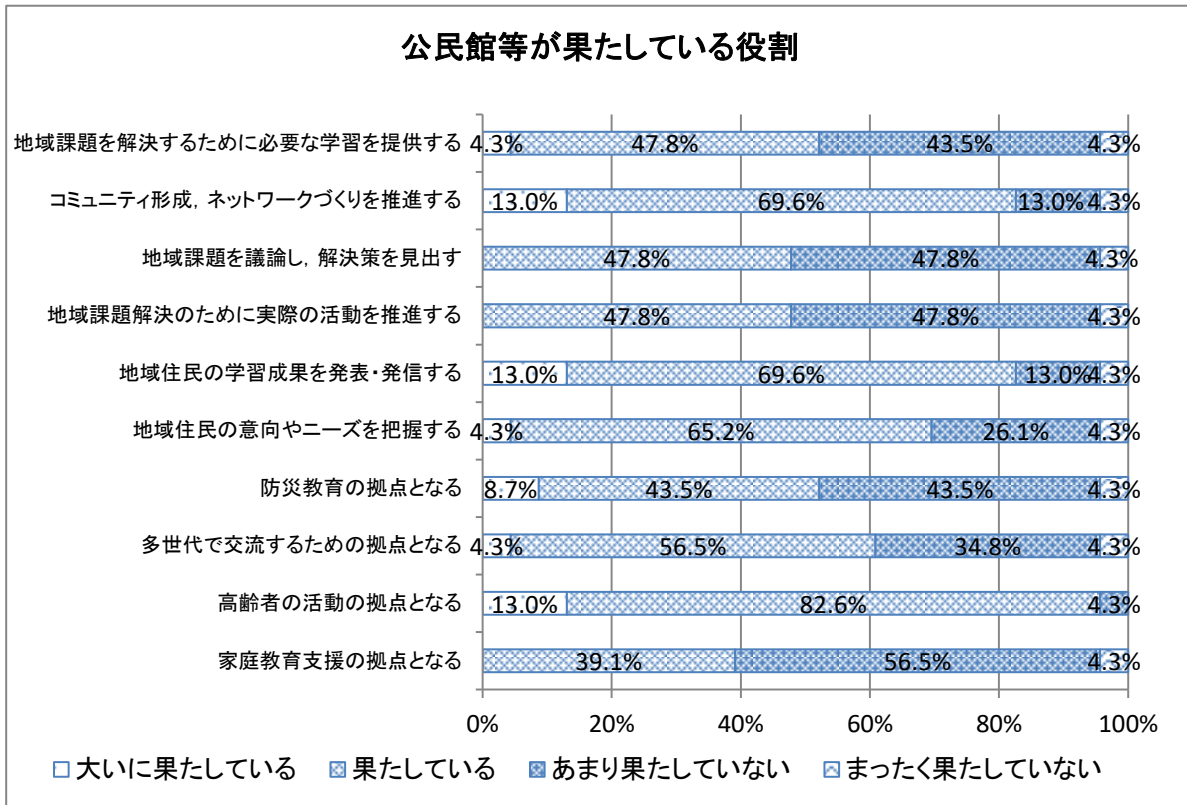


<「知っているが、活用していない」場合の理由>

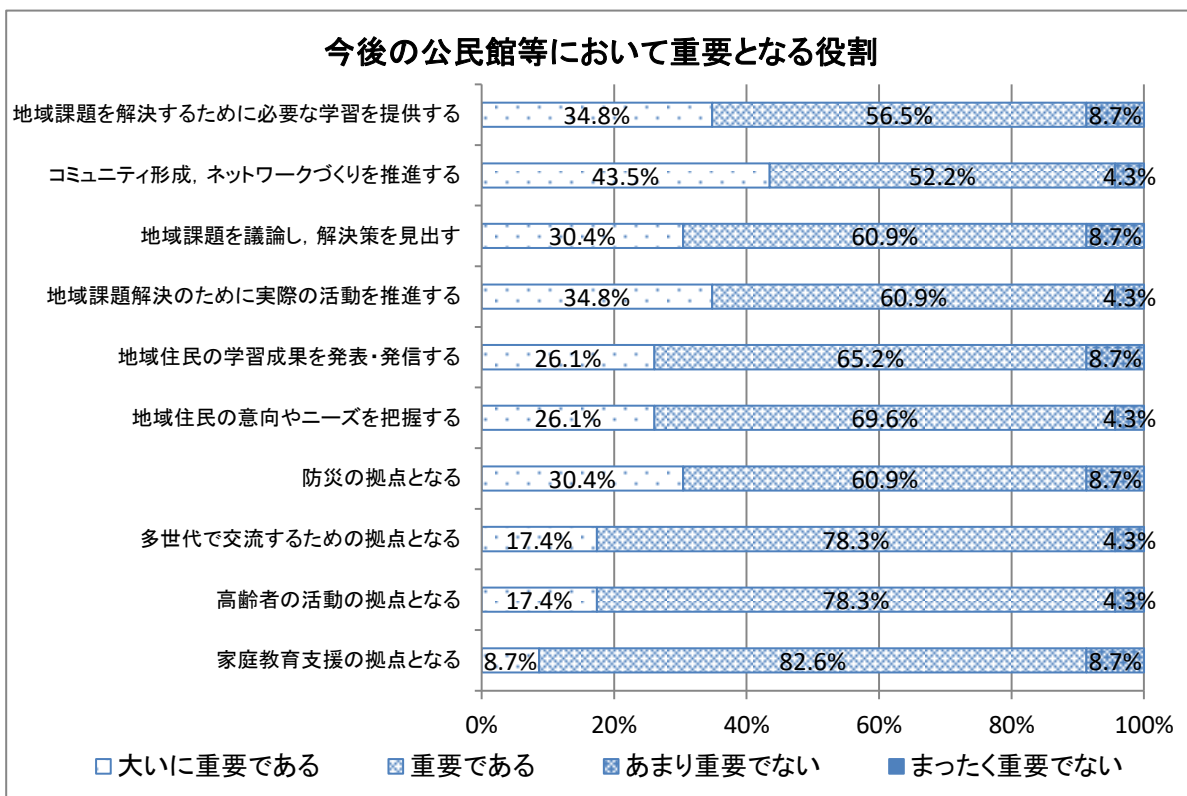
- ・放課後子供教室の委託団体が利用の有無を決定。引き続き「ワクワク学び隊」の情報を委託先に周知したい
- ・放課後子供教室及び地域未来塾を実施していない
- ・現状、放課後子供教室の利用者等からの活用の要望はないが、希望があれば活用する
- ・本市ボランティア活動支援センターに登録の学生団体を活用している

V 公民館等の運営について

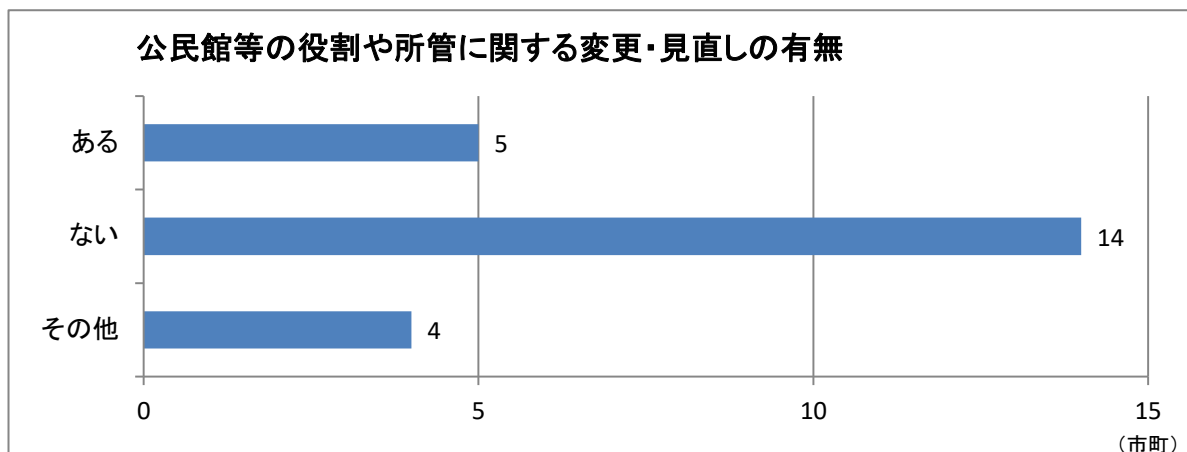
1 現状として、貴市町の公民館等(コミュニティセンター等の類似施設を含む)はそれぞれの役割をどの程度果たしていると思われますか。



2 今後の公民館等の運営において、それぞれの役割はどれほど重要になってくると思われますか。



3 貴市町では、公民館等の今後の役割や所管等の在り方について、変更・見直しをする意向はありますか。

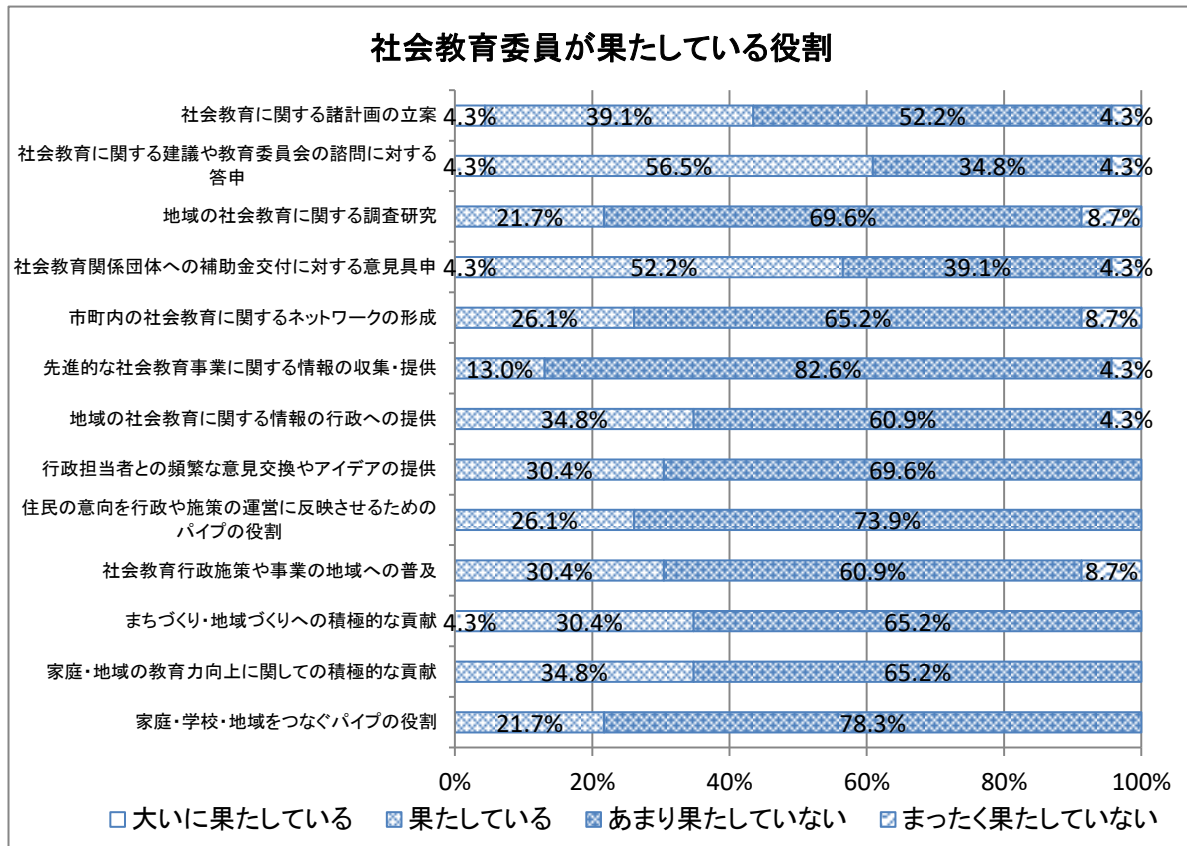


<「ある」「その他」の内容>

- ・地域活動の拠点施設としての役割を担う施設への転換を検討中【三原市】
- ・令和2年度中に作成される施設の個別計画の中で整理される予定【尾道市】
- ・公民館の機能を中心にした複合的機能を有する施設となる交流館への再整備【福山市】
- ・各施設の配置計画(修正)の策定と実施【東広島市】
- ・指定管理による運営を増やすことを検討【廿日市市】
- ・施設の老朽化に伴い、類似施設と集約化する【江田島市】
- ・所管のあり方についての意見がある【海田町】

VI 社会教育委員の職務について

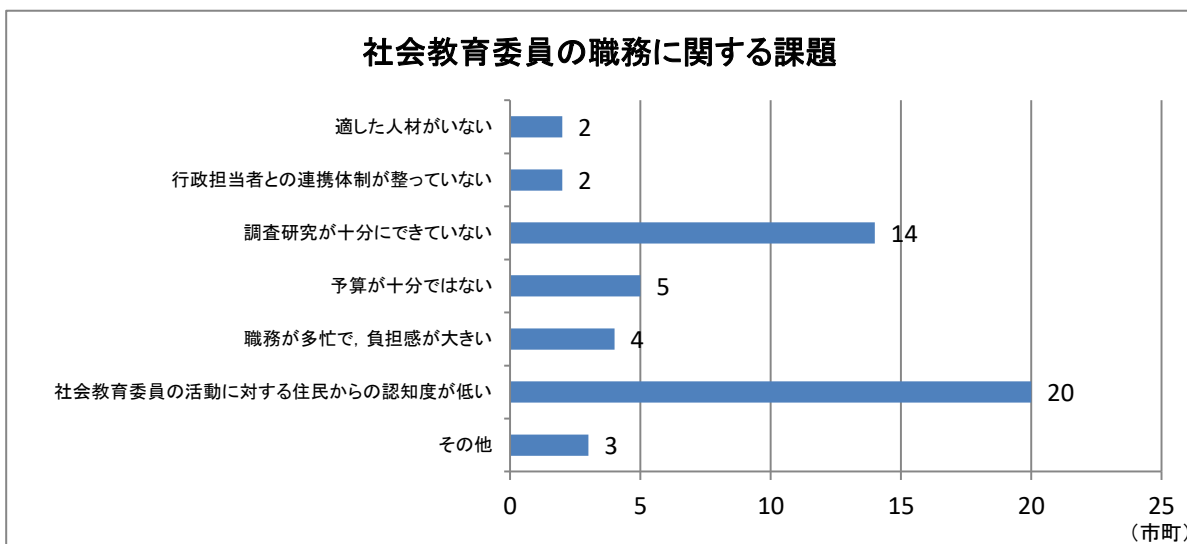
1 貴市町では、社会教育委員はどのような役割を果たしていると思われますか。



<その他の役割>

- ・生涯学習推進計画の点検評価，社会教育関係職員に対する資質向上のための研修講師【東広島市】

2 貴市町では、社会教育委員の職務について、どのような課題がありますか。

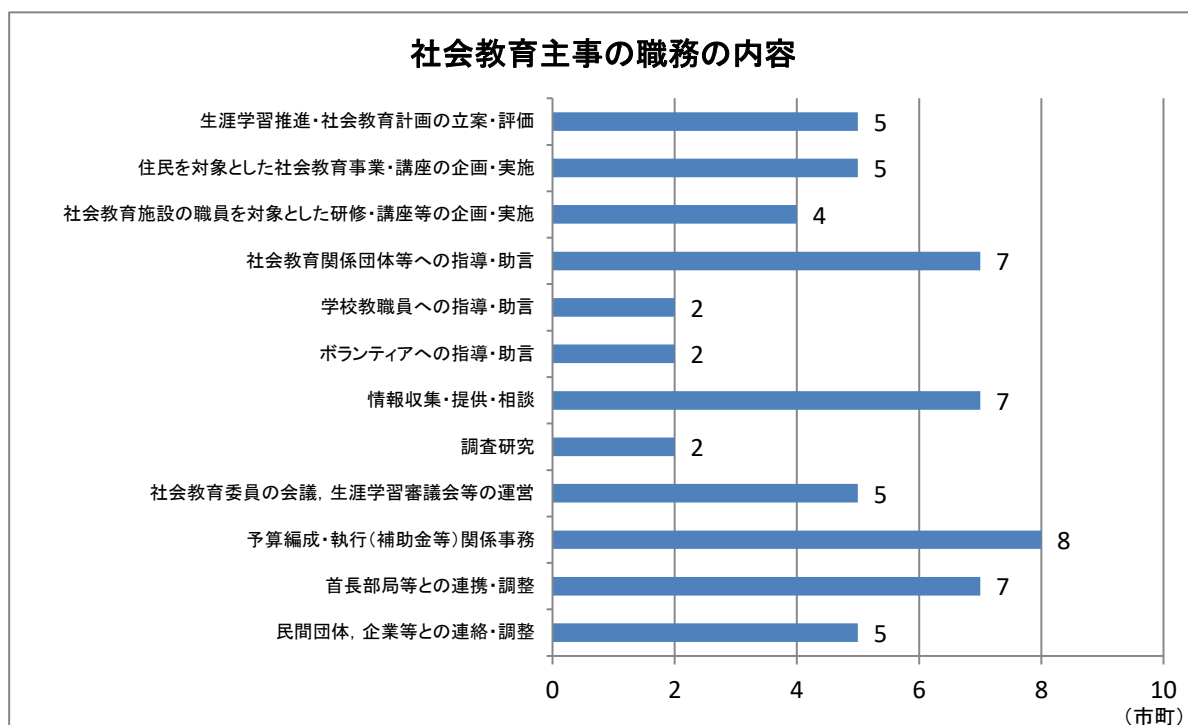


<その他の課題>

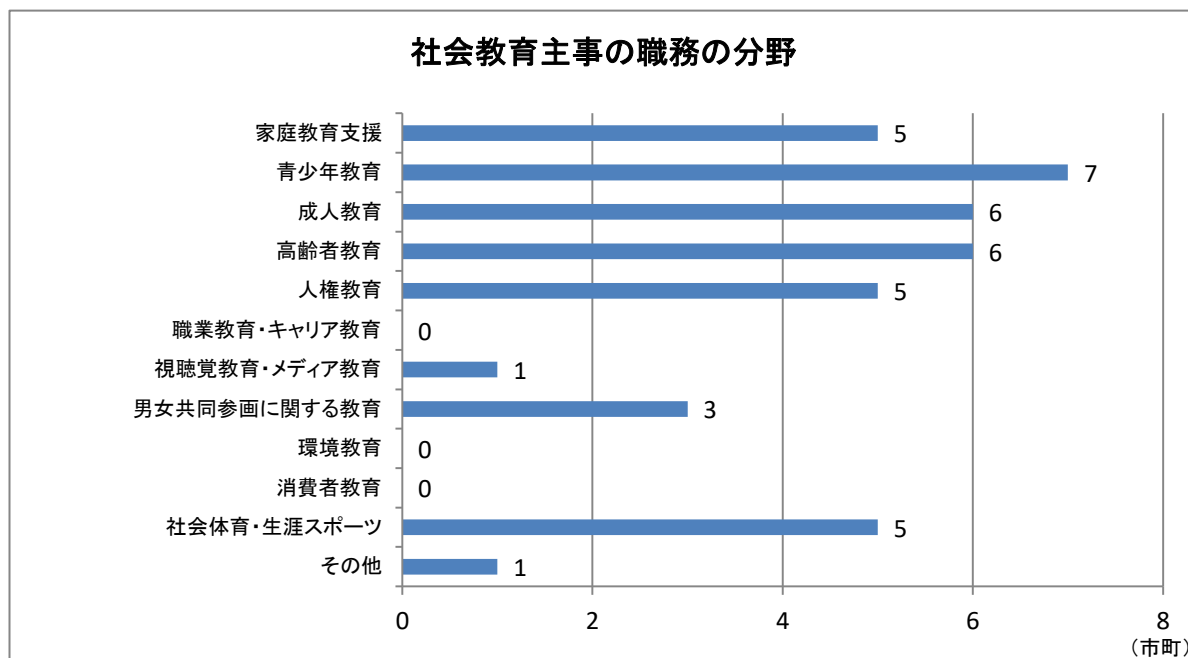
- ・社会教育委員と行政担当者との意見交換等をする機会が少ない
- ・行政が社会教育委員の人選，職務の活性化について取り組めていない
- ・行政が，社会教育委員を活かしていない。委員の意識がばらばら

VII 社会教育主事の職務について

- 1 貴市町の社会教育主事は、現在どのような内容の職務に取り組んでいますか。
 ※社会教育主事の発令がなされている市町のみ回答。(10市町)



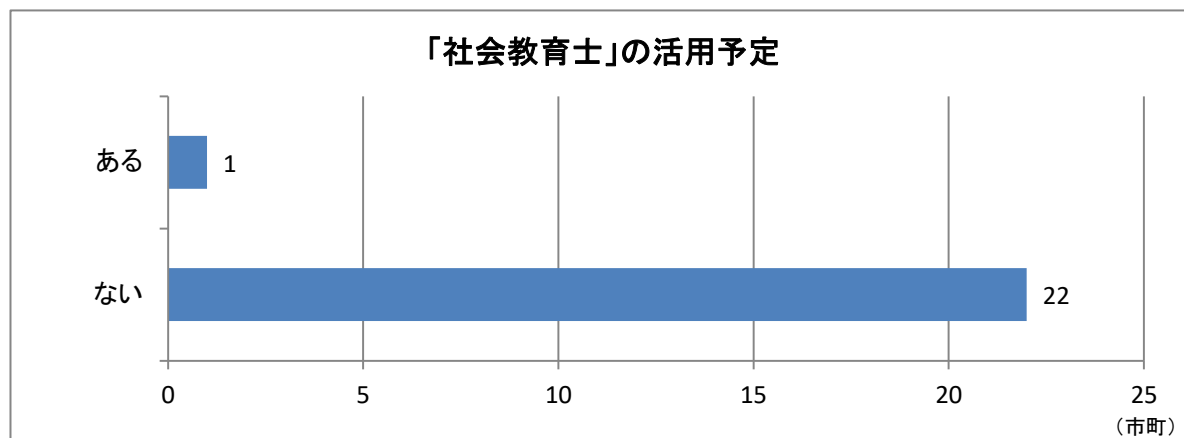
- 2 貴市町の社会教育主事は、現在どのような分野の職務に取り組んでいますか。
 ※社会教育主事の発令がなされている市町のみ回答。(10市町)



<「その他」の内容>

・読書活動の支援(図書館業務)【尾道市】

3 貴市町では、今後の生涯学習・社会教育の取組において、令和2年度より導入される「社会教育士」を活用する予定はありますか。また、「ある」を選択された場合、どのような形で活用することを検討していますか。



<「ある」の内容>

・各センターの社会教育指導員と連携し、社会教育講座の推進を図る【安芸高田市】

<「ない」の内容>

・現時点ではないが、職員が取得する見込としており、今後検討の余地はある【竹原市】

VIII その他

- 1 「市町の課題・取組」「職員研修」「家庭教育支援」「地域と学校の連携・協働」「公民館等の運営」「社会教育委員の職務」「社会教育主事の職務」に関して、貴市町での特徴的な取組があれば、その取組について教えてください。

市町の課題・取組

【大竹市】

■KOIKOI ジュニアリーダーズクラブ

大竹市では、「21世紀を担う人材育成事業」の一つとして、ジュニアリーダー育成事業「KOIKOI ジュニアリーダーズクラブ」を開催している。

学校も年齢も異なる仲間との体験学習を通し、自立心・社会性を育みコミュニケーション力や忍耐力を高め、将来の大竹を担う青少年の育成を目指して実施している。大竹の良い所を再発見してもらうことも目的の一つである。

対象者は、市内在住又または在学の小学5年生から高校生で、令和2年度は、日帰りで6回の講座を企画した。(うち1回は荒天のため中止となっている。)

野外炊飯やグループワーク、体験活動などを取り入れることにより自立心や社会性を育むとともに、最終的には参加者でプログラムを企画し実施することで、将来の大竹を担う青少年の育成を目指している事業である。

※詳細は、66～67ページを参照。

【東広島市】

■東広島熟年マイスター教育講座

高齢者に限定した認知症予防、特殊詐欺対策をはじめとした現代的課題や、本市の福祉制度、地域づくり、幸せづくりや健康課題など、「老い」の特性を生かす学びを展開。「老い」を体系的に学ぶ活動に参加することで、自らの生きがいを創造するとともに、それぞれの地域での新たな縁の創出、高齢期の孤立化防止に資する。

○「人間・生活専攻コース」、「健康・スポーツ専攻コース」2講座で各10回の連続講座

○対象:65歳以上の市民

※詳細は、68～74ページを参照

■生涯学習サテライトキャンパス講座

市全域で大学と連携した生涯学習事業を行っているが、開催場所が限られていることから、市民が身近な場所での受講がかなわないという課題があるため、直接大学教授等が地域に赴いて、講義をする機会を更に充実させることにより、本市の生涯学習推進の基本目標である「市全体を学びのキャンパスに」を具現化し、市内全域に高度で専門的な学習機会を提供することを目的とする。

○講師を依頼する大学

広島大学(広大マスターズ)・近畿大学・広島国際大学

○実施場所及び回数

市内各町の生涯学習センター及び地域センターのうちから9か所

○実施時間

1講座90分程度

○対象

東広島市民

○学習内容

健康、福祉、文化、科学等アカデミックな内容を分かりやすく学ぶ

■ブックデビュー活動推進事業

「ことば」の蔵とも言える絵本や図書館を手がかりとして、様々な社会的子育て支援事業と結合しながら、あかちゃんの「ことば」の獲得を手助けする、家庭教育支援の一環とした事業。

○実施場所

地域すくすくサポート(東広島版ネウボラ)、図書館など

○対象者

乳幼児とその保護者、妊産婦と配偶者

○ブックデビュー推進会議等の設置

実施ボランティアの育成等、行政と市民が連携して取り組むことを検討する組織の設置

※詳細は、75～76ページを参照

【江田島市】

■江田島しましまスタンプラリー

図書館(室)の利用促進及び読書を推進するため、市内にある図書館(2館)と図書室(2室)が連携してスタンプラリーを開催。

借りた本の数に合わせてスタンプを押し、期間中(7月初旬～9月末)に30個のスタンプを集めた方に記念品を贈呈する。

※詳細は、79ページを参照。

【熊野町】

■家庭読書推進事業(くまどく)

対 象:熊野町に住所を有する中学生以下の児童生徒等

内 容:読書の推進と家庭の絆づくりを目的として、子どもと家族が同じ本を読み、その感想等を共有し、読んだ本の内容について家族で語りあい、家族間のコミュニケーションを図るものである。

【世羅町】

■「暮らしの中に本がある」環境づくり事業

町内まるごと図書館構想の下「暮らしの中に本がある」環境づくりに向けて、様々な事業に取り組むことで、読書活動の推進を図る。

現在実施している事業は、ブックスタート事業、セカンドブック事業、せらのまち あちこち図書館、子ども司書養成講座、やまねこ母さんのおはなし会などのソフト事業が中心である。また、今年中に「世羅町子供の読書活動推進計画(第三次)」の策定を予定している。

職員研修

【福山市】

■公民館・交流館職員研修(外部講師を招いての3回連続講座)

テーマ「知っておきたい これが公民館運営術」

市内6生涯学習センターで毎月実施している公民館・交流館職員の主事会の際に、各センター毎にテーマを決め研修を行っている。

研修テーマは、人権学習・平和学習・まちづくり・安全研修等を行っている。

※詳細は、51ページを参照

【廿日市市】

■手話講座

ほぼ毎月開催する市民センター職員を対象とした職員部会において、手話講座を行った。

廿日市市では、平成30年6月に「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」を定め、多様なコミュニケーション手段の円滑な利用促進に関し、基本理念を定めている。これにより、全ての市民が安心して豊かに暮らすことができるまちづくりを実現することを目的としている。

各地域の生涯学習及び地域づくりの拠点である市民センターは、多くの方が訪れ、多様なコミュニケーション手段が求められる。そのため、月一回開催する職員部会において複数回に分け、窓口対応を想定した実用的な手話講座を開催し、サービスの向上を目指した。

家庭教育支援

【呉市】

家庭教育の充実に向けて、親子関係や家族関係などをより豊かなものにしていくきっかけづくりのために、広島県教育委員会が開発した「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用した講座を、呉市からファシリテーター(講師)を派遣して実施している。

令和元年度は、講座を15回開催し、延べ605人が参加した。

※詳細は、35～42ページを参照

【尾道市】

地域に根差した家庭教育支援を推進するため、家庭教育や子育てに関する情報提供、家庭教育講座の提供およびコーディネート、相談対応等を行っている。

※詳細は43～50ページ、また、尾道市HPIに掲載されている親ちからのリーフレットを参照。

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/kyoiku/3067.html>

【三次市】

■三次市甲奴地区教育支援チーム

- ・地域女性会ピースベル甲奴
- ・株式会社グリーンカウベル
- ・カーターピーナッツ研究会
- ・おはなし会サークルへびくんのおさんぽ
- ・三次市母子保健推進員

以上5団体で構成され、それぞれの団体活動に加え、別紙で紹介する「子ども食堂」のように連携した活動も行っている。

※詳細は、57～59ページを参照

【庄原市】

庄原市では、平成28年度に「子供の読書活動推進計画(第三次計画)」を策定し、学校・家庭・地域が連携し、子供が図書に触れる機会を増やすことを掲げている。これまで各自治振興区や読書ボランティア団体がそれぞれ活動を行ってきたが、活動をつなげ充実を図るとして、読書ボランティアや学校司書、「親プロ」ファシリテーター等を構成員とした家庭教育支援チームを平成30年11月に設置した。図書館や読書ボランティアと連携した活動に取り組み、企画や意見交換の場である家庭教育支援チーム会議を年数回開催。令和元年度には図書館まつりを実施した。

※詳細は、62～65ページを参照

【安芸高田市】

■「親プロ」オリジナルの人権講座

参加体験型学習「『親の力』をまなびあう学習プログラム」のオリジナルプログラムとして、人権講座「きもちかんじる クリスマス会」を実施。

- ・対象者：安芸高田市内在住の3歳から小学生(保護者同伴)
- ・実施日：人権週間中の土曜日または日曜日
- ・プログラムの内容：絵本の読み聞かせ・アイスブレイク・クリスマスリースづくり・メッセージカードの記入(作成したクリスマスリース及びメッセージカードは、市民文化センターの1階に1週間程度掲示)

■ブックスタート

「安芸高田市子供の読書活動推進計画」に基づき、家庭での読み聞かせなど、読書活動へのきっかけづくりを目的として、安芸高田市に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を開く体験とともに絵本をプレゼントする、ブックスタート事業を実施。

- ・対象者：生後4か月の赤ちゃんとその保護者
- ・配布方法：健康長寿課が実施する4か月児相談の会場で、待ち時間などを利用し、市内読み聞かせボランティアが、絵本の選び方や読み聞かせのアドバイスをしながら絵本を手渡す。(現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせは中止)
- ・プレゼントの内容：絵本1冊・おすすめ絵本のパンフレット・布バッグ

※絵本は、市内読み聞かせグループが選んだお勧めの絵本(7冊)の中から、お好みの本を1冊選んでもらう。

【府中町】

1. 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(通称 親プロ)を活用した出前講座
 - ・講座実施機関の開拓
 - ・ファシリテーター(進行役)の養成・ステップアップ研修
 - ・地域課題を踏まえた独自教材の作成
2. コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ・しゃべり場」
3. 子育て相談(フリートーク)
4. 不登校児童生徒の保護者の支援「カフェ くすのき」「親どうしが語り合う会」
5. 託児サービス及び各種研修会の講師等

※詳細は、80～85ページを参照

【世羅町】

■世羅町家庭教育支援チームの活動

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」のファシリテーターグループ「Pクラブせら」の活動を側面的に支援することで、家庭教育講座の開催を促している。

「Pクラブせら」の特徴は、チームファシリテーション(1人ですべてを行うのではなく、役割分担をして個々の負担軽減をしている)である。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用した講座等の依頼が現在はない状態であるが、今後は県が開催する研修会への参加や定例会の再開を予定している。

地域と学校の連携・協働

【尾道市】

小学校、中学校単位で地域教育支援推進委員会(主に地域の関係団体の役員等で構成されている)を設置し、学校の状況に応じた学校支援を行っている。

これは、地域の教育力及び家庭の教育力向上を図るため、地域全体で主体的に子どもの教育を支援する体制を構築し、学校支援ボランティアによる学校支援及び講座等の開催による家庭教育支援活動等を行うことを目的としている。

※詳細は、43～50ページを参照

毎年ボランティアの研修会として、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、教育ボランティアの指導員等に対して研修を行っている。

令和元年度はCAP講座を行った。子どもがいじめ・虐待・性暴力や犯罪など危険な目にあわずに、安心・安全な環境で成長していくためには、学校・家庭・地域の三者が一体となって、環境を整えていく必要がある。そこで、子どもたちを守るために大人は何ができるのかを、参加者同士話し合いながら、CAPプログラムをとおして考え、子どもの人権を尊重した支援の方法を学んだ。

※詳細は、49～50ページを参照

【府中市】

■地域未来塾「天領あやめ塾」

少子高齢化の進展、人口減少が進む地域において、学級規模の小規模化などによる教育上の課題や、学校統廃合の進行による学校と地域の関係の希薄化などの課題が生じている。

これらの課題に対して、地域人材による学校の教育活動の支援によりその緩和を図るとともに、学校や地域の教育環境の魅力の向上を図り、地域全体で地域の将来を担う子どもたちを育成することを通して、地域創生の実現を目指す。

※詳細は、52～56ページを参照

【三次市】

■コミュニティースクール研修会

日時: 令和2年6月30日(火) 14:00～16:00

場所: 三次市役所会議室

内容: ①開会行事 教育長挨拶

②三次市教育委員会「三次市におけるコミュニティースクール導入計画の現状について」説明

③文部科学省総合教育政策局
コミュニティー・スクール推進員(CSマイスター)
府中市教育委員会 主幹 宮田 浩治
「『Society5.0時代』の学校づくり・地域づくり」

④質疑・応答

⑤閉会行事 教育長挨拶

※令和2年10月22日(木)に2度目となる研修会が行われた。

■若者×ツナグバ

・ほしはら山のがっこう

ワカモノ×コドモ自然学校プロジェクト

ワカモノが自分たち、そしてコドモを対象とした自然体験企画&実行をとおして仲間づくりと社会貢献、そして新しい自分と出会うプロジェクト。ショッピングセンターを活用してのカフェイベント、ワカモノボランティアデビューや対話の機会づくりを企画実践

・NPO法人三次おやこ劇場

若者の自宅以外の居場所づくり、オープンカフェブースでの石窯づくり、カフェの運営とイベント企画を若者自身で実践できるきっかけ作り

★マツダ財団・府中町の志楽蝶・おやこ劇場・ほしはら山のがっこうのタイアップによるおとなの自然学校プロジェクトの企画・実施も行った。

※詳細は、60～61ページを参照

【安芸高田市】

■地域未来塾(放課後子供教室)

経済的な理由等により、家庭での学習が困難な小学生をはじめ、学力の遅れがちな小学生を主な対象として、家庭学習活動を支援し、基礎学力の定着を図り、様々な体験活動等校外活動にも積極的にチャレンジする子どもの育成を推進することを目的とする。

・対象者:安芸高田市内小学校 5・6年生

・受講費用:無料

・会場:安芸高田市内小学校および隣接施設(文化センター)

・開講日:週2日(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため週1日)

・開講時間:16時30分から18時(1時間30分)

・講師:各会場1名～2名(事業に興味・関心があり、指導に積極的な成人市民・教員OB/OGなど)

【府中町】

放課後子供教室のボランティア等を対象に、県の「訪問型研修」を利用し、町主催の「府中町放課後子供教室ボランティア研修会」を年に1、2回実施している。

研修内容は、県から紹介された講師による講演会(例:子どもとの接し方等)や工作研修、意見交換会等でプログラムを組んでいる。

※詳細は、86～88ページを参照

【海田町】

文部科学省からコミュニティ・スクール推進委員(CSマイスター)をお招きし、学校運営協議会委員を対象に「学校運営協議会制度」についての研修を実施した。

【北広島町】

■ふるさと夢プロジェクト

平成27年度から実施。「ふるさとを知り、ふるさとを愛し、将来ふるさとに住みたい、ふるさとに帰りたくなる子どもの育成」を目的に事業展開

(1)各学校事業～各学校毎に事業計画。地域の方々と共に活動する。

(2)町全体事業

①小学校横断事業

・5年生:町内民泊体験～北広島のよさを満喫しよう

・6年生:植松電機社長の講演「夢と希望を乗せてロケットを飛ばそう」・ロケット制作と発射

②中学校 北広島版キャリア教育

・茅プロジェクト・JOBトライアル

※詳細は、91ページを参照

公民館等の運営

【福山市】

概ね小学校区に1公民館を基本に市内に79館設置していたが、多くの施設が建築後30年を経過し、老朽化や利用しにくい施設となっている。そのため、住民の活動を支える身近なまちづくりの拠点として、公民館の機能を中心にした複合的機能を有する施設となる交流館へ再整備している。現在3館が交流館へ移行しており、公民館と同様の機能をそなえるものの、公民館とは異なり社会教育法に基づく教育機関としては位置付けていない。

【北広島町】

平成31年4月4地域公民館が、地域づくりセンターと名称変更し、教育委員会から町長部局のまちづくり推進課へ移管した。センター内は、教育委員会部局と町長部局の両方の職員が混在する。

令和2年度末に竣工予定の新しい建物で、まちづくりセンター(千代田地域づくりセンター)がオープンする。組織体制を検討中。

社会教育委員の職務

【海田町】

(当時)令和2年度開館予定の新海田公民館の整備に合わせて、「社会教育」「文化財保護」「文化芸術振興」「スポーツ振興」の各分野のソフト事業においても時代に即したものとなるよう、海田町教育委員会からの諮問を受け、平成31年3月1日に、海田町社会教育委員会議より「社会教育施設のあり方」及び「文化協会及び総合型スポーツクラブの設立」について答申を行った。

答申にあたっては、合計6回の検討会議を重ね意見を集約した。

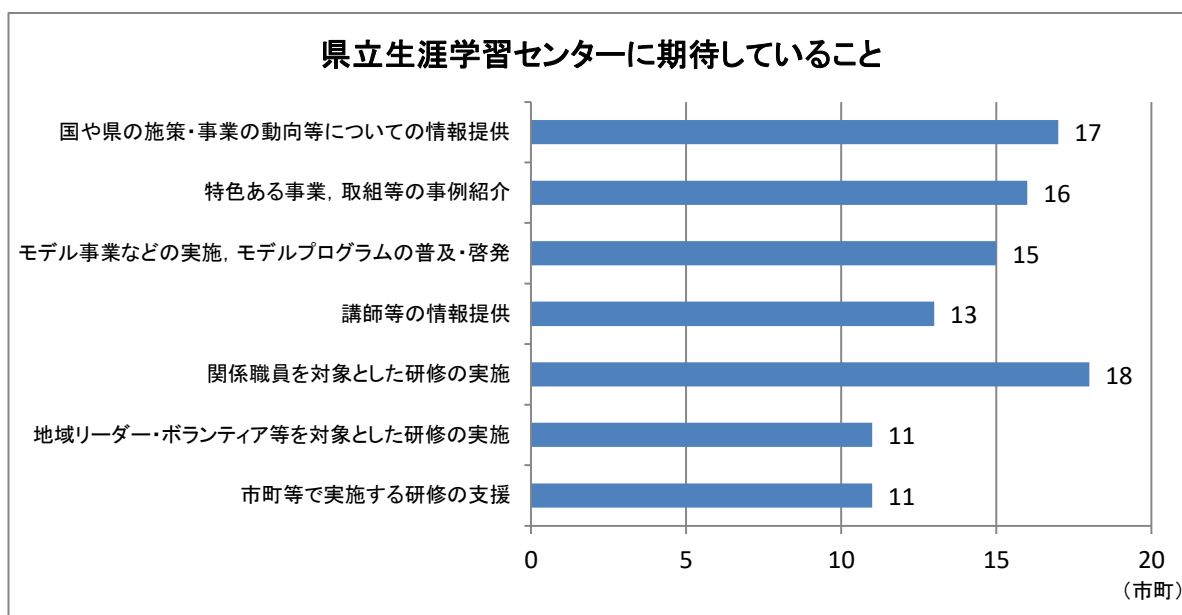
※詳細は、89～90ページを参照

社会教育主事の職務

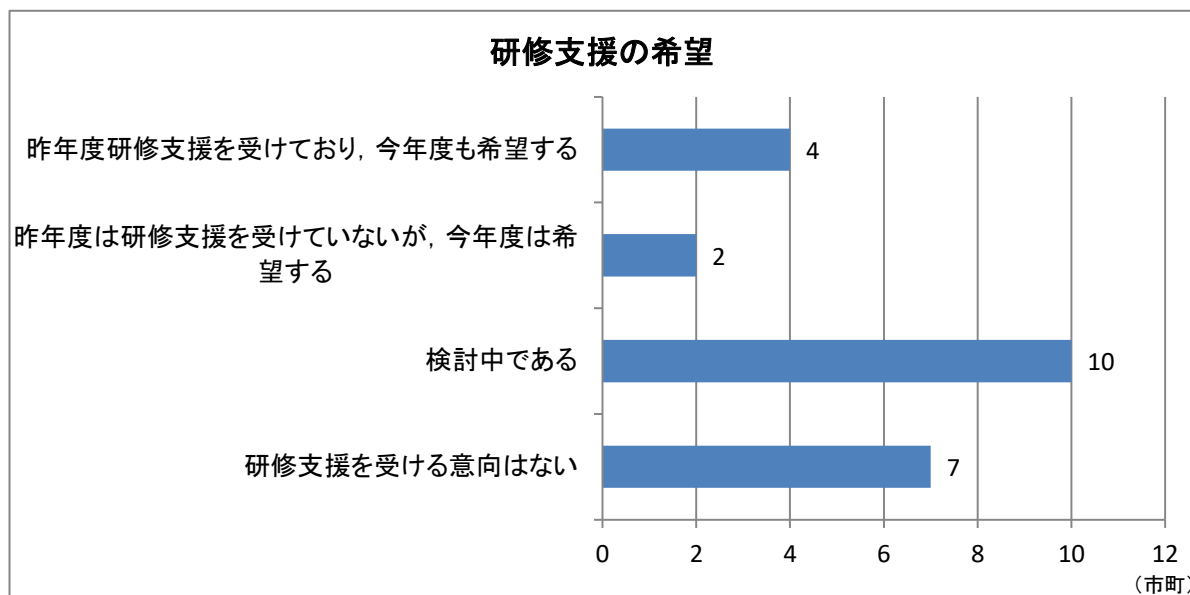
【廿日市市】

平成30年度、31年度、市民センター職員が社会教育主事講習を受講することにより、知識やスキルを得ることにより職員としての資質を高めることができた。

2 県立生涯学習センターにどのようなことを期待していますか。



3 県立生涯学習センターでは、「複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業実施に係る取組の充実に向けて、市町の社会教育主事、研修担当職員等と連携・協働し、市町が実施する研修(人材育成)の企画・運営を総合的に支援する」という趣旨のもと、「地域課題対応研修支援(訪問型研修)」を実施しております。貴市町では、今年度(令和2年度)、こちらの研修支援を希望される意向はありますか。



<希望する研修支援の内容>

- ・公民館職員等の研修【府中市】
- ・昨年度も支援を受ける予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会の実施ができなかった。市内自治振興センターで実施される生涯学習事業の充実、促進を図るため、事業評価指導等をお願いしたい【庄原市】
- ・「ひろプロ」計画及び実施に係る指導助言【東広島市】
- ・学習プログラムの企画・立案、広報紙作成の基礎、学習プログラムの評価【廿日市市】
- ・講師情報の提供や研修企画のアドバイス等【府中町】
- ・地域づくりのための学びの場とコーディネート、社会教育における広報(広報紙作成の基礎)【世羅町】
- ・基礎的な研修を様々な手法でお願いしたい。例えば、県内先進市町視察、他業種見学からヒントを得る(ICT技術などを学ぶなど)、災害対策の取組、現地の体験学習に実際に参加させてもらう、など【神石高原町】

令和2年度まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業に係る説明会実施要項

1 目的

- ・ まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業の実施校へ、取組の内容及び委託契約に係る事務手続きや学習支援サービスの利用方法及び効果的な活用方法を説明することにより、事業の充実と円滑な実施に資する。
- ・ コーディネーターや担当教職員の連携の充実を図る。

2 主催

広島市教育委員会 学校教育部 指導第二課

3 日時

令和2年4月10日（金）14：50～16：45

4 対象

- ・ 令和2年度新規実施校コーディネーター及び絆プロジェクト担当教職員
- ・ 絆プロジェクト継続校のうち参加希望者

5 会場

広島市西区地域福祉センター 3階 大会議室

（広島市西区福島町二丁目24番1号 TEL 082-294-0104）

※ お車でお越しの際は、臨時駐車場をご利用ください。

6 日程

（受	付）	14：20～14：50									
開	会	行	事	14：50～14：55							
概	要	説	明	14：55～15：05							
会	計	関	係	書	類	の	説	明	15：05～15：35		
学	習	支	援	シ	ス	テ	ム	の	説	明	15：35～16：00
事	務	手	続	き	の	説	明	16：00～16：45			

1 趣旨

家庭教育の充実に向けて、親子関係や家族関係などをより豊かなものにしていくきっかけづくりのために、広島県教育委員会が開発した「『親の力』をまなびあう学習プログラム」（以下「学習プログラム」という。）を活用した講座を、呉市からファシリテーター（講師）を派遣して実施します。

2 主催

呉市

3 内容

- (1) 学習プログラムを活用した参加型学習講座を実施します。
 - ① 学習プログラム（41の教材メニュー）の中から選択できます。
 - ② その他、申込団体の実情に合わせたオリジナルプログラムも選択できます。この場合はファシリテーターとの打ち合わせが必要ですので、その旨を申込書に記入してください。
- (2) 所要時間は、1講座当たり、概ね120分で行います。
- (3) 1講座あたりの参加人数は、12人以上50人程度を目安とします。

4 講座を実施する期間及び実施団体数

実施期間：令和2年6月～令和3年1月（予定）

実施団体数：先着12団体

5 講座を実施する対象団体

呉市内の学校、幼稚園、保育所、社会教育関係団体、家庭教育関係団体、市民公益活動団体等

6 講座の申込

申込書（別紙1）を、開催希望日の概ね2ヶ月前までに、文化振興課へ提出してください。

7 講座の決定等

日程及び派遣する講師の調整を行い、決定通知書（別紙2）を交付します。また、御希望の日程等において、講師の調整がつかない場合がございますので、御了承ください。

8 派遣する講師

呉市が指定する県教委実施のファシリテーター養成講座の修了者を派遣します。

9 費用

無料です。

10 その他

- (1) 参加者への広報、会場確保・設営等をお願いします。
- (2) 講座の実施にあたり、物品等の準備が必要な場合は手配をお願いします。
- (3) 使用する教材（ワークシート）は、広島県立生涯学習センターのホームページ（ぱれっとひろしま→家庭教育支援→「親の力」をまなびあう学習プログラム）からダウンロードして、あらかじめ準備しておいてください。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/kateikyoku-oyapuro.html>

- (4) 新型コロナウイルスの感染防止対策にご協力をお願いします。

11 連絡先

呉市文化振興課 社会教育グループ

電話 0823-25-3461

FAX 0823-24-9807

(別紙)

令和元年度「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座 実施一覧

	実施日		実施団体	対象者	参加人数	教材番号
1	6月9日	(日)	呉市立川尻小学校	保護者	69	18
2	7月3日	(水)	呉市教育会	会員	13	1
3	7月10日	(水)	呉市PTA連合会	保護者・教職員	132	21
4	7月17日	(水)	呉市教頭会	呉市立小中高教頭	53	オリジナル
5	10月11日	(金)	呉市立豊浜中学校	生徒	8	オリジナル
6	10月30日	(水)	呉市立音戸小学校	保護者・地域の 人	40	18
7	11月21日	(木)	呉市立和庄中学校	保護者・教職員	32	21
8	11月30日	(土)	呉市障害福祉課	保護者・職員	17	
9	12月17日	(火)	呉市立豊浜中学校	生徒	8	
10	1月9日	(木)	呉市立豊浜中学校	生徒	28	
11	1月22日	(水)	呉市立片山中学校	生徒	58	
12	1月23日	(木)	広島県立昭和高校	生徒	76	オリジナル
13	2月2日	(日)	呉市立明德小学校	児童・保護者	32	17
14	2月3日	(月)	呉市立豊小学校	児童・保護者	21	
15	2月5日	(水)	呉市障害福祉課	保護者・職員	18	

平成30年度「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座 実施一覧

	実施日		実施団体	対象者	参加人数	教材番号
1	5月12日	(土)	広島県立呉商業高等学校	保護者・教職員	29人	26番
2	9月7日	(金)	呉市立坪内小学校	保護者・教職員	21人	16番
3	9月10日	(月)	呉市立倉橋小・中学校	保護者・教職員	16人	27番
4	9月10日	(月)	呉市立倉橋小・中学校	保護者・教職員	16人	18番
5	11月5日	(月)	呉市立和庄中学校	保護者・教職員	36人	26番
6	1月24日	(木)	広島県立呉昭和高等学校(1-1)	生徒	29人	31番

(別紙)

7	1月24日	(木)	広島県立呉昭和高等学校(1-2)	生徒	29人	31番
8	2月1日	(金)	呉市立片山中学校	生徒	57人	オリジナル
9	2月3日	(日)	呉市立明德小学校	保護者・生徒	38人	18番
10	3月20日	(水)	呉市障害福祉課	保護者	15人	オリジナル

令和元年度の実施状況

令和元年6月9日（日） 呉市立川尻小学校 保護者



令和元年7月3日（水） 呉市教育会 会員



令和元年7月10日（水） 呉市PTA連合会 保護者・教職員



令和元年7月17日(水) 呉市教頭会 呉市立小中高教頭



令和元年10月11日(金) 呉市立豊浜中学校 生徒



令和元年10月30日(水) 呉市立音戸小学校 保護者・地域の人



令和元年11月21日（木） 呉市立和庄中学校 保護者・教職員



令和元年11月30日（土） 呉市障害福祉課 保護者・職員



令和元年12月17日（火） 呉市立豊浜中学校 生徒



令和2年1月9日（木） 呉市立豊浜中学校 生徒



令和2年1月22日（水） 呉市立片山中学校 生徒



令和2年1月23日（木） 広島県立昭和高校 生徒



令和2年2月2日（日） 吳市立明德小学校 児童・保護者



令和 2 年度地域教育支援活動促進事業実施計画書

1. 事業趣旨及び目的 別添要項のとおり
2. 事業内容 別添要項のとおり
3. 事業期間 令和 2 年（2020 年）4 月 1 日から
令和 3 年（2021 年）3 月 31 日まで
4. 補助対象 各学校の地域教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）
5. 補助額及び対象経費
本年度予算 300,000 円（開始年度から 3 年間：1 小学校あたり 100,000 円以内）
別添要項のとおり

6. 実施方針

平成 30 年度から開始した重井小学校及び栗原北小学校の事業を継続する。また、未実施校に事業説明を行い、新規の推進委員会の設置について検討する。

7. 補助対象校

(1) 継続校

重井小学校・栗原北小学校
平成 30 年度から実施

(2) 新規校

因島南小学校

※主に行うこと

【教育委員会】

- 学校長への事業説明 ○補助金決定 ○補助金交付 ○推進委員会の支援
○ボランティアのリストの作成

【推進委員会】

- 推進委員及びコーディネーター選定 ○推進委員会の設置
○ボランティアの募集
○事業計画 ○補助金申請 ○事業実施 ○事業報告

※参考：過去の補助対象校

平成 20 年度 久保小学校
平成 21 年度 久保小学校・山波小学校・久保中学校
平成 22 年度 久保小学校・山波小学校・久保中学校
（注：平成 20 年度から平成 22 年度まで国の委託事業「学校支援地域本部事業」として実施）
平成 23 年度 御調西小学校・瀬戸田小学校・向東小学校
平成 24 年度 御調西小学校・瀬戸田小学校・向東小学校・吉和小学校・土生小学校
平成 25 年度 御調西小学校・瀬戸田小学校・向東小学校・吉和小学校・土生小学校
平成 26 年度 吉和小学校・土生小学校・向島中央小学校
平成 27 年度 向島中央小学校・栗原小学校・高須小学校
平成 28 年度 向島中央小学校・栗原小学校・高須小学校
平成 29 年度 栗原小学校・高須小学校・浦崎小学校
平成 30 年度 浦崎小学校・重井小学校・栗原北小学校
令和 元 年度 浦崎小学校・重井小学校・栗原北小学校

令和2年度地域教育支援活動促進事業実施要項

1. 趣旨及び目的

地域の教育力及び家庭の教育力向上を図るため、地域全体で主体的に子どもの教育を支援する体制を構築し、学校支援ボランティアによる学校支援及び講座等の開催による家庭教育支援活動等を行うことを目的とする。

2. 事業内容

教育委員会と地域は、次の内容を実施するものとする。

【地域】

(1) 地域教育支援推進委員会(以下「推進委員会」という。)の設置

- ①推進委員会は、小学校区または中学校区単位で設置し、主な関係団体の役員で構成する。
(例：社会福祉協議会・町内会・民生委員児童委員・PTA関係者・学校関係者代表等)
- ②推進委員会は、地域コーディネーター(以下「コーディネーター」という。)の選任、学校支援活動の計画立案・事業の広報・事業の評価等を行う。

(2) コーディネーターの配置

- ①学校支援ボランティア活動(以下「ボランティア活動」という。)を実施するにあたり、学校とボランティア間を調整するコーディネーターを配置する。
- ②コーディネーターは、学校の要望に応じ、学校とボランティア間の調整、ボランティア活動への参加の呼びかけ等を行う。

(3) ボランティア活動の実施

ボランティアは、学習支援、クラブ活動、環境整備、登下校安全確保、学校行事の開催等の支援活動等、学校の要望に応じた活動を行う。

(4) 家庭教育講座等の実施

推進委員会は、地域の保護者や住民を対象とした家庭教育講座を行う。

【教育委員会】

(1) 情報収集・提供

- ①市内の小中学校に実施校の事業成果を周知する。
- ②ボランティア活動の内容及び活動事例を情報提供する。
- ③先進地等他市の活動事例について情報提供を行う。

(2) 各種資料等の作成

- ①推進委員会設立にあたり、必要な支援を行う。
- ②ボランティア募集後、名簿を作成し、学校及びコーディネーターへ提供する。

(3) ボランティアの養成

コーディネーター及びボランティアの資質向上のため養成講座を実施する。

(4) 家庭教育講座に対する支援

推進委員会が実施する家庭教育講座について、講師の紹介等必要な支援を行う。

3. 事業費の補助

「尾道市地域教育支援活動促進事業補助金交付要綱」(以下「交付要綱」という。)に基づき、新規開設の委員会に対し、事業開始年度から3年間、年額100,000円以内を助成する。ただし、受付順で3地域までとする。

4. 補助対象経費

補助対象経費は、学校支援事業及び家庭教育講座に係る次の経費とする。

(1) コーディネーター活動経費

- ①報償費
- ②コーディネーター活動謝金
- ③旅費
- ④研修旅費
- ⑤その他教育委員会が必要と認める経費

(2) 推進委員会経費

- ①消耗品費
- ②印刷製本費
- ③通信運搬費(広報紙等送付・会議連絡用切手代等)
- ④食糧費(会議用お茶代等)
- ⑤その他教育委員会が必要と認める経費

(3) ボランティア経費

- ①消耗品費
- ②その他教育委員会が必要と認める経費

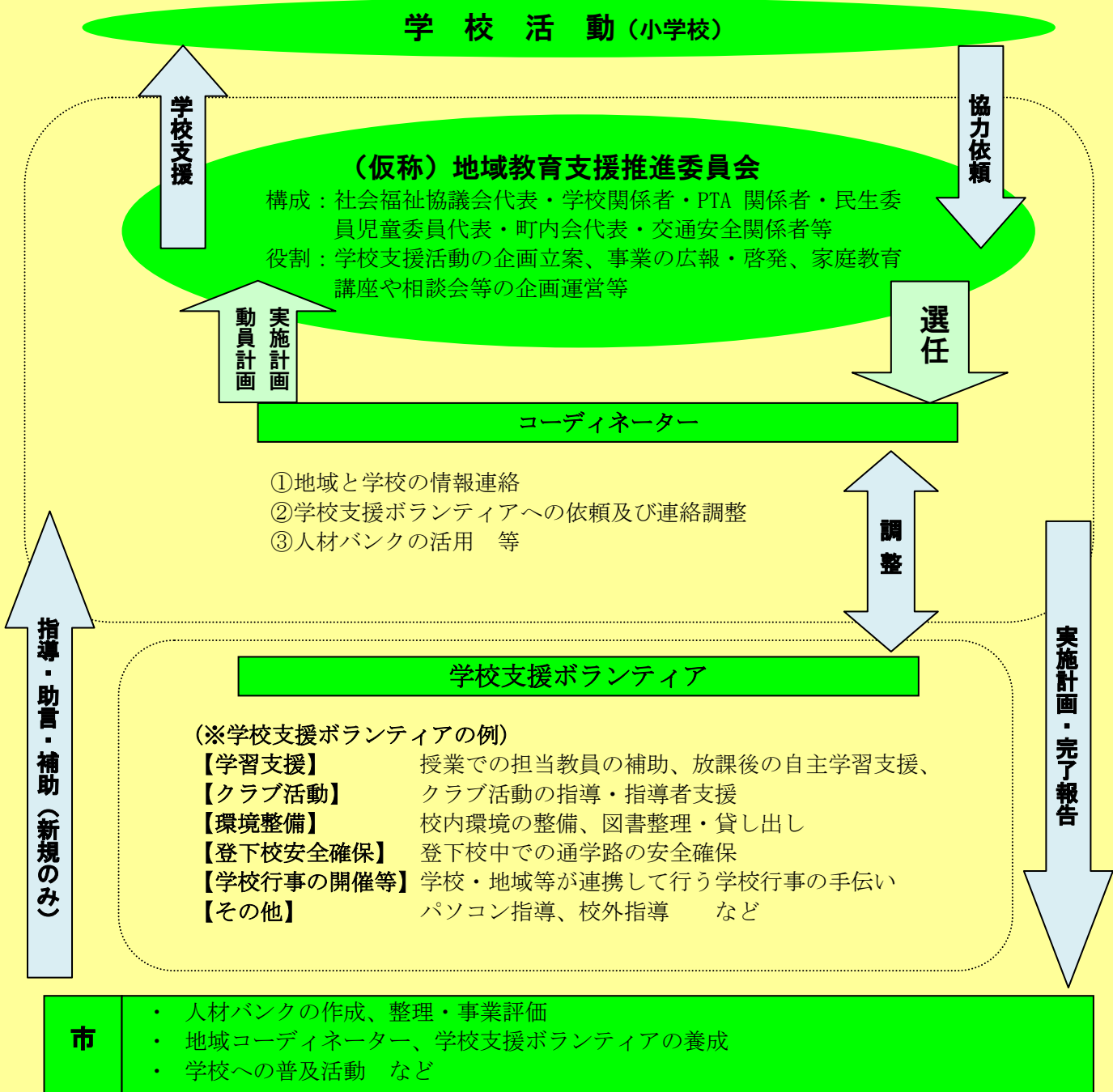
(4) 家庭教育講座に関する経費

- ①講師旅費
- ②講師謝金
- ③その他教育委員会が必要と認める経費

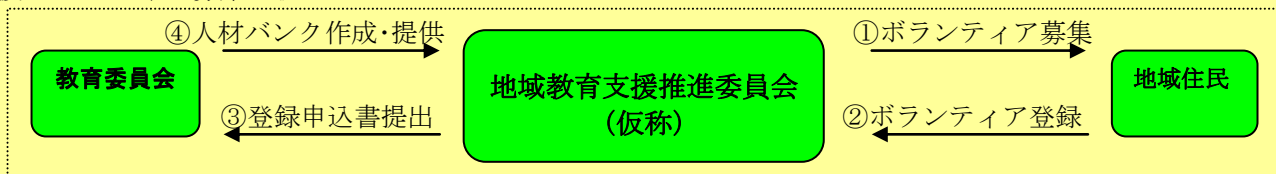
地域教育支援活動促進事業

事業目的 地域全体で学校を支援するため、学校・地域・家庭の連携体制の構築を図る。
 加えて家庭の教育力向上に向けた支援を実施することにより、地域全体の教育力の向上を図る。

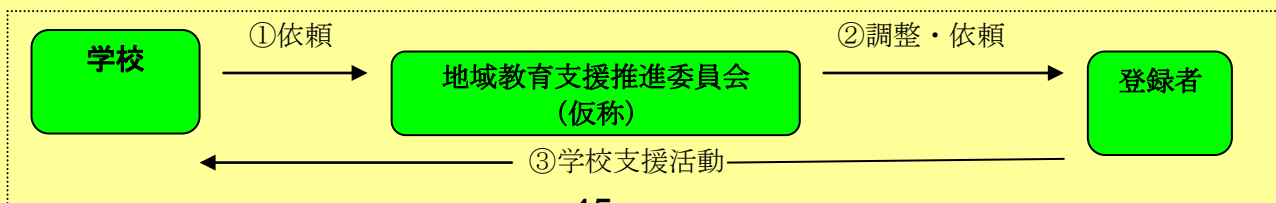
- 子どもと向き合う時間の拡充
- 家庭・地域教育力の活性化
- 社会教育で学んだ成果を生かす場



学校支援ボランティア募集の流れ



学校支援活動までの流れ



学校支援ボランティアを 募集します！

子どもたちのために、地域の皆様のお力をお貸しくありませんか？

〇〇小学校区は、尾道市教育委員会から、地域教育支援活動事業の指定を受けることになりました。地域ぐるみで子どもを育てるモデルケースとして継続・発展させるため、このたび改めて、登録システムによる学校支援ボランティアを募集します。

学校の授業のお手伝いをする学習支援、学校の環境整備支援、学校安全支援、学校行事支援などにご協力くださる方のお力をお貸しく下さい。

現在、学校支援を行ってくださっている方も、学校支援ボランティアの登録をお願いします。

〇〇小学校地域教育支援推進委員会会長

〇〇小学校地域教育支援ボランティア申込み用紙

申込用紙 提出先 〇〇小学校 [締切 月 日]

ふりがな			
氏名	(男・女)	年齢	歳
住所	〒 尾道市		
連絡先	自宅電話： ()	—	
	携帯電話： ()	—	
ボランティア希望分野 <small>※希望の分野の□にチェックし、番号に丸をつけてください。</small>	<input type="checkbox"/> A：学習（授業）指導支援 1.国語 2.算数 3.理科 4.社会 5.英語 6.体育・保健 7.音楽 8.図画工作 9-1.家庭 9-2.技術 10.総合学習 11.道徳 12.生活 13.パソコン 14.その他 []		
	<input type="checkbox"/> B：学習（授業外）指導支援 1.読み聞かせ 2.保健指導 3.委員会活動 4.児童・生徒会指導 5.清掃指導 6.給食指導 7.環境教育 8.国際理解教育 9.平和教育 10.情報(パソコン)教育 11.学習指導(休み時間) 12.学習指導(放課後) 13.ボランティア活動 14.歌唱・演奏指導 15.体力づくり活動 16.遊び指導 17.学習指導 18.進路指導 19.その他 []		
	<input type="checkbox"/> C：部活動指導支援 1.スポーツ系 [] 2.文化系 []		
	<input type="checkbox"/> D：環境整備支援 1.施設・備品の補修・清掃 2.花壇整備・植木剪定等 3.学校図書的环境整備 4.その他 []		
	<input type="checkbox"/> E：学校安全支援 1.登下校安全指導 2.校内パトロール 3.その他 []		
	<input type="checkbox"/> F：学校行事支援 1.運動会 2.音楽発表会 3.遠足・宿泊行事 4.社会見学 5.マラソン大会 6.健康診断 7.儀式行事 8.教育研究会 9.PTA活動 10.その他 []		
	<input type="checkbox"/> G：その他 []		

※問い合わせは、〇〇小学校 (tel :)

(登録証番号)	
登録No.
学校支援ボランティアバンク登録証	
氏名
活動区域学校
登録分野
上記の者は、学校支援ボランティアバンクの登録者であることを証します。	
令和 年 月 日	
〇〇学校地域教育支援推進委員会	

A 6判

学校支援ボランティアバンク登録者としての留意事項
1 学校支援ボランティアとして活動するときは、本登録証を必ず携帯してください。
2 登録期間は、本人からの取り消しの申し出があるまでとします。
3 登録事項に変更が生じた場合は、速やかに〇〇学校地域教育支援推進委員会へ連絡してください。
[変更事項]
.....
.....

A 6判

向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”設置及び活動要綱

(設置)

第1条 向東地区に、家庭教育支援チームを設置する。

(名称及び所在地)

第2条 名称は「向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”」(以下「支援チーム」という。)とし、位置は次のとおりとする。

位置 尾道市向東町11841番地15

(目的)

第3条 支援チームは、情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細かな家庭教育支援を行い、地域全体で家庭教育の向上をはかることを目的とする。

(組織)

第4条 支援チームは、地区の役員、民生委員児童委員、学識経験者、家庭教育の知識を有する者、PTA、子育ての経験者、子育てを支援する者等の中から、3名以上のチーム員をもって組織する。

(事業内容等)

第5条 活動の内容は次に掲げるものとし、内容については生涯学習課と連携する。

- (1) 家庭教育に関する情報の収集提供
- (2) 家庭教育講座の提供およびコーディネート
- (3) 必要に応じて相談対応等の実施

(守秘義務)

第6条 家庭教育支援事業の活動中に知り得た個人の秘密は、外部に漏らさない。

(任期)

第7条 支援チーム員の任期は、4月1日から同年度3月31日までとする。

(事務)

第8条 家庭教育支援活動を行った場合は、日時、場所、出席者、内容等を明記した活動記録簿を備える。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、家庭教育支援チームの運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

おのみち市民大学 ボランティア研修 開催要項

1 趣旨・目的

放課後子ども教室、放課後児童クラブ、教育ボランティアの指導員等に対して、研修を行います。

子どもにいじめ・虐待・性暴力や犯罪など危険な目にあわないで、安心・安全な環境で成長していくためには、学校・家庭・地域の三者が一体となって、環境を整えていく必要があります。子どもたちを守るために大人は何ができるのか。参加者同士ワイワイ話合いながら、CAP プログラムをとおして考え、子どもの人権を尊重した支援の方法を学びます。

2 主催 尾道市教育委員会

3 開催日・日時

令和元年9月13日（金）10:00～11:30

4 場 所

尾道市民センターむかいしま大会議室

5 講 師

CAPおのみち（3名）

6 謝 礼

15,000円

7 演 題（内容）

「子どもを守る知識とスキルを学びあおう ～子どもの安心・安全のためにできること～」

8 日 程

9:30 10:00 11:25 11:30

受付・ 開場	【講座】	【質疑応答】
-----------	------	--------

9:30～10:00 受付・会場
10:00～11:25 講座
11:25～11:30 質疑応答

9 参加費 無料

10 対象者

ボランティア活動に興味がある人、放課後子ども教室指導員、放課後児童クラブ指導員、教育ボランティア、学校支援ボランティア 等

11 定 員 100名

12 申込み等 電話・ファックス・メール等にて申込み。

13 広報

広報おのみち8月号、各新聞社に掲載依頼する。各種団体及び構成員に周知する。

14 申込・問合せ先

尾道市教育委員会 生涯学習課（担当：岩石）

〒722-8501 尾道市久保一丁目15-1 教育会館3階

TEL(0848)20-8324 FAX(0848)37-0233

E-mail: shogai@city.onomichi.hiroshima.jp

講演（研修）会実施報告書

次のとおり報告します。

日 時	令和元年 9 月 13 日（金） 10:00 ～ 11:30		
場 所	尾道市民センターむかいしま 大研修室		
事業名	令和元年度おのみち市民大学講座 ボランティア研修		
タイトル	CAP 講座「子供を守る知識とスキルを学びあおう ～子どもの安心・安全のためにできること～」		
講師名 (肩書)	CAP おのみち	講師謝金	15,000 円
参加者数	20 人	担当職員名	岩石、浅野

当日の状況（概要）

参加者は放課後子ども教室指導員、放課後児童クラブ指導員が主であった。

講師は、子どもへの暴力、大人ができる対策、子どもが持つ権利、被害から逃れる方法について、参加者による話し合いに重きを置き、事例のロールプレイを交えて説明を行った。

当日の会場内の画像は次のとおり。



担当職員所見（成果及び課題）

（成果）

今回のボランティア研修会では、CAP おのみちによる「子どもの安全な環境づくり」についての講座を行った。子どもに対する虐待問題は社会的に注目が集まっており、子どもの指導・支援を行っている参加者達には、特に注目していて欲しいテーマである。子どもへの暴力について、具体的で緊張感のあるロールプレイを行うことにより、参加者はこの問題を身近に感じ、真剣に考えている様子であった。CAP おのみちが推奨する「特別な叫び声」では、高い声であげる悲鳴ではなく、低い声で「おー」と大きな声を出すことで自らの緊張を解き、逃げる力を引き出すものであるとの紹介があった。私自身、特別な叫び声を参加者と一緒に試してみたところ、まだ認知率は低いであろうが、インパクトがあって加害者も驚くし、なにより逃げるための力が出るという点が良いなと感じた。

子供たちに向けての出張講座を行ってもらえれば、大いに役立つのではないかと感じた。

（課題）

今回の研修会では、参加者が 20 人とボランティア活動者数から考えると少なかった。

チラシや広報の記事では実施内容が分かりづらく、興味を引けなかったのかもしれない。次回からは、題名やチラシに具体的な内容を載せられれば良いと思った。

講座内容についても、対象者向けとなるように打ち合わせを行い、より効果的な研修となるように作り上げる必要があると感じた。

公民館・交流館職員専門研修

- 知っておきたい！これが公民館運営術 -

3回連続講座
参加者募集!!

福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザー

講師 櫻井 常矢 さん

(高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科教授)



東北大学大学院教育学研究科後期博士課程修了。博士（教育学）。
専門は社会教育学・地域づくり・市民協働。人材育成を軸とした地域コミュニティ再生や市民協働システムの構築に実践的にアプローチ。市町村自治体を中心に関連する政策アドバイザーを務め、行政職員研修や市民向け学習会を全国各地で重ねる。現在、総務省地域力創造アドバイザー、群馬県社会教育委員会議長等を務める。
福山市では、2018年度持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議に委員として参画。2019年度から福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザーに就任し「地域づくり塾」や「モデル事業」など地域づくりのための支援や職員研修に携わっている。

●ねらい 高齢化，人口減少時代に向かう中で地域課題は多様化しており，解決へ向けては地域コミュニティの拠点となる公民館等の社会教育施設の役割は大きなものです。この研修では「事業」「住民参加」「地域づくり」の3つのキーワードをもとに，公民館職員としての専門性を高めます。

●対象者 30人程度
・公民館長，交流館長，公民館主事，交流館主事，生涯学習センター職員
・「地域づくり」の取組に熱意があり3回とも研修に出席できる人

第1回

日時：8月25日（火）13:30～16:30 場所：市民参画センター
社会教育の目的とは何か。どのような講座が求められているのか。各館の事業の振り返りをしながら事業を企画する際の視点を考えます。

第2回

日時：9月15日（火）13:30～16:30 場所：市民参画センター
住民ニーズとはなにか。地域や住民の力量を高める方法とは何か。社会教育の基本理念である住民参加について学びます。

第3回

日時：10月13日（火）13:30～16:30 場所：市民参画センター
公民館はなぜ地域づくりの拠点と言えるのか。この基本を確認しつつ，これからの地域づくりと向き合う公民館の役割をえがいていきます。

●申し込み 締切：8月7日（金）
・参加には受講申込書の提出が必要となります。
・受講希望の際は所管の生涯学習センターに連絡してください。

府中市地域未来塾事業実施要領

1 趣旨

少子高齢化の進展、人口減少が進む地域において、学級規模の小規模化などによる教育上の課題や、学校統廃合の進行による学校と地域の関係の希薄化などの課題が生じている。

これらの課題に対して、地域人材による学校の教育活動の支援によりその緩和を図るとともに、学校や地域の教育環境の魅力の向上を図り、地域全体で地域の将来を担う子どもたちを育成することを通して、地域創生の実現を目指す。

2 実施主体

この事業の実施主体は、府中市教育委員会とし、事業の一部を次の団体（以下「委託団体」という。）に委託して行うものとする。

- (1) 進学コース 広島県立上下高等学校200年の会
- (2) 地域魅力づくりコース 上下まちづくり協議会

3 対象者

- (1) 進学コース 上下高等学校在学学生
- (2) 地域魅力づくりコース 小学生、中学生、高校生等、地域の子ども全般を対象とする。

4 事業内容

学力の定着と向上及び教育環境の充実を図り、地域の魅力づくりに貢献するための事業「天領あやめ塾」の運営を主なものとする。

5 経費

事業の実施に必要な経費は、次に掲げる経費とする。

- (1) 謝金（講師及び支援員等）
- (2) 教材費
- (3) 運営に要する経費
- (4) 前各号に掲げるもののほか、教育長が必要であると認める経費

6 受講者の募集

委託団体は募集案内を作成し、募集する。申込書は委託団体で受け付け、委託団体において参加者名簿及び緊急連絡先を整理し登録・保管する。

7 受講料等の徴収

受講にあたっては、次のとおり受講者から受講料を徴収する。

(1) 進学コース

年額9,000円

(2) 地域魅力づくりコース

事業内容により受講料を決定する。

8 安全管理

委託団体は受講者の状況を確認し、安全管理に努め、怪我や体調不良の受講者が発生した場合等は、速やかに関係者との連絡調整を図る。また、教育委員会等関係機関と迅速に連携を取れる体制を整備しておく。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和2年4月1日から施行する。

上下まちづくり協議会

てんりょう

じゆく

天領あやめ塾

ちいきみりよく

かいさい

「地域魅力づくりコース」開催！

しょうがくせい

こうこうせい

いっばん みな

たいしょう

小学生から高校生と、一般の皆さまを対象に、上下の

まちづくり講座を7月18日(土)に開催します。

まちづくりに興味のある人は、だれでも参加できます。

上下のまちなみガイドさんとぜひ、一緒に歩きましょう。

第1回 「まちづくり講座」

じょうげ

しらかべ

まち

たんけん

上下の白壁の町なみ探検！

日時

令和2年7月18日(土)

10:00~11:30

集合

「泊まれる町家 天領上下」(上下キリスト教会の前)

講師

上下ガイド協会 中下正子さん

◎府中市教育委員会の平谷教育長さんも参加されます！

対象

府中市の児童・生徒・一般(募集人数は20人)

申込み

7月15日(金)までに、上下歴史文化資料館へ申し込んでください。

でんわ 62-3999

主催

府中市教育委員会 上下まちづくり協議会



フィールドワーク 翁座編

上下まちづくり協議会では、地域の子どもと大人が、共に上下の魅力や課題を発見しながら、地域の魅力を高めていく事業「天領あやめ塾・地域魅力づくりコース」を行っています。

第2回は『フィールドワーク 翁座編』です。

95年前芝居小屋として生まれた翁座。

「建物」としての翁座にスポットをあて、時代ごとに姿を変えながら現在に至る足跡をたどります。

この先、どんな翁座になるのかな。未来を思い描いてみよう！！

***新型コロナ感染防止の観点から中止になる場合もあります**



日時 令和2年9月26日(土)

10:00~11:30

集合 「翁座」

※8月17日に登録文化財になりました

講師 一級建築士 熱田 慎治さん

〔 歴史的建造物の活用に関する専門知識を持ち、市の委託を受けて翁座の調査をしている専門家です 〕

対象 小学校高学年・中学生・高校生・大人

参加費 高校生以下 無料

大人は500円(資料代・入館料など)

申込み 令和2年9月18日(金)までに資料館へご連絡ください

問合せ 上下歴史文化資料館 ☎62-3999

主催 府中市教育委員会 上下まちづくり協議会



フィールドワーク 町並み編

上下まちづくり協議会では、地域の子どもと大人が、共に上下の魅力や課題を発見しながら、地域の魅力を高めていく事業「天領あやめ塾・地域魅力づくりコース」を行っています。

第3回は『フィールドワーク 町並み編』です。

奈良女子大学の藤田盟児教授と、国の登録有形文化財「翁座」、「片野製パン所」、「旧上下警察署庁舎（上下町商工会館）」、「上下キリスト教会」などを探索しながら、上下の町並みの保存や活用について考えていきましょう。

***新型コロナ感染防止の観点から中止になる場合もあります**

日時 令和2年10月31日（土）

10：00～12：00

集合 翁座

講師 奈良女子大学教授 藤田 盟児先生

工学博士。専門は都市建築史・建築芸術分野。
全国各地の歴史的建築物・町並みの調査、保存整備に数多く携わっている。府中市グランドデザイン策定協議会委員、旧芦品郡役所庁舎移築活用検討委員会委員として、府中市に関わっていただいている。

対象 小学校高学年・中学生・高校生・一般

参加費 高校生以下 無料

大人は500円（資料代・入館料など）

申込み 令和2年10月27日（火）までに資料館へご連絡ください

問合せ 上下歴史文化資料館 ☎62-3999

主催 府中市教育委員会 上下まちづくり協議会



み よ し
三 次 市

家庭と地域をつなぐ



つくろろう！地域の家庭教育支援チーム

三次市では、社会教育委員会と連携して、すべての保護者が安心して子育てや家庭での教育を行えるよう、身近な地域で保護者への支援を行う家庭教育支援チームの設立に向けた人材育成や啓発活動を行っています。

家庭教育は、保護者が子どもに対して行う教育であり、すべての教育の出発点といわれています。また、家族のふれあいを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で、重要な役割を果たしています。

■家庭教育支援チームとは？

子育て経験者や子育て支援に関わる関係団体など、身近な人たちにより家庭教育をサポートするチームです。

家庭教育支援チームの取り組みには次のようなものがあります。



・親子やPTAの交流事業

- ・親子の体験活動
- ・親子料理教室

【事業例】

・本の読み聞かせ

・学びや交流の場の提供

親同士でお茶を飲みながら話せる場、親子で参加する体験学習や講座などの学習機会、地域の情報などを提供

活動紹介

■甲奴地区家庭教育支援チーム

甲奴地区家庭教育支援チームは、家庭教育支援チームとして文部科学省に登録されています。地域女性会、ピースベル甲奴・株式会社グリーンカウベル・カーターピーナッツ研究会・おはなし会サークルへびくんの皆さん・三次市母子保健推進員の5団体で構成され、今回紹介する子ども食堂をはじめとした、様々な活動を行っています。



■子ども食堂の様子

甲奴放課後児童クラブの子どもたちと先生を招いて行われました。冒頭は、(株)グリーンカウベル茨



木さんから、カーターピーナッツの栽培状況をクイズ形式で分かりやすく話していただき、子どもたちも積極的に手を挙げて答えていました。

そして、お待ちかねのお食事の時間。メニューは地元の食材を使ったものです。なかでも、カーターピーナッツを使ったデザートは、好評でした。おいしいごはんの後は、「へびくんの皆さんぽ」による読み聞かせや、マジックショーが開演。子どもたちは興味津々の様子。マジックショーでは大技が決まるたびにみんな驚いていました。

終始なごやかな雰囲気で行進し、子どもたちも、ふるさとの食や地域の人々のぬくもりを味わうひと時となりました。

★ チームインタビュー

★ 地域女性会・ピースベル甲奴

今回の子ども食堂を開くにあたって、他の団体から積極的に参加協力のお声をいただきました。それぞれが「自分たちに何ができるか」を考えており、他のグループとの連携の大切さを強く感じました。

保護者・学校との協働を続けていく中で、他の地域からも周知・注目されるようになりました。気付きは学校と共有し、今後の活動に生かしていきます。

★ 株式会社グリーンカウベル

食を通じた体験・交流を行うことにより、地元の食材に興味を持つてもらい、郷土愛を育むことができます。また、学校との連携により、食を通じた学びの実践に取り組んでいます。

「農」があれば、そこを出発点として様々な活動に広がっていくこ

とができるので、今後も、地産地消に取り組んでいければと思います。

★ カーターピーナッツ研究会

カーター大統領から贈られたカーターピーナッツの種を特産品として広める活動をしています。その活動の一環として、小童小学校でカーターピーナッツの栽培指導を続けています。

★ へびくんのおさんぽ

私たちは、子どもたちと一緒に本や人との出会いの場を共有できたら嬉しいと思っています。新しい本に出会うことで、暮らしの活力や、心の支えになってもらえたら幸いです。

変わらずこつこつと継続していくことで、地域に根差した活動となっていけたらと思います。

★ 三次市母子保健推進員 一同

私たちは、社会福祉協議会とも協力して、子どもと一緒に簡単なおもちゃを作ったり、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごすというような活動をしています。

「ママカフェ」では、子どもたちと牛乳パックでギターのおもちゃを作るなど、親子のコミュニケーションの後押しをしています。

その他、「じいじとばあばの孫育て講座」では、祖父母とお孫さんのコミュニケーションの場づくりを行っています。

これらの活動を続けていくことで、地域ですくすく育つ子どもたちを、幅広い年齢層で見守っています。



あなたの地域にも
家庭教育支援チームを!

子どもは地域の宝です。
地域全体で子育てをサポートする「家庭教育支援チーム」を設立しませんか?

家庭教育支援
について学べる
講座はないの?

家庭教育支援
チームを作りたい
けど、方法が
わからない!

家庭教育支援
チームに入って子ども
の支援活動に関わり
たいけどどうしたら
いいの?



三次市社会教育委員会議では、
家庭教育支援チームについての
リーフレットを発行しました。

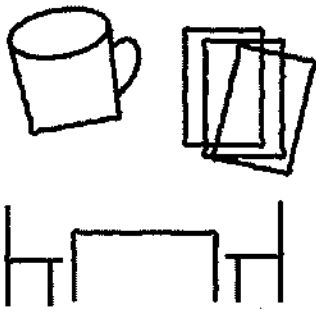
そんなあなたや地域を応援します
ぜひお問い合わせください

問 文化と学びの課文化学習係

(三次市社会教育委員会議事務局)

☎ 0824-6216191

FAX 0824-6216288



中高生 ~ 20代向け カフェイベント

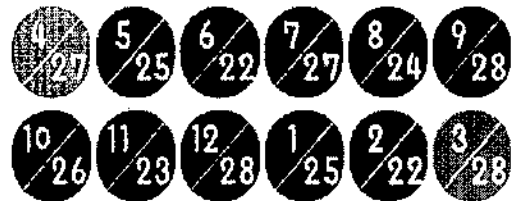
Wi-Fi つかえます

@三次CCプラザ
セントラルコート(1階)

おしゃべりしたり、ボードゲームしたり、
勉強してもいい、フリーなカフェスペースを
毎月第4土曜日オープン!

放課後や休日を過ごす、学校や職場、家じゃない
「サードスペース」を体験してみよう。
ひとりで、ともだちと、きてみてね。
予約は不要、無料!

毎月1回 第4土曜
昼1時から4時
OPEN



フリースペースCAFE

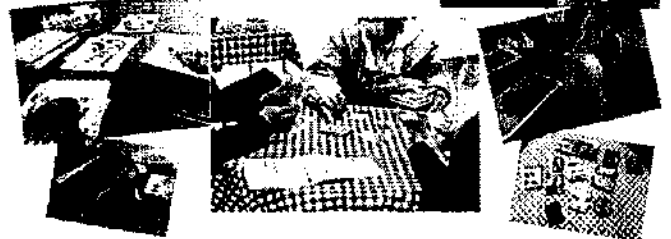


のみものとおやつを準備しています。

ひとりでできてもいいし、ともだちと待ち合わせでもいいよ。
本読んでもいい、おしゃべりしてもいい、ボードゲーム体験したり、お買い物してきたおやつを食べてもいいよ。

ボードゲーム体験

最近注目されてる、世界のいろんなボードゲームが体験できる! インストラクターもいるので遊び方も教えてもらえるよ。



1ゲーム所要時間15分~1時間 いくつやってもOK インストラクター:09.11.09.01.56.88

テーマトークイベント

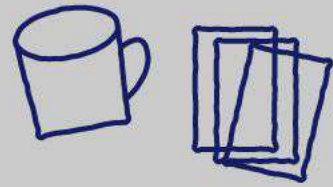
カフェdeトークセッション
毎月いろんなテーマでトークするよ。

2:30-3:30頃

出席希望の中高生~若者世代、募集中心~! トークしてみませんか?
申し込みや打ち合わせは、カフェイベント内!

10~20代ボランティアSTAFF募集!

「若者×ツナグバ」イベント企画~運営を一緒にやっていくメンバーを募集しています!! 興味ある方は、メールで連絡



中高生 ～20代向け カフェイベント

@三次CCプラザ
セントラルコート

2/11 祝

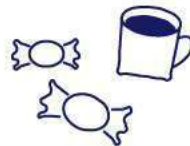
12:30-17:00

おしゃべりしたり、ボードゲームしたり、勉強してもいい、フリーなカフェスペースを1日だけオープン!

放課後や休日を過ごす、学校や職場、家じゃない「サードスペース」を体験してみよう。ひとりで、ともだちと、きてみてね。予約は不要で、無料です。

12:30-17:00

フリースペースCAFE



のみものとおやつを準備しています(無料)

ひとりでできていいし、ともだちと待ち合わせてもいいよ。本読んでもいい、おしゃべりしてもいい、ボードゲーム体験したり、お買い物してきたオヤツを食べてもいい。

12:30-17:00

ボードゲーム体験

トークイベント中は休憩

最近注目されてる、世界のいろんなボードゲームが体験できる!インストラクターもいるので遊び方も教えてもらえる。



1ゲーム所要時間15分～1時間 いくつかやってもOK インストラクター:ひろしま森のおもちゃ協会

14:30-16:00

トークイベント開催!

「居場所って、なんなん?」



Special guest

瀬川知孝さん
(ともくん)

1988年岩手県盛岡市生まれ。小学生の頃はよく川で遊ぶアウトドアな子だったけれど、中学高校時代から読書と音楽にはまり、徐々にインドアになる。大学進学を機に上京。教育と文学を学びつつ、バンドに没頭。ベースを弾くが、演奏するより聴く方が好き。私立高校国語の先生を経て、今はNPO法人カタリバが運営する中高生の秘密基地b-lab副館長。



福間美保さん
(POMU)

1986年三次市生まれ。3キロ行ってやっと自販機がある田舎で育つ。学生時代はバレーボールっ子。海外や国内たくさんの旅を経て、みんなの笑顔を描いていきたいと思うようになり、とびっきりの笑顔を描くスマイルアーティストと砂で物語を描くサウンドアーティストに。最近大好きな三次に帰郷。育った地元拠点を全国へ飛び回っている。

田園文化センター開館 30 周年記念 図書館まつりを 開催しました！

開催日：令和元年 9 月 14 日（土）10：00～15：30

会 場：庄原市田園文化センター

庄原市田園文化センター開館30周年記念 図書館まつり

10：00 ○開会

10：05 ○スライド&トーク
写真絵本作家 小寺卓矢さん

13：00 ○おはなし会
子供司書①

おはなしのいずみ

子供司書②

15：30 閉会

10：00～

- お抹茶体験会（体験料 100 円）
- ハンドメイドコーナー（しおりづくり）
- 図書館ウォークラリー

クイズに答えて図書館制覇！！

13：00～

- 古本市

今年度、家庭教育支援チームの皆さんと内容を検討し、準備してきた「図書館まつり」を開催し、多くの方にご来場いただき、賑やかに終えることができました。この日の来場館者は、645 人！新県美展も開催期間中であったことから、相乗効果があったと思っています。

前日準備から当日スタッフとしてご参加いただいた皆さんはもちろん、チーム会議でアイデアを出してくださった方もありがとうございました。

前日 14 時から会場準備を行いました。「倉田百三文学館」を「講演会場」にするため展示品を運び出し、客席用のイスを 2 階から持って下り、他のコーナー配置・・・と肉体労働の後、当日来館者に配布する記念品の袋詰めや講演中のワークショップ用紙を準備と、今度は細かい作業。集中して作業いただいたお陰で、当日来場者を迎える準備は万端です！

ドキドキで迎えた当日。「たくさん来てくださるかな・・・」「楽しんでいただけるかな・・・。」前回、開会時刻を遅らせることになってしまったのを思い出していましたが、不安をよそに、開会前から会



場は満員になり、客席を追加するほど、大勢の方が来場してくださいました。安心したもの束の間、「席が足りないけど、ごめんなさい。」「ワークショップ用紙が足りないかもしれないので、追加で作らなくちゃ」とバタバタでした。

講演会は、北海道から来てくださった写真家で、写真絵本作家の小寺卓矢さんによる「スライド&トーク」。アンケートでもたいへん好評で、「心が癒された」小寺さんのやさしい人柄に「また来ていただきたい」という声もありました。ワークショップでは、ミニ絵本を全員に配布し、作ってもらいました。「写真 小寺卓矢 文 ○○○○」。小寺さんの写真を見て感じた言葉や文章をそれぞれに書き入れます。絵本なんて作ったことないという人が多い中、楽しんで参加していただきました。



【クラフトコーナー】

こちら朝から大盛況！「これを作りに来た」というご家族もおられました。

準備していた台紙だけでなく、ラミネートフィルムに直接飾り付けをするなど、独創的な発想で、思い思いに楽しく作業をしてくださいました。



【お抹茶体験コーナー】

今回は、限定40名でしたが、お昼には残り15人分と大好評でした。新県美展に来られた方も寄ってくださったようです。子供とお母さん、孫とおばあちゃんが席に着き、お抹茶を飲まれました。今回も和服でおもてなし。各テーブルにも、それぞれ異なる花台に野の花を飾るなど、長机にパイプイスとは思えない雰囲気作りをしていただき、美味しいお茶をいただく空間となっていました。





【古本市】

初の試みなる図書館での除籍本の古本市を行いました。
除籍本を段ボール箱やカートに並べ、来場された方が気に入った書籍を持って帰ります。懐かしい雑誌や自分では買わなかったジャンルの本との出会いの場です。選んだ本を袋に詰めたり、段ボール箱に入れてもって帰られる方もおられました。



【おはなし会】

午後からは、おはなしのいずみと、子供司書のコラボによる「おはなし会」を行いました。

「子供司書」は、「空」と「秋」をテーマに、絵本を選書してくれました。多くの人の前で、緊張しながらも、分りやすく絵本を読んでいる姿は、とても頼もしく見えました。

これからも、読書の楽しさをみなさんに伝えてください。

「おはなしのいずみ」の9月のテーマは「おばけ」です。

『おばけなんてないさ』『こぞうさんとおばけ』『とうふこぞう』の読み聞かせ、『こそだてゆうれい』の語りや『ネコとクラリネットふき』では、クラリネットとピアノの演奏が加わり、楽しい一時を過ごしました。



【館内ウォークラリー】

田園文化センターには、図書館だけではなく、倉田百三文学館、歴史民俗資料館などがあります。館内のいろいろな場所に隠されている『秘密の暗号』を探しながら回って行くと、「さいきんよんだほんは？」と質問が出てきます。

参加者は、その答えを「ブックツリー」に貼り、参加賞の記念バッジと鉛筆を受け取っていました。

参加賞



この日、田園文化センター来場者は645人でした。

来場された皆さんには、記念品として貸出図書を入れられる特製エコバックをプレゼントしました。

スライド&トークで参加者の皆さんに作っていただいたミニ絵本は、10月末まで田園文化センターに展示していますので、ぜひ見に来てください。



ありがとうございました



令和2年度ジュニアリーダー育成事業

未来の1ページを
刻みにいこう!

KOI KOI

ジュニアリーダーズクラブ



参加者
募集中

今の時間は今しか使えない!
みんなでいっしょに同じ時間を過ごして未来に生かそう!

【ジュニアリーダーで身に付く力】

- ☆人に思いを伝える力
- ☆人の思いを理解する力
- ☆人を動かす力

学年や学校が違う仲間と一緒に活動したり、先生や親とは違うおとなと交流する経験が、社会で必要とされる力を育てます。多くの人と関わることができ、多くの人に支えられていることに気づける場所です。

定員

中学生 25名 小学6年生 10名
小学5年生(プレ参加) 5名
高校生(スタッフ参加) 10名

参加費

無料 ※但し本人の飲食代が必要になります。
(食事回数×500円程度)

日程

裏面を見てね

申し込み期限

6/19(金)

事業説明会

6/27(土)

13:00~14:00
総合市民会館にて
開催します。

大竹市教育委員会生涯学習課社会教育係

〒739-0605 大竹市立戸一丁目6-1(総合体育館内)

TEL:28-5680(月~金 9:00~17:15)

FAX:53-5801(いつでも可) E-mail:seigaku@city.otake.hiroshima.jp(いつでも可)



事業の目的

学校も年齢も異なる仲間との体験学習を通し、自立心・社会性などを育みコミュニケーション力や忍耐力を高め、将来の大竹を担う青少年の育成を目指します。大竹の良い所を再発見してもらうことも目的の一つです。

募集対象者

次の3つ全てに該当する方

- 市内在住または在学の小学5年生～高校生
- 心身ともに健康で規律ある行動ができる
- 原則全プログラムに参加できる

※定員を超えた場合は選考をおこないます。この場合、選考方法等は申込者に通知いたします。

※今年度のプレ参加枠は小学5年生のみとします。

お申し込み方法

次の方法で生涯学習課へご連絡ください。(連絡先はオモテに表記しております。)

- 電話
- FAX
- メール

※FAXで申し込まれる場合は、下記申込書にご記入の上、送信してください。

※メールで申し込まれる場合は、件名を「ジュニアリーダー申し込み」とし、「氏名、性別、学校名、学年、住所、電話番号」を入力の上、送信してください。

個人で負担していただくもの

- 飲食代(食事回数×500円程度) ※回ごとに集めます
- 公共交通機関を利用した場合の交通費
- 事業実施中における病気または本人の責に帰すべき事故による治療費・入院費
- 任意の旅行傷害保険
- その他個人の用に必要な経費

事業説明会について

本事業の目的や注意点等を説明させていただきますので、この事業に参加する者及び保護者の方は出席いただきますようお願いいたします。

なお、参加者の出席が難しい場合は保護者のみの出席、また高校生は参加者のみの出席でもかまいません。

▼日 程 ※今年度は宿泊は行いません。日程や内容は変更になる場合があります。

No.	日にち	内 容	場 所
1	7月11日	～出会う～ 開講式、野外炊飯、グループワーク、自分への手紙作成	自然の家「やさか」
2	8月8日	～深める～ 外部講師を招いた防災に関する講義・体験活動	自然の家「やさか」
3	9月19日	～自立～ 職場体験、大竹再発見、オリエンテーリング	阿多田島
4	10月17日	～広げる～ 自然観察、レクリエーション等	自然の家「やさか」
5	11月7日	～歩む～ 最終回でのプログラムの企画	自然の家「やさか」
6	1月16日	～まとめ～ 企画したプログラムの実施、閉講式	自然の家「やさか」

▼申 込 書 (FAX 53-5801)

大竹市教育委員会生涯学習課社会教育係 行

氏名 (ふりがな)		学校名	
電話番号		学 年	
住 所		性 別	

主役は
65歳から

東広島

熟年マイスター

教育講座

人生、
学び、
これから。
ここから。

人生100年時代。実は長い「これから」をどう生きますか？
長い人生をより幸せに生き抜くために、「ここから」学びませんか？

詳しくは中面へ

人間・生活専攻コース

こんなことを学びます！

高齢社会を取り巻く身近な問題や、生きがいつくり、社会参画など生涯現役のための自己の新しい生き方を学びます。

回	日時	内容	場所
1	10月 1日(木) 14時～16時	開講式 【記念講演】笑いと涙、絆の力！ 福寿への生活リズム健康法 講師：田中 秀樹 氏 (広島国際大学健康科学部 学部長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール
2	10月15日(木) 10時～12時	SDGs カードゲームから学ぶ	東広島商工会 議所会館文化 ホール
3	10月29日(木) 10時～11時30分	支えあいの地域づくり	くらら 小ホール
4	11月12日(木) 10時～11時30分	世界の問題について考えるワーク・ 民族衣装、楽器体験など	JICA中国
5	11月26日(木) 10時～11時30分	金融犯罪・トラブルを防ぐ	くらら 小ホール
6	12月10日(木) 10時～11時30分	(仮)実践者は語る	くらら 小ホール
7	12月19日(土) 14時～16時	【特別講演】 シニアライフを満喫するために 講師：清川 徹 氏 (NHK広島放送局アナウンサー)	東広島商工会 議所会館文化 ホール1・2
8	1月14日(木) 10時～11時30分	救急救命講習 (AED・VR避難体験)	東広島消防署
9	1月28日(木) 10時～11時30分	これからの地域づくり	くらら 小ホール
10	2月 4日(木) 14時～16時	修了認定及び閉校式 【記念講演】(仮)人生百歳を生きる 講師：山内 吉治 氏 (東広島熟年大学学長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール

※東広島芸術文化ホールくらら（略称くらら）がメイン会場となります。

健康・スポーツ専攻コース

こんなことを学びます!

実際に身体を動かしながら、健康寿命を延ばし、身体の衰えに備えるための方法を学びます。

回	日時	内容	場所
1	10月 1日(木) 14時～16時	開講式 【記念講演】笑いと涙、絆の力! 福寿への生活リズム健康法 講師:田中 秀樹 氏 (広島国際大学健康科学部 学部長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール
2	10月15日(木) 14時～15時30分	食べる幸せ～歯が命～	東広島商工会 議所会館文化 ホール
3	10月29日(木) 14時～15時30分	高齢者新体カテスト	東広島運動公 園サブアリー ナ
4	11月12日(木) 14時～15時30分	パラスポーツ体験「ボッチャ」	おりづる体育 館
5	11月26日(木) 14時～16時	愉快的ウォーキング	憩いの森公園
6	12月10日(木) 14時～15時30分	ACP(人生会議)	くらら 小ホール
7	12月19日(土) 14時～16時	【特別講演】 シニアライフを満喫するために 講師:清川 徹 氏 (NHK広島放送局アナウンサー)	東広島商工会 議所会館文化 ホール1・2
8	1月14日(木) 14時～15時30分	筋トレ健康体操体験	東広島運動公 園体育館
9	1月28日(木) 14時～15時30分	これからの地域づくり	くらら 小ホール
10	2月 4日(木) 14時～16時	修了認定及び閉校式 【記念講演】(仮)人生百歳を生きる 講師:山内 吉治 氏 (東広島熟年大学学長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール

募集要項

- 1 講座の種類：①人間・生活専攻コース
②健康・スポーツ専攻コース
- 2 対象：東広島市に住む65歳以上（令和2年4月2日現在）
- 3 定員：各コース30人（抽選）
- 4 申込方法：裏面の申込用紙にご記入のうえ、郵送または電話、FAXでお申込みください。
- 5 申込期間：令和2年8月3日（月）～令和2年9月16日（水）必着
- 6 その他
 - （1）修了認定は全10回のうち、5回の出席を必要とします。
 - （2）講座修了後は、「熟年マイスター」の称号を授与します。
 - （3）修了認定を受けた方は、次年度に別コースを受講することができます。次年度に同じコースを受講することはできません。
 - （4）同時に複数のコースを受講することはできません。
- 7 申込・問い合わせ先：東広島市教育委員会生涯学習課
（〒739-8601 東広島市西条栄町8-29）
電話（082）420-0979
FAX（082）422-1610



東広島市公認マスコットキャラクター「のん太」

東広島熟年マイスター教育講座 申込用紙

ふりがな	
お名前	
年齢	歳（令和2年4月2日現在）
住所	〒
電話番号	（ ） —
希望講座	<p>●希望する講座どちらか1つに○をつけてください。</p> <p>①人間・生活専攻コース （ ）</p> <p>②健康・スポーツ専攻コース（ ）</p>
備考	<p>●留意点やご要望があればご記入ください。</p>



東広島市公認マスコットキャラクター「のん太」

「東広島熟年マイスター教育講座」の実施について

1 案の要旨

人生100年時代を見据え、高齢者（65歳以上）を対象に、「老い」を生き抜くために必要な知識を学ぶ「第二の義務教育」として、「東広島熟年マイスター教育講座」を実施しようとするもの。

2 開催の目的

我が国は超高齢化社会に突入し、人生のうちの長い期間、「老い」を生きてゆく人々が確実に増加している。これまでの「老い」の人生は、自己防衛、自己責任等、自己完結型に頼っていたが、これからは「老い」を生き抜くために必要となる基礎的な知識や技能を学び、自己を高めるとともに、地域社会に貢献できる人間像が求められる。

そのため、本講座は、これまでの一般成人対象の講座に加え、高齢者に限定した認知症予防、特殊詐欺対策をはじめとした現代的課題や、本市の福祉制度、地域づくり、幸せづくりや健康課題など、「老い」の特性を生かす学びを展開していく。

このように「老い」を体系的に学ぶ活動に参加することで、自らの生きがいを創造するとともに、それぞれの地域での新たな縁の創出、高齢期の孤立化防止に資する。

3 講座の位置付け

本講座は、昨年度策定した「東広島市生涯学習推進計画」の基本施策（1）「豊かな学びへの支援」、施策の方針①「現代的・社会的課題に対応した学習機会の提供」の「人生100年時代を見据え、高齢者を対象とした講座の展開」の具体的事業とする。

4 講座の概要

（1）講座名及び内容

「東広島熟年マイスター教育講座」 ※マイスター：ドイツ語で親方、名人という意味

（2）講座種別

老いを生きるために、老いの基礎・基本を体系的に学び、実践に生かせるものとする。

ア 「人間・生活専攻コース」

高齢者に身近な課題をはじめとした教養講座に加え、地域コミュニティへの主体的な参加の促進を図る

イ 「健康・スポーツ専攻コース」

健康寿命を延ばし、身体の衰えに備えるための方法を学ぶ

（3）講座開催時間及び回数等

両コースとも、1講座（90～120分）の10回の連続講座（令和2年10月～令和3年2月までの原則、隔週木曜日、定員30名）

（4）講座の開催場所

原則、東広島芸術文化ホールくらら（中央生涯学習センター）を拠点とし、カリキュラムの内容に応じ、関連施設及びフィールドワークで実施する。

※カリキュラムの全体概要及び日程等については、別紙参照。

ブックデビュー

東広島に生まれてきてくれたあかちゃんが、これから生きていく上で欠かせない「ことば」に、まず、人のぬくもりの中で出会って欲しいと願う人々が連帯する活動です。

「ことば」の蔵とも言える絵本や図書館を手がかりとして、様々な社会的子育て支援事業と結合しながら、あかちゃんの「ことば」の獲得を手助けする事業です。



活動窓口

東広島市教育委員会生涯学習部生涯学習課
TEL 082 (420) 0979 FAX 082 (422) 1610

ブックデビュー

ブック＝ことば（外との交流）

ことば＝自己表現と他者理解のためのツール



- ブックデビューで大切にすること
- ① あかちゃんの様子を見ながらことばがけ
 - ② 成果を急いで求めない
 - ③ あかちゃん一人ひとりの成長にあわせた手助け
 - ④ 絵本などを使って楽しみながら
 - ⑤ お腹の中のあかちゃんにも
 - ⑥ 支援者としての関わりを

東広島ブックデビュー推進活動

これまで…

ボランティア団体による、乳幼児健診会場での絵本の紹介や読み聞かせなどの活動や図書館による、あかちゃん向けのおはなし会などあかちゃんと絵本をつなぐ活動を行ってきました。



2018年、広島県教育委員会が「あかちゃんへことばのプレゼント」（家庭教育啓発資料）を作成しました。市や図書館は、ことばを添えて、この冊子を配布しています。

2019年6月、ブックデビュー推進活動事業のスタートとして、この冊子の編集を監修された、今井むつみさんに、なぜ、あかちゃんへのことばがけや絵本の読み聞かせが大切であるのかについてお話を聞きました。

大人ができることは、ことばを「教える」ことではなく、「発見」の手助けをすること。あかちゃんの様子に合わせてやりとりを楽しみながら、たくさん言葉をかけることで、あかちゃんに「ことばの力」が蓄えられていきます。

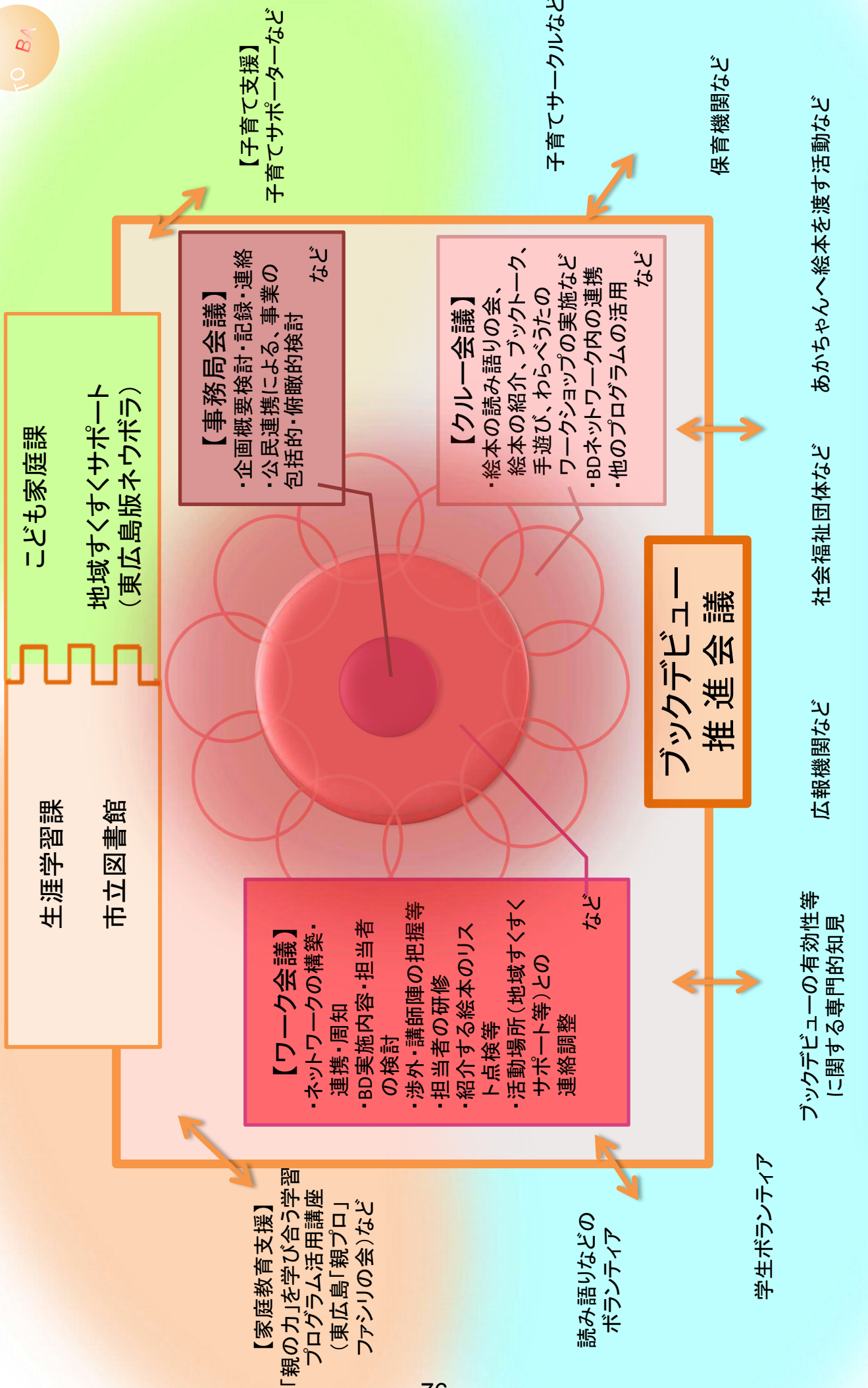
東広島市では、2019年から本格的にブックデビューの推進に取り組んでおり、ブックデビュー推進会議で企画した講演会などを実施しています。

～地域の主なブックデビューの展開の場～

- 地域すくすくサポーター（東広島版ネウボラ）**
妊産期から子育て期まで切れ目のない支援をするために、令和元年度、市内10か所すべての地域にオープンしました。専門スタッフに子育ての色々な不安や悩み、聞いてみたいことを相談することができ、地域の子育て支援の場です。
- 東広島市立図書館**
市内7館、絵本コーナーの他に、親子で参加できる行事もあります。日々のことばがけに絵本はとてども便利。親子で楽しめる絵本探しをお手伝いします。
- 胎児や乳児の、お父さんお母さんが実際に読み聞かせを体験したり、あかちゃんへのことばがけや親子のコミュニケーションの重要性を体感するブックデビューを展開する重要な場でもあります。**

東広島ブックデビュー構想図

令和元年度



多様な社会資源との連携

お待ちしています！

これまでの支援活動！

●学校支援活動

登下校の見守り、学校周辺環境整備、本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援等の活動



▲小学校の学習支援

●放課後子ども教室

放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくり

さらに協働活動では！

●家庭教育支援活動

地域全体で子どもたちを見守る活動を推進する中で、孤立しがちな保護者も、地域住民との交流を通じて気軽に悩みを相談しやすくなるなどの家庭教育へつながる支援

●地域社会における地域活動

子どもたちが学校内だけでなく地域に出て行き、地域の伝統行事、イベント、お祭りなどに、実際に担い手として参画する取組



▲地域社会における地域活動

●ふるさと学習

子どもたちが、魅力ある郷土の歴史や文化をはじめ、先人の努力や知恵を学ぶことや、郷土を素材とした体験的な活動を通して、課題を自ら見いだし、協働して探究活動に取り組む態度を育てるとともに「ふるさと廿日市」への愛着と誇りを持たせる活動

地域学校協働活動

学校支援地域活動

あなたも子どもたちとこのような活動をしてみませんか？

学び

予習や復習、補習、読み聞かせなどの学習活動



体験

スポーツや文化芸術活動などの体験活動



交流

地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動



遊び

けん玉やお手玉などの昔遊びや様々な遊び



見守り

登下校や学習中の安全の確保を図る



あなたの愛が地域の未来を創る

【発行】 廿日市教育委員会
 【編集】 廿日市教育委員会生涯学習課
 【住所】 〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11-1
 【TEL】 (0829) 30-9203
 【FAX】 (0829) 32-5163

みなさまの支援

地域学校協働本部

従来の地域と学校の連携体制を基盤として、よ多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制です。地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)が中心となって、地域で運営し、学校のニーズに応じてボランティアが集めたり、地域からの要望を調整して学校に伝えたりします。より幅広い層の地域住民が参画し、ネットワークを形成することにより、地域を活性化していきます。

地域コーディネーター

地域と学校の連携・協働をコーディネートし、学校や地域住民、企業、団体・機関等との連絡・調整を行います。

地域学校協議会

地域学校協議会では、地域と学校が、地域で育つ子どもたちのめざす姿や活動の目標を共有します。子どもたちの成長にとって何が重要か、そのためにどのような活動が必要なのか等、活動の基本方針や運営に必要な事項について協議し、決定します。



活動調整会議

活動調整会議は、学校からの支援依頼の調整や地域づくりの活動内容の調整をします。また、地域や学校の情報共有を行う中で、具体的な取組について協議し、つながりづくりを行います。



廿日市

あなたの愛が地域の未来を創る

あなたの愛が地域の未来を創る

廿日市市地域学校協働活動の推進に向けて

学校を核とした地域づくりをめざして



廿日市市教育委員会
生涯学習課

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い層の地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、ともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。具体的には、学校支援活動、放課後子ども教室、土曜日の教育活動、家庭教育支援活動、学びによるまちづくり、地域社会における地域活動等、幅広い層の地域住民等の参画によって行われる活動が考えられますが、それぞれの地域や学校の実情、特色に応じて創意工夫していくことが大切です。



子どもたちにとって

- 自己肯定感が高まる
- 地域への愛着がわく
- 専門的な指導を受ける
- 学力が向上する
- コミュニケーション能力の向上
- 将来の自分の生き方の発見

これまでの支援活動！

●学校支援

活動することで子どもたちや地域の人と顔見知りになり、まちの中で挨拶する機会が増えました。



さらに協働活動では！

美術館

専門家に解説をうけながら作品を鑑賞したり、創作体験をします。



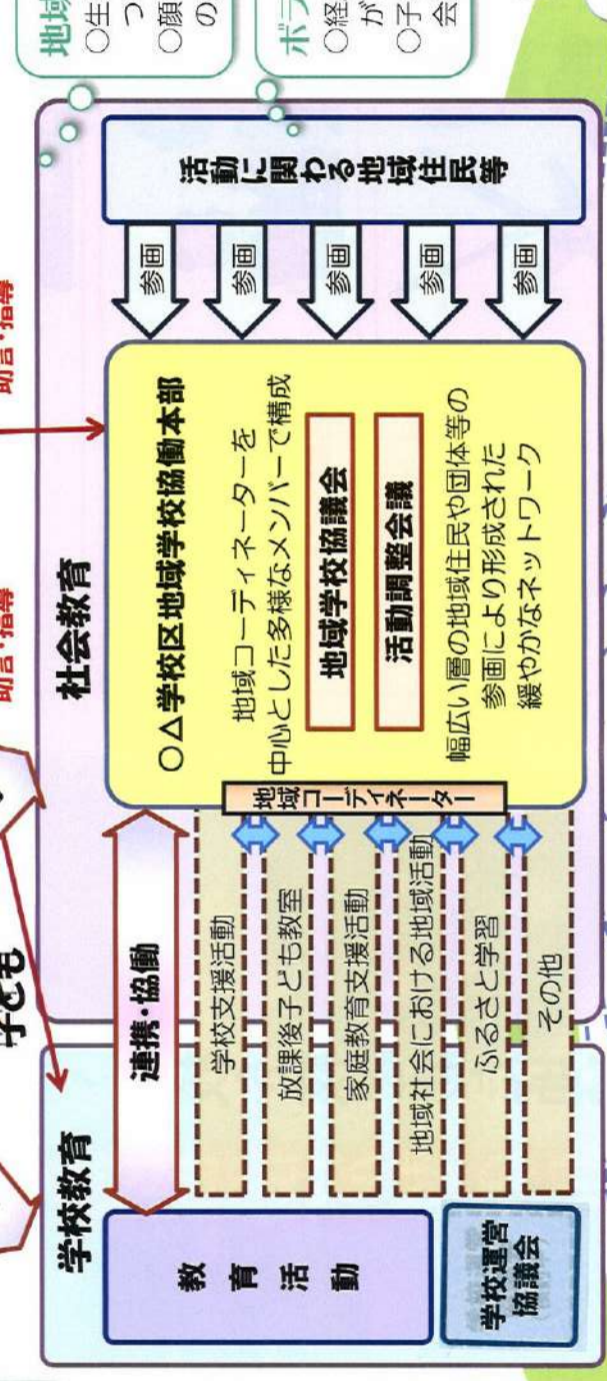
まちづくり

子どもたちの素敵なアイデアが、まちづくりに生かされます。



地域学校協働活動

できる人が できることを できるときに



目標を地域と学校で共有



地域活動

地域の伝統文化を子どもたちが継承します。

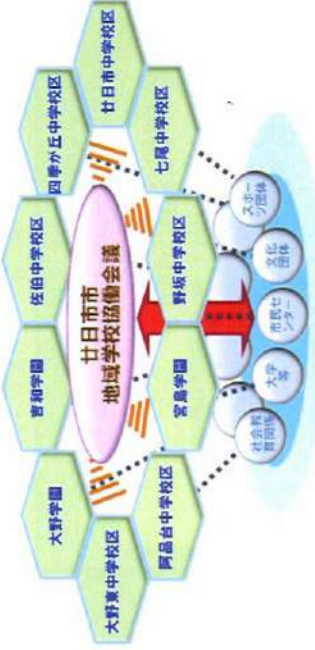


市民センター

市民センターを拠点に活動する自主活動グループが知識と経験を活かして子どもたちをサポートします。



廿日市市地域学校協働会議



廿日市の全ての地域学校協働本部の地域コーディネーターや代表等が一同に会し、研修や意見交換等を実施します。会議では、先進事例の情報発信・収集を行ったり、地域学校協働活動に係る各本部の取組や市民センター・企業・大学等の活動内容や人材等の情報の共有を行ったりします。

子どもたちからの感謝！

●感謝の気持ち

子どもたちが、感謝の気持ちをこめて、手紙を書いたり、感謝の会を行ったりします。



地域にとって

- 生きがいや自己実現につながる地域が活性化
- 顔の見える関係づくりの実現

ボランティアにとって

- 経験や知識を活かすことができる
- 子どもたちとの挨拶や会話が増える

企業・スポーツ団体

子どもたちの興味・関心・意欲が、将来の優秀な社員や選手を育てます。



江田島 しましま スタンプ ラリー

図書館の本を
30冊読んで、
記念品を
もらおう!

江田島図書館キャラクター
『本読み小僧』



大柿図書室キャラクター
『かきぼん』



能美図書館キャラクター
『みかぼん』

開催期間

令和2年7月6日(月)～9月30日(水)

スタンプラリーの台紙は、江田島図書館、能美図書館、大柿図書室、
沖美公民館図書室に置いてあります。

期間中、江田島図書館、能美図書館、大柿図書室、沖美公民館図書室の
本、雑誌、まんがを30冊読んでスタンプを集めた方に、
記念品として、先着500名にオリジナルフェイスタオルを差し上げます。
何度でもチャレンジできますが、記念品の受け取りは一人1回のみと
させていただきます。

主催 / 問い合わせ先 :

江田島図書館(0823-42-1417) 能美図書館(0823-45-0075)

大柿図書室(0823-57-3071) 沖美公民館図書室(三高支所)(0823-47-0211)

※沖美公民館図書室は、8月11日から三高交流プラザ内に移転します。

令和2年度広島県立生涯学習センター調査研究

「市町における生涯学習振興・社会教育行政の現状と課題に関する実態調査」

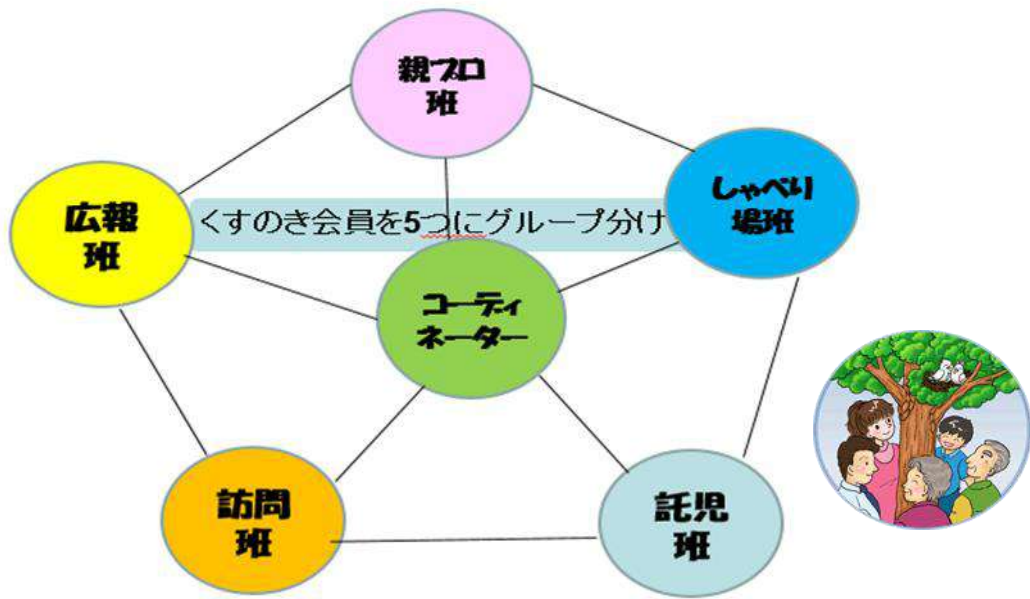
(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>府中町家庭教育支援チーム</u> (呼称:くすのき) URL: http://www2.town.fuchu.hiroshima.jp
②活動拠点	安芸府中生涯学習センター くすのきプラザ
③活動範囲	町内全域
④組織体制	<u>151人</u> <u>コーディネーター 6人</u> ・教育委員1人 ・主任児童委員1人 ・人権擁護委員1人 ・社会教育委員1人 ・公民館運営審議員1人 ・元教員1人 <u>ファシリテーター 151人(コーディネーター6人を含む)</u> ・教育委員1人 ・人権擁護委員1人 ・社会教育委員2人 ・民生委員 児童委員4人 ・学校支援地域本部コーディネーター3人 ・子育て支援センター保育士4人・放課後子供教室ボランティア10人・PTA役員15人・町職員35人・その他76人
⑤活動開始年度	<u>平成24年度</u>
⑥問合せ先 【公表可能な連絡先】	(部署・氏名等)府中町教育委員会事務局社会教育課 (TEL)082-286-3272 (E-mail)syakaikyoiukuka@town.fuchu.hiroshima.jp



(2) 活動内容について

<p>①活動形態 (複数チェック可能)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他(児童センターでの子育て相談、乳幼児健診等での託児、不登校児童生徒の親の支援) </p>
<p>②活動対象</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施 </p>
<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 『親の力』をまなびあう学習プログラム(通称 親プロ)を活用した出前講座 <ul style="list-style-type: none"> 講座実施機関の開拓 ファシリテーター(進行役)の養成・ステップアップ研修 地域課題を踏まえた独自教材の作成 コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ・しゃべり場」 子育て相談(フリートーク) 不登校児童生徒の保護者の支援「カフェ くすのき」「親どうしが語り合う会」 託児サービス及び各種研修会の講師等 <p>家庭教育支援の支援イメージ図</p>



1. 『親の力』をまなびあう学習プログラム(通称 親プロ)を活用した出前講座

・講座実施機関の開拓

・実施回数、受講者数 82回 1,728名【平成29年度実績】
43回 1,023名【平成30年度実績】

・実施場所

【平成29年度実績】

保育園	25回
幼稚園	4回
小学校	18回
中学校	3回
高等学校	17回
放課後子供教室	3回
公民館	4回
子育て支援センター	3回
子育てサークル	3回
その他	2回



④活動の
成果
(活動実績
がある
場合)

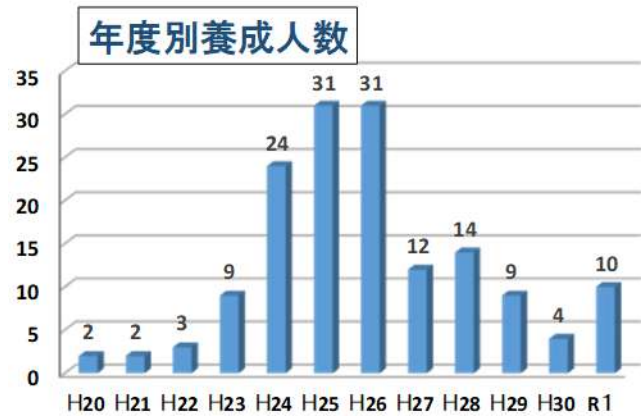
⇒小中学校との連携や各種団体等への働きかけ等により、年々、講座の実施回数及び受講者数とも増加している。(※H30は災害の影響等あり)

・ファシリテーター(進行役)養成・ステップアップ研修

・ファシリテーター養成総数 151名【令和元年度現在】

(内訳)

- ・教育委員・社会教育委員
- ・民生委員・児童委員
- ・学校支援地域本部コーディネーター
- ・子育て支援センター保育士
- ・放課後子ども教室ボランティア
- ・PTA本部役員
- ・自主サークル会員
- ・行政職員
- ・一般(公募)
- ・その他(県・他市町職員)



⇒府中町ホームページへ募集案内の掲載や、チラシの作成等により、H24年当時の目標を上回る事ができた。

・地域課題を踏まえた独自教材の開発

教材1 イヤイヤエーン！エーン！（0～2歳の親を対象）

教材2 鬼は外～福は内！？（3～6歳の親を対象）

教材3 はやく、宿題やりなさい！！
（小学校1～3年生の親を対象）

教材4 寛太くうは青春真っただ中！？
（小学校高学年～中学生の親を対象）

教材5 ただ今 ゲームに夢中！！
（小学校4～6年生の親を対象）

教材6 朝ごはんを食べよう！…レベル1と2
（未就学児の親を対象）

教材7 「寝る子は育つ」ってホント！？
（未就学児の親を対象）

教材8 スマホに子守りをさせてませんか！？
（未就学児の親を対象）

親コミ 「ちゃんとしてね！」で伝わってる？



⇒実施後の振り返りや受講者からの意見を反映し、地域にとって重要なテーマの教材を生み出す事ができている。

2. コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ・しゃべり場」



ヨガ後、しゃべり場
(月1回)

⇒認知度が高まり、参加者が増えた。また、参加者からは「小学校へあがる不安が解消された」などの声が聞かれた。

3. 子育て相談(フリートーク)



南北の児童センターを訪問して子育て相談(月1回程度)

⇒認知度が高まり、参加者が増えた。また、参加者からは「ちょっとした心配ごとを聞いてもらえてうれしい」などの声が聞かれた。

4. 不登校児童生徒の保護者の支援「カフェ くすのき」「親どうしが語り合う会」



(グループカウンセリングの様子)

「カフェ くすのき」
平成29年11月から開始
(親子で参加できる)
手芸・工作・カラーセラピー・ア
ロマセラピー後、お茶を飲みな
がら話す会。
自然と自分の悩みや気にかか
ることを皆さんに話し、共感し
て聞いてもらったりしている。

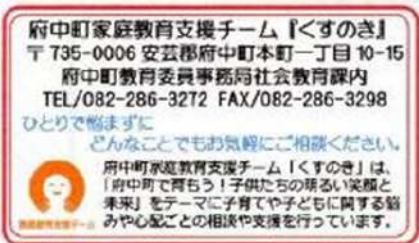
「親どうしが語り合う会」
令和元年6月から開始(月1回)
支え合い、励まし合えるような交流
会や、不登校について勉強できるよ
うな学びの会。保護者の皆さんのお
声に基づき、講師を招いたり、講演
会を開催している。

⇒回数を重ねることで繋がりができ、定期的に参加してくれるようになった。保護者の皆さんの要望にお応えし、講演会を開催することができた。

5. 託児サービス及び各種研修会の講師等



関心を持ってもらうために、広島東洋カープの協力を得て、カープ坊ややスライリーをあしらった『乳幼児期』『学童期』『思春期』の3タイプを作成。裏面には家庭教育支援チームの連絡先を記載。
令和元年1月より生後9か月健診で『乳幼児期』シートを配布開始。『学童期』『思春期』は小中学校入学式で新入生の保護者に配布。



裏面には
チームの連絡先

⇒託児サービスを行うことで講座等への参加者が増加した。また、各種研修会等の講師等を務めることで各種団体との連携が生まれたり、メンバー自身の力量の向上につながっている。

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(イオングループイエローレシートキャンペーン助成)

平成30年度府中町放課後子供教室ボランティア研修会実施要項

- 1 趣 旨 時代の移り変わりとともに子供の様子も変化している中で、ボランティアとして、他人の子供との接し方を学び、教室の安全管理の質の向上を図る
- 2 主 催 府中町教育委員会（社会教育課）
- 3 日 時 平成31年 2月27日（水） 10:00～11:30
- 4 場 所 くすのきプラザ 2階 研修室
- 5 対 象 放課後子供教室ボランティア、子供と関わる機会のある職員・関係者
- 6 日 程・内 容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
9:30～10:00	受付
10:00～10:05	開会式（アイスブレイク）
10:05～11:35	講演 説明者：教育センター 特別支援教育・教育相談部 部長 竹野 政彦
11:35～11:40	閉会式

- 7 申込・問合せ先

府中町教育委員会社会教育課

〒735-0006 府中町本町一丁目 10-15

電話 082-286-3272 FAX 082-286-3298

担当 荒中

令和元年度第1回府中町放課後子供教室ボランティア研修会実施要項

- 1 趣 旨 放課後子供教室で児童が取り組んでいる仕事を、ボランティアが実際に作成することで、児童への安全管理や指導の質を向上させること。また、1学期の振り返りをグループ形式で共有し合うことで、ボランティア間の交流を図る。
- 2 主 催 府中町教育委員会（社会教育課）
- 3 日 時 令和元年 7月24日（水） 14：00～16：00
- 4 場 所 くすのきプラザ 2階 研修室
- 5 対 象 放課後子供教室ボランティア
- 6 日 程・内 容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
13：30～14：00	受付
14：00～14：15	開会行事（アイスブレイク）
14：15～15：15	工作研修「ぼんぼんマスコットをつくろう」 講師：府中町放課後子供教室コーディネーター 松浦 美都子
15：15～15：45	意見交流「ボランティアをして感じたこと、困ったこと、聞いてみたいこと」 コーディネーター：府中町放課後子供教室コーディネーター 小濱 樹子
15：45～16：00	閉会行事

7 申込・問合せ先

府中町教育委員会社会教育課

〒735-0006 府中町本町一丁目 10-15

電話 082-286-3272 FAX 082-286-3298

担当 荒中

令和元年度第2回府中町放課後子供教室ボランティア研修会実施要項

- 1 趣 旨 放課後子供教室事業の目的や動向について学ぶことで、事業の目的を再確認し、児童との接し方を見直す機会とする。さらに、工作研修も行き、工作活動の際に、児童へ適切な指導を行う力を養う。
- 2 主 催 府中町教育委員会（社会教育課）
- 3 日 時 令和2年 3月19日（木） 10：00～12：00
- 4 場 所 くすのきプラザ 2階 研修室
- 5 対 象 放課後子供教室ボランティア
- 6 日 程・内 容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
9：30～10：00	受付
10：00～10：05	開会行事
10：05～11：05	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室推進事業における国・県の動向 ・府中町放課後子供教室の現状について ・意見交流
休憩（10分）	
11：15～11：55	工作研修「マジックカレンダー」 講師：府中町放課後子供教室コーディネーター
11：55～12：00	閉会行事

7 申込・問合せ先

府中町教育委員会社会教育課

〒735-0006 府中町本町一丁目 10-15

電話 082-286-3272 FAX 082-286-3298

担当 荒中

【実践事例③】海田町社会教育委員会議
教育委員会からの諮問に対する答申

教育委員会からの諮問 (H30.9.10)

- 社会教育施設のあり方について
- 文化協会及び総合型スポーツクラブの設立について



社会教育委員会議の開催

- 社会教育委員19名：6回開催



教育委員会への答申 (H31.3.1)

広島県立生涯学習センター
研修コンテンツ「社会教育委員の役割」
(令和2年6月更新)より抜粋

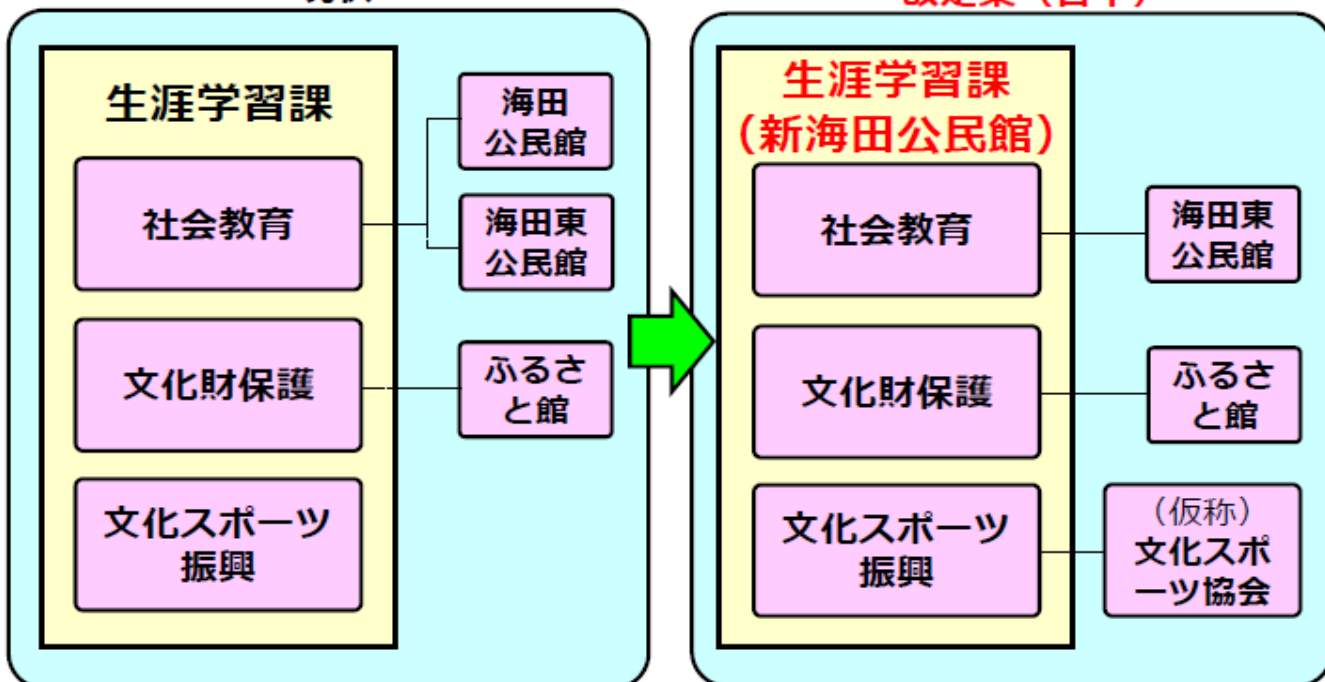
1

【実践事例③】海田町社会教育委員会議
教育委員会からの諮問に対する答申

- 社会教育施設のあり方について

現状

改定案 (答申)



※全ての部署・機関が、事業の
企画と実施を行う。

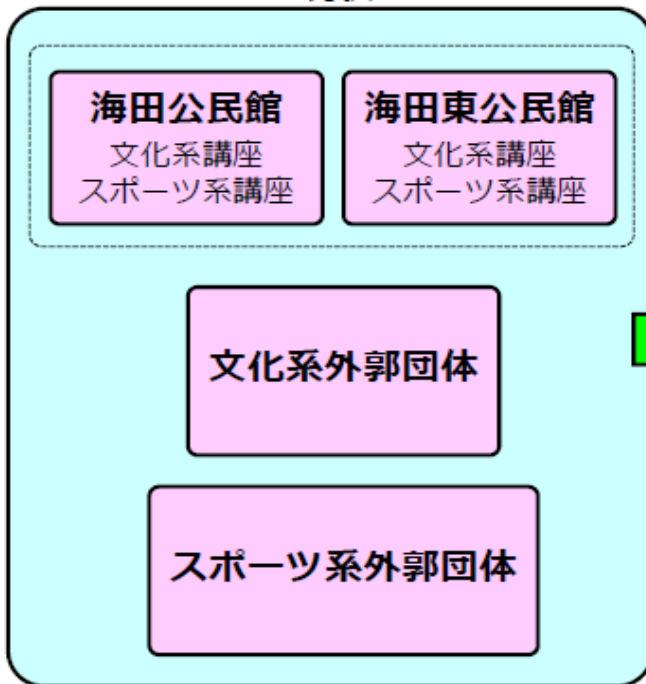
※生涯学習課 (新海田公民館) で企画立案を行い、
海田東公民館・ふるさと館では、事業の実施のみ
を行う。

2

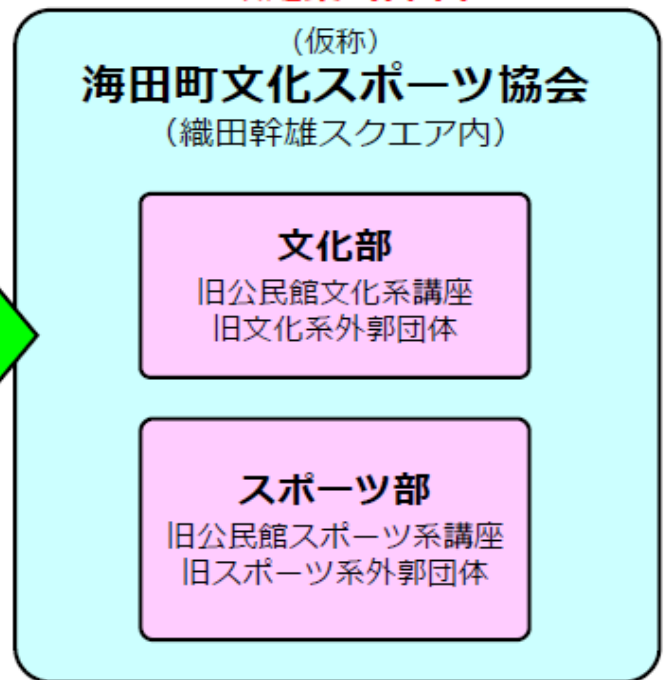
【実践事例③】海田町社会教育委員会議
教育委員会からの諮問に対する答申

○文化協会・総合型スポーツクラブの設立について

現状



改定案（答申）



※全ての機関・団体が、事業の
企画と実施を行う。

※文化スポーツを担う大きな組織
を新たに設置する。

3

北広島ふるさと夢プロジェクト 便り

令和元年
8月

北広島町内小学校

令和元年度の「北広島ふるさと夢プロジェクト」について紹介します!! ～地域、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします～

令和元年度の『北広島ふるさと夢プロジェクト』事業(事業主体-北広島町)が、次の内容で、町内の小学校5・6年生の児童を対象に実施されます。この事業は、平成27年度より始まり今年で5年目を迎えます。

5年生の事業(民泊体験～北広島のよさを満喫しよう～)は、町内で民泊を行い北広島町ならではの多様な体験活動を行い、町の魅力を実感させたり、ふるさとへの愛着心を深めたりし、将来「北広島町に住みたい、北広島町のために貢献したい」と思える子供の育成を図ることを目的としています。

6年生の事業(夢と希望を乗せて、ロケットを飛ばそう)は、ロケットの製作・発射という夢のある活動を行うとともに、講師の植松先生に「思うは招く～夢があればなんでもできる～」という演題で講演をしていただきます。例年、講演は大好評で、先生の生き方に感銘を受ける児童がたくさんいます。

また、事業を通して全町の同じ学年が同じ体験をすることで、町内には多くの友達がいることを実感させるなど、仲間意識を育てることもねらいとしています。

この事業により、北広島町のよさを実感し誇りに思う児童が増え、学校を越えた友達の輪が広がっている等の成果が出ています。

プロジェクト事業を実施するにあたっては、箕野町長を応援隊長とする応援隊が町全体で組織されています。地域の皆様のご理解・ご支援と温かい見守りを、よろしくお願いいたします。



【ジャガイモの収穫(民泊)】

令和元年度 北広島ふるさと夢プロジェクト事業

【5年-民泊体験～北広島のよさを満喫しよう～】

町内で民泊をする3泊4日(民泊-2泊)の宿泊体験学習を実施し、田舎生活、八幡ウォークラリー、アマゴのつかみ取り・調理(大暮養魚場)等、町内の自然を生かした体験活動を行います。

《期日》 学校を3つのグループに分けて実施

- ◆9月17日(火)～20日(金)
⇒新庄小・八重東小・豊平小
- ◆9月24日(火)～27日(金)
⇒芸北小・八重小・壬生小
- ◆10月15日(火)～18日(金)
⇒大朝小・川迫小・本地小



《主な活動内容》

- ◆1日目-学校に宿泊(授業終了後に活動開始)
- ◆2日目-開会式(学校紹介・交流)
人間関係作り(レクリエーション等)
対面式(民泊家庭と) 民泊家庭で田舎生活
- ◆3日目-八幡ウォークラリー 民泊家庭で田舎生活
- ◆4日目-大暮養魚場でアマゴのつかみ取り・調理
お別れ式(民泊家庭と)・閉会式

【6年-夢と希望を乗せて、ロケットを飛ばそう】

今年も、『リアル下町ロケット』で有名になられた植松電機 植松努先生に、北海道よりお越しいただきます。夢を大切に生きる方・実現させるための方法について、講演をしていただいた後、一人一人がロケット製作に挑戦し、発射をさせます。今年も、ロケット発射に大歓声上がることでしょう。

《期日》 10月24日(木) 9:00～14:00<予定>

《会場》 千代田運動公園(総合体育館)

《主な活動内容》

- ◆一人一機のロケットを協力して製作し発射させる。
- ◆講演を聴き、夢と感動のある生き方について考える。



【お願い】

地域の皆様には、応援隊等を通じて事業実施に係る協力のご願い(ボランティア・民泊家庭等)をすることになります。温かい見守りとともに、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

第4章 調査票 様式

令和2年度広島県立生涯学習センター調査研究 「市町における生涯学習振興・社会教育行政の現状と課題に関する実態調査」 調査票

この調査は、生涯学習振興・社会教育に関する各市町の人材育成、公民館等の振興、家庭教育や地域と学校の連携・協働の現状や課題等の実態を把握し、県・市町における施策・事業の立案や改善の基礎資料に資することを目的に実施するものです。

御多用のところとは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

(御記入の前にお読みください)

- 1 調査票は、本票を含み16ページです。
- 2 入力方法は、「プルダウンリストからの選択」「直接入力」の2種類です。
- 3 記入漏れ等がありますと、正確な実態把握ができませんので、記入漏れや記入ミスがないように御留意ください。

【調査に関する問合せ・回答送付先】

〒730-0052

広島市中区千田町三丁目7番47号

広島県立生涯学習センター振興課 (担当：池田)

TEL (082) 248-8848

メール sgcslinkou@pref.hiroshima.lg.jp

提出締切：6月30日(火)

○ 回答者について御記入をお願いします。

※ 記入内容の問合せ等のため、連絡先を御記入ください。御記入いただいた内容は本目的及び本調査について問い合わせる以外では使用しません。

市町名 *	○ ○ 市・町
郵便番号・所在地	〒
所属 *	□□□□□□□□□□
記入者職名・氏名 *	職名 : ◇◇◇◇◇◇ 氏名 : △△ △△
電話番号 *	() —
FAX番号	() —
電子メールアドレス	

* の欄は、必須でお願いします。

※ 回答にあたって、他部署等との連携が必要な場合は、集約の上、御回答くださいますようお願いいたします。

I 市町の課題・取組について

1 貴市町において、生涯学習振興・社会教育推進上の課題にはどのようなものがあると思いますか。当てはまるものすべてに「〇」をつけてください。また、「〇」をつけた項目については、特にどのような点が課題であるのかを詳しく御記入ください。

		課題(〇をつけてください。)	特に課題だと思われる点 ※詳しく御記入ください。
(例)	NPO等民間団体等との連携・協働	〇	連携の核となれる人材がない。
①	予算の確保		
②	人員体制		
③	事業の企画		
④	事業の評価		
⑤	事業の広報		
⑥	職員の資質向上		
⑦	社会教育施設などの管理運営 (指定管理制度等の導入)		
⑧	NPO等民間団体等との連携・協働		
⑨	社会教育関係団体の活性化		
⑩	学校教育との連携・協働		
⑪	行政内部の連携・理解促進		
⑫	その他		

2 現在(または今後)、貴市町の生涯学習振興・社会教育行政として、重点的に取り組んでいる(予定している)分野はどのようなものがありますか。当てはまるものすべてに「〇」をつけてください。また、「〇」をつけた項目については、具体的な事業名についても御記入ください。

		重点分野 (〇をつけてください)	具体的な事業名
(例)	高齢者教育・健康教育	〇	「みんなでいきいき百歳体操」
①	家庭教育支援		
②	地域と学校の連携・協働		
③	地域づくり・まちづくり		
④	青少年教育・若者支援		
⑤	高齢者教育・健康教育		
⑥	防災教育		
⑦	人権教育		
⑧	環境教育		
⑨	情報・メディア教育, インター ネットリテラシー		
⑩	読書活動		
⑪	男女共同参画		
⑫	その他		

Ⅱ 職員研修について

1 貴市町では、今年度(令和2年度)、社会教育関係職員の研修費(研修開催経費、参加旅費等)は予算化していますか。当てはまるものに「〇」をつけてください。(予算化している場合は、予算額も御記入ください。)

<input type="text"/>	予算化している	→	予算額	
			開催経費	<input type="text"/> 円
<input type="text"/>	予算化していない		参加旅費	<input type="text"/> 円

2 貴市町では、社会教育関係職員を対象とする市町独自の研修会を実施していますか。当てはまるものに「〇」をつけてください。(実施している場合は、年に何回程度実施しているのかも御記入ください。)

※実施している場合は、開催要項等内容が分かるものを御提供ください。

<input type="text"/>	実施している	→	年間	<input type="text"/>	回程度
<input type="text"/>	実施していない				

3 貴市町の社会教育関係職員の研修の機会は「現状で十分だ」とお考えですか。当てはまるものに「〇」をつけてください。また、そう考えられる理由も御記入ください。

<input type="text"/>	十分である
<input type="text"/>	どちらかといえば十分である
<input type="text"/>	どちらかといえば不十分である
<input type="text"/>	不十分である

→ 理由

4 貴市町が実施される社会教育関係職員の研修を進めるうえで、阻害要因となっているものがありますか。「ある」を選んだ場合は、その要因について当てはまるものすべてに「〇」をつけてください。

<input type="text"/>	ある	
→	(要因)	
<input type="text"/>		担当職員が多忙で研修を企画する余裕がない
<input type="text"/>		研修を企画できる職員がいない
<input type="text"/>		研修に対する予算が少ない
<input type="text"/>		関係職員が参加しやすいような日程の調整が困難である
<input type="text"/>		関係職員が集まりやすい研修会場を準備することが困難である
<input type="text"/>		研修内容と参加する関係職員の意欲・関心が適合していない
<input type="text"/>		関係職員を対象とした研修の必要性が感じられない
<input type="text"/>	その他	<input style="width: 400px; height: 20px;" type="text"/>
<input type="text"/>	ない	

5 貴市町では、現在どのような内容の研修を行っていますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。なお、「○」をつけた項目については、対象者と研修の具体的な内容についても御記入ください。

		実施の有無	対象者	具体的な内容
(例)	学習プログラムの企画・立案・評価	○	公民館職員	講座企画書作成・改善
①	生涯学習・社会教育に関する知識			
②	家庭教育支援			
③	地域と学校の連携・協働			
④	地域づくり・まちづくり			
⑤	青少年教育・若者支援			
⑥	高齢者教育・健康教育			
⑦	防災教育			
⑧	人権教育			
⑨	環境教育			
⑩	国際理解・グローバル教育			
⑪	情報・メディア教育			
⑫	学習プログラムの企画・立案・評価			
⑬	ワークショップ運営(ファシリテーションカ)			
⑭	広報			
⑮	関係団体との連携・ネットワーク			
⑯	地域リーダー・ボランティア等の育成			
⑰	その他			

6 貴市町の職員は、貴市町以外が実施する研修会(広島県教育委員会主催等)に参加していますか。当てはまるものに「○」をつけてください。

参加している → 6①の質問にお答えください。

参加していない → 6②の質問にお答えください。

「6」の質問項目で、「参加している」を選択した市町のみお答えください。

- 6① 貴市町以外が主催している研修会（広島県教育委員会主催等）について、参加している事業すべてに「〇」をつけてください。「その他」を選ばれた場合は、研修名と主催者名を御記入ください。

<input type="checkbox"/>	基礎研修	
<input type="checkbox"/>	学習プログラム研修	
<input type="checkbox"/>	社会教育主事等研修	
<input type="checkbox"/>	広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修	
<input type="checkbox"/>	地域学校協働活動推進員等研修会	
<input type="checkbox"/>	協働活動支援員・協働活動サポーター等研修会	
<input type="checkbox"/>	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターステップアップ研修	
<input type="checkbox"/>	公民館等職員研修会（広島県公民館連合会との共催）	
<input type="checkbox"/>	社会教育委員研修会（広島県社会教育委員連絡協議会との共催）	
<input type="checkbox"/>	社会教育主事講習（会場：広島大学）	
<input type="checkbox"/>	社会教育主事講習【B】（会場：広島県立生涯学習センター）	
<input type="checkbox"/>	その他	<input type="text"/>

「6」の質問項目で、「参加していない」を選択した市町のみお答えください。

- 6② 研修に参加していない理由について、当てはまるものすべてに「〇」をつけてください。「その他」に「〇」をつけた場合は、具体的な理由を御記入ください。

<input type="checkbox"/>	多忙であるため	
<input type="checkbox"/>	経費が不足しているため	
<input type="checkbox"/>	どのような研修があるか分からないため	
<input type="checkbox"/>	参加させたい研修がないため	
<input type="checkbox"/>	終日（一日）の参加は難しいため	
<input type="checkbox"/>	職場の人数が少なく、職場を空けられないため	
<input type="checkbox"/>	研修に参加させる必要性を感じないため	
<input type="checkbox"/>	その他	<input type="text"/>

Ⅲ 家庭教育支援について

1 貴市町では、家庭教育支援に関わってどのような課題があると思われますか。それぞれの項目に対して、次の1～4の選択肢から当てはまるものを選び、御記入ください。

4:非常に当てはまる 3:当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:まったく当てはまらない

<input type="text"/>	保護者の子育てに関する知識や意欲が低い
<input type="text"/>	保護者の子育てに関する悩みや不安、孤立感が大きい
<input type="text"/>	幼稚園・保育所・学校等と家庭の協力や信頼関係が不足している
<input type="text"/>	幼稚園・保育所・学校等と地域住民の協力や信頼関係が不足している
<input type="text"/>	地域全体で子供を育む意識が低い
<input type="text"/>	地域の中で子育てに関わる知識・スキルを有する人材が十分にいない
<input type="text"/>	子育てに関わる知識・スキルを有する人材が地域の子育てに参画していない
<input type="text"/>	地域の学習や交流の場になかなか参加することのない家庭に対して、子育てに関する情報を提供できていない
<input type="text"/>	困難を抱えている家庭の状況を早期に発見できていない
<input type="text"/>	困難を抱えている家庭への働きかけが難しい
<input type="text"/>	必要に応じて、子育てに関する専門機関へのつながりができていない

2 貴市町では、家庭教育支援に関する取組を行っていますか。当てはまるものに「○」をつけてください。

行っている
→ 2①～2②の質問にお答えください。

行っていない
→ 2③～2④の質問にお答えください。

「2」の質問項目で、「行っている」を選択した市町のみお答えください。

2① 家庭教育支援に関して、どのような取組を実施していますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="text"/>	幼稚園・保育所における保護者への学習機会の提供
<input type="text"/>	小・中学校における保護者への学習機会の提供
<input type="text"/>	公民館・図書館等の社会教育施設における学習機会の提供
<input type="text"/>	保健センター等の保健福祉施設における学習機会の提供
<input type="text"/>	保護者同士の交流促進を目的とした広場やサロンの開催
<input type="text"/>	子育てに関する講演会やシンポジウム、フォーラムの開催
<input type="text"/>	保護者と地域の支援者との交流促進を目的とした交流会や研修会の開催
<input type="text"/>	保護者と子供のふれあい促進を目的とした体験的な教室・研修会の開催
<input type="text"/>	「家庭教育支援チーム」による保護者、子供への支援
<input type="text"/>	その他 <input type="text"/>

「家庭教育支援チーム」とは？

「家庭教育支援チーム」は、地域の実情に応じて、子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成されています。地域のニーズに対応し、以下の取組を中心とする多様な支援を行います。

- (1) 保護者への学びの場の提供(学習機会の提供や情報提供、相談対応)
- (2) 地域の居場所づくり(親子参加型の体験型プログラムの実施、情報提供や交流の場の提供)
- (3) 訪問型家庭教育支援(家庭訪問等による個別の情報提供や相談対応)

出典: 文部科学省「つくろう！家庭教育支援チーム」(平成30年度版)

2② 家庭教育支援のための取組を行う際に、どのような課題があると思われますか。それぞれの項目に対して、次の1～4の選択肢から当てはまるものを選び、御記入ください。

4:非常に当てはまる 3:当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:まったく当てはまらない

<input type="checkbox"/>	参加してほしい保護者からの積極的な参加が得られない
<input type="checkbox"/>	保護者ニーズの把握が難しい
<input type="checkbox"/>	保護者の変容などの効果を把握するのが難しい
<input type="checkbox"/>	幼稚園・保護者・学校等で、取組を推進するための地域人材が不足している
<input type="checkbox"/>	取組を推進するための場所が不足している
<input type="checkbox"/>	職員や保育士の取組への参画意欲や時間が不足している
<input type="checkbox"/>	学校長・施設長の取組の意義に関する理解が得られない
<input type="checkbox"/>	保健福祉部局との連携が難しい
<input type="checkbox"/>	幼稚園・保育所・学校等との連携が難しい
<input type="checkbox"/>	幼稚園・保護者・学校等と地域人材の連携が難しい
<input type="checkbox"/>	取組に必要な予算が不足している
<input type="checkbox"/>	取組を推進する地域人材のスキル習得や研修の機会が不足している
<input type="checkbox"/>	教育委員会や保健福祉部局で、取組を推進するための人材が不足している
<input type="checkbox"/>	関係機関職員内で取組の意義に対する理解が得られない

その他、特に課題だと思われることがあれば御記入ください。

「2」の質問項目で、「行っていない」を選択した市町のみお答えください。

2③ 家庭教育支援に関する取組を行っていない理由について、当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	他部署で同様の取組が行われているから
<input type="checkbox"/>	必要な予算が確保できないから
<input type="checkbox"/>	必要な場所が確保できないから
<input type="checkbox"/>	地域住民全体の理解や参画を得られないから
<input type="checkbox"/>	必要な地域人材の確保や団体との連携が難しいから
<input type="checkbox"/>	地域社会の他機関・他団体で実施しており、特に実施の必要性がないから
<input type="checkbox"/>	その他

2④ 家庭教育支援に関する取組について、今後の見通しをお答えください。当てはまるものに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	家庭教育支援に関する取組は今後も必要ない
<input type="checkbox"/>	今後、予算や場所の確保等、条件がそろえば取組を実施したい
<input type="checkbox"/>	地域住民からのニーズが高まれば、取組を実施したい
<input type="checkbox"/>	必要な地域人材の確保や団体との連携が実現すれば、取組を実施したい

3 家庭教育支援の充実に向けて広島県が取り組んでいる「『親の力』をまなびあう学習プログラム」について知っていますか。また、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用していますか。当てはまるものに「○」をつけてください。

知っていて、活用している

知っているが、活用していない

→ 理由

知らない

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」とは？

これから親になろうとする若い世代の方々から、今まさに子育て真っ最中の方々、そして自分の子育ては終わったけれど何らかの形で子育て支援を行いたいという中・高年齢層の方々まで、みんなが「寄って、話して、自ら気づく」ための「話のきっかけ」「対話のツール」として開発されたものです。子育てに必要な知識や技術そのものの習得というよりも、親が「おのずから気づき、学ぶことができる力」を高めていくことを目的としています。

IV 地域と学校の連携・協働について

1 貴市町では、地域と学校の連携・協働に関する担当者(職員)はいますか。

いる

いない

2 貴市町では、地域と学校の連携・協働の促進に関して、どのような取組が行われていますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	登下校安全指導
<input type="checkbox"/>	部活動指導
<input type="checkbox"/>	校内環境整備(学校花壇, 学校図書室の整備等)
<input type="checkbox"/>	授業補助(ドリルの丸つけ, 家庭科の実習や理科の実験, 書道等)
<input type="checkbox"/>	地域と学校が連携・協働して行う地域独自の郷土学習(地域の未来, 伝統文化等)
<input type="checkbox"/>	地域課題解決型学習(地域が抱える課題を学び, その解決方法等を考える学習)
<input type="checkbox"/>	学びによるまちづくり(地域学習活動を通じて, 地域の活性化を図る活動)
<input type="checkbox"/>	地域行事に関わる活動(地域住民とともに参加する防災活動, 伝統行事, イベント等の地域情事に係る活動)
<input type="checkbox"/>	放課後子供教室
<input type="checkbox"/>	地域未来塾
<input type="checkbox"/>	その他 <input style="width: 500px;" type="text"/>

3 貴市町では、コーディネーター(統括コーディネーター, 地域コーディネーター, 地域学校協働活動推進員等)を配置していますか。「配置している」を選択した場合は、そのコーディネーターがどういった方なのか、当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	配置している
→ <input type="checkbox"/>	PTA関係者
<input type="checkbox"/>	PTA経験者
<input type="checkbox"/>	退職教職員
<input type="checkbox"/>	自治会・女性会等関係者
<input type="checkbox"/>	公民館等社会教育施設関係者
<input type="checkbox"/>	民生委員・児童委員
<input type="checkbox"/>	まちづくり協議会関係者
<input type="checkbox"/>	NPO法人関係者
<input type="checkbox"/>	行政職員
<input type="checkbox"/>	その他 <input style="width: 500px;" type="text"/>

現在は配置していないが、今後配置する予定である

現在配置しておらず、今後も配置しない

「4」については、「3」の質問項目で「配置している」を選択した市町のみお答えください。

4 貴市町では、コーディネーター（統括コーディネーター、地域コーディネーター、地域学校協働活動推進員等）はどのような活動をしていますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動（放課後子供教室・地域未来塾含む）の企画・立案
<input type="checkbox"/>	学校や地域住民、企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整
<input type="checkbox"/>	地域ボランティアの募集・確保
<input type="checkbox"/>	地域学校協働本部等の事務処理・経費処理
<input type="checkbox"/>	地域住民への情報提供・助言・活動促進
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

「5」以降の質問項目については、すべての市町がお答えください。

5 貴市町では、地域と学校の連携・協働に関する市町独自の研修会を開催していますか。当てはまるものに「○」をつけてください。なお、「開催している」と回答された場合は、研修内容について詳しく御記入ください。

※開催している場合は、開催要項等内容が分かるものを併せて御提供ください。

開催している → 研修内容

開催していない

6 貴市町では、地域と学校との連携・協働について、どのような課題がありますか。それぞれの項目に対して、次の1～4の選択肢から当てはまるものを選び、御記入ください。

4:非常に当てはまる 3:当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:まったく当てはまらない

<input type="checkbox"/>	地域と学校が連携するための仕組みができていない
<input type="checkbox"/>	連携・協働の核となる人材がいない
<input type="checkbox"/>	連携・協働するための場所がない
<input type="checkbox"/>	地域住民及び教職員の負担感が増加している
<input type="checkbox"/>	地域の理解が得られていない
<input type="checkbox"/>	学校の理解が得られていない
<input type="checkbox"/>	地域や学校のニーズに合う協働活動支援員・協働活動サポーターがいない
<input type="checkbox"/>	予算が不足している
<input type="checkbox"/>	連携の必要性が感じられない
<input type="checkbox"/>	学校の教育課程(カリキュラム)から考えて、連携・協働して事業を行う余裕がない
<input type="checkbox"/>	連携するためのノウハウやツールがない
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

7 地域と学校の連携・協働について、貴市町が現在実施していること、また今後実施したいと考えていることはどのようなことですか。それぞれの項目に対して、次の1～3の選択肢から当てはまるものを選び、御記入ください。

3:現在実施している 2:今後実施したいと考えている 1:実施は考えていない

<input type="text"/>	地域と学校の連携・協働についての方針・ビジョンの明確化
<input type="text"/>	首長部局(地域振興, 社会福祉, 医療, 防災等の担当)との連携
<input type="text"/>	特に福祉部局等と連携・協働した教育格差の解消(地域未来塾等の学習支援の充実含む)
<input type="text"/>	地域と学校の連携・協働についての計画の策定
<input type="text"/>	地域学校協働本部の設置等の体制の整備
<input type="text"/>	コーディネーターの配置の促進
<input type="text"/>	コーディネーター等への研修の充実
<input type="text"/>	学校の教職員等への積極的な情報提供・理解の促進
<input type="text"/>	地域住民等への積極的な情報提供・理解の促進

8 県立生涯学習センターで実施している「ワクワク学び隊」について知っていますか。また、「ワクワク学び隊」を活用していますか。当てはまるものに「○」をつけてください。

知っていて, 活用している

知っているが, 活用していない
→ 理由

知らない

「ワクワク学び隊」とは？

広島県教育委員会では、大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」を、県内にある「放課後子供教室」及び「地域未来塾」に派遣しています。この取組は、地域学校協働活動推進事業の活動内容の充実、活性化を図るとともに大学生の社会貢献活動への参加の支援を目的としています。

V 公民館等の運営について

1 現状として、貴市町の公民館等(コミュニティセンター等の類似施設を含む)はそれぞれの役割をどの程度果たしていると思われますか。次の1~4の選択肢から当てはまる項目を選び、御記入ください。

4:大いに果たしている 3:果たしている 2:あまり果たしていない 1:まったく果たしていない

<input type="text"/>	地域課題を解決するために必要な学習を提供する
<input type="text"/>	コミュニティ形成, ネットワークづくりを推進する
<input type="text"/>	地域課題を議論し, 解決策を見出す
<input type="text"/>	地域課題解決のために実際の活動を推進する
<input type="text"/>	地域住民の学習成果を発表・発信する
<input type="text"/>	地域住民の意向やニーズを把握する
<input type="text"/>	防災教育の拠点となる
<input type="text"/>	多世代で交流するための拠点となる
<input type="text"/>	高齢者の活動の拠点となる
<input type="text"/>	家庭教育支援の拠点となる

2 今後の公民館等の運営において、それぞれの役割はどれほど重要になってくると思われますか。次の1~4の選択肢から当てはまる項目を選び、御記入ください。

4:大いに重要である 3:重要である 2:あまり重要でない 1:まったく重要でない

<input type="text"/>	地域課題を解決するために必要な学習を提供する
<input type="text"/>	コミュニティ形成, ネットワークづくりを推進する
<input type="text"/>	地域課題を議論し, 解決策を見出す
<input type="text"/>	地域課題解決のために実際の活動を推進する
<input type="text"/>	地域住民の学習成果を発表・発信する
<input type="text"/>	地域住民の意向やニーズを把握する
<input type="text"/>	防災の拠点となる
<input type="text"/>	多世代で交流するための拠点となる
<input type="text"/>	高齢者の活動の拠点となる
<input type="text"/>	家庭教育支援の拠点となる

3 貴市町では、公民館等の今後の役割や所管等の在り方について、変更・見直しをする意向はありますか。当てはまるものに「○」をつけてください。(「ある」「その他」を選んだ場合は、変更・見直しの内容について、可能な範囲で詳しく御記入ください。)

<input type="text"/>	ある	→	<input style="width: 100%;" type="text"/>
<input type="text"/>	ない		
<input type="text"/>	その他	→	<input style="width: 100%;" type="text"/>

VI 社会教育委員の職務について

1 貴市町では、社会教育委員はどのような役割を果たしていると思われますか。それぞれの内容について、次の1～4の選択肢から当てはまる項目を選び、御記入ください。

4:大いに果たしている 3:果たしている 2:あまり果たしていない 1:まったく果たしていない

<input type="checkbox"/>	社会教育に関する諸計画の立案
<input type="checkbox"/>	社会教育に関する建議や教育委員会の諮問に対する答申
<input type="checkbox"/>	地域の社会教育に関する調査研究
<input type="checkbox"/>	社会教育関係団体への補助金交付に対する意見具申
<input type="checkbox"/>	市町内の社会教育に関するネットワークの形成
<input type="checkbox"/>	先進的な社会教育事業に関する情報の収集・提供
<input type="checkbox"/>	地域の社会教育に関する情報の行政への提供
<input type="checkbox"/>	行政担当者との頻繁な意見交換やアイデアの提供
<input type="checkbox"/>	住民の意向を行政や施策の運営に反映させるためのパイプの役割
<input type="checkbox"/>	社会教育行政施策や事業の地域への普及
<input type="checkbox"/>	まちづくり・地域づくりへの積極的な貢献
<input type="checkbox"/>	家庭・地域の教育力向上に関しての積極的な貢献
<input type="checkbox"/>	家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割

その他、社会教育委員が果たしている役割があれば詳しく御記入ください。

2 貴市町では、社会教育委員の職務について、どのような課題がありますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	適した人材がない
<input type="checkbox"/>	行政担当者との連携体制が整っていない
<input type="checkbox"/>	調査研究が十分にできていない
<input type="checkbox"/>	予算が十分ではない
<input type="checkbox"/>	職務が多忙で、負担感が大きい
<input type="checkbox"/>	社会教育委員の活動に対する住民からの認知度が低い
<input type="checkbox"/>	その他

Ⅶ 社会教育主事の職務について

1 貴市町の社会教育主事は、現在どのような内容の職務に取り組んでいますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。
 ※社会教育主事の発令がなされている市町のみ御回答ください。

<input type="checkbox"/>	生涯学習推進・社会教育計画の立案・評価
<input type="checkbox"/>	住民を対象とした社会教育事業・講座の企画・実施
<input type="checkbox"/>	社会教育施設の職員を対象とした研修・講座等の企画・実施
<input type="checkbox"/>	社会教育関係団体等への指導・助言
<input type="checkbox"/>	学校教職員への指導・助言
<input type="checkbox"/>	ボランティアへの指導・助言
<input type="checkbox"/>	情報収集・提供・相談
<input type="checkbox"/>	調査研究
<input type="checkbox"/>	社会教育委員の会議、生涯学習審議会等の運営
<input type="checkbox"/>	予算編成・執行(補助金等)関係事務
<input type="checkbox"/>	首長部局等との連携・調整
<input type="checkbox"/>	民間団体、企業等との連絡・調整
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

2 貴市町の社会教育主事は、現在どのような分野の職務に取り組んでいますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。
 ※社会教育主事の発令がなされている市町のみ御回答ください。

<input type="checkbox"/>	家庭教育支援
<input type="checkbox"/>	青少年教育
<input type="checkbox"/>	成人教育
<input type="checkbox"/>	高齢者教育
<input type="checkbox"/>	人権教育
<input type="checkbox"/>	職業教育・キャリア教育
<input type="checkbox"/>	視聴覚教育・メディア教育
<input type="checkbox"/>	男女共同参画に関する教育
<input type="checkbox"/>	環境教育
<input type="checkbox"/>	消費者教育
<input type="checkbox"/>	社会体育・生涯スポーツ
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

3 貴市町では、今後の生涯学習・社会教育の取組において、令和2年度より導入される「社会教育士」を活用する予定はありますか。「ある」を選択された場合は、どのような形で活用することを検討しているのか、詳しく御記入ください。

ある → 詳しく御記入ください。
 ない

VIII その他

1 今回お聞きした「市町の課題・取組」「職員研修」「家庭教育支援」「地域と学校の連携・協働」「公民館等の運営」「社会教育委員の職務」「社会教育主事の職務」に関して、貴市町での特徴的な取組があれば、その取組について教えてください。(事業名や研修名、対象、内容等、詳しくお答えください。)

なお、当センターでは公民館等の取組事例を集めています。当センターのホームページ(下記リンク先)を参考に、各市町での特徴的な取組について情報提供いただけると幸いです。

※実施要項等、研修や事業の詳細が把握できるものがあれば、添付してください。

※広島県立生涯学習センターホームページ(公民館等の取組事例集)

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/torikumijireisyu1.html>)

分野 取組 分野 取組 分野 取組

2 県立生涯学習センターにどのようなことを期待していますか。当てはまるものすべてに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	国や県の施策・事業の動向等についての情報提供
<input type="checkbox"/>	特色ある事業, 取組等の事例紹介
<input type="checkbox"/>	モデル事業などの実施, モデルプログラムの普及・啓発
<input type="checkbox"/>	講師等の情報提供
<input type="checkbox"/>	関係職員を対象とした研修の実施
<input type="checkbox"/>	地域リーダー・ボランティア等を対象とした研修の実施
<input type="checkbox"/>	市町等で実施する研修の支援
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

3 県立生涯学習センターでは、「複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業実施に係る取組の充実に向け、市町の社会教育主事, 研修担当職員等と連携・協働し, 市町が実施する研修(人材育成)の企画・運営を総合的に支援する」という趣旨のもと、「地域課題対応研修支援(訪問型研修)」を実施しております。貴市町では、今年度(令和2年度), こちらの研修支援を希望される意向はありますか。当てはまるものに「○」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	昨年度研修支援を受けており, 今年度も希望する
<input type="checkbox"/>	昨年度は研修支援を受けていないが, 今年度は希望する
<input type="checkbox"/>	検討中である
<input type="checkbox"/>	研修支援を受ける意向はない

希望される場合は, どういった内容の研修支援を希望されているか御記入ください。

以上で質問項目を終わります。御協力ありがとうございました。
 なお, お答えいただいた内容について, 後日こちらから連絡を取らせていただくこともありますので, 御了承ください。